

令和6年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

(令和5年度実績)

令和6年11月

千歳市教育委員会



目次	
I 千歳市教育振興基本計画の評価	1
II 教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要	1
1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	1
4 学識経験者の知見の活用	6
5 評価結果の概要	6
III 施策項目別点検・評価	8
<b>施策項目の達成度一覧</b>	8
<b>目標指標の状況</b>	9
<b>基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進</b>	43
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実	43
施策項目2 確かな学力の育成	44
施策項目3 特別支援教育の充実	45
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実	46
施策項目5 情報教育の充実	47
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実	48
施策項目7 防災・安全教育の充実	49
<b>基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</b>	50
施策項目8 道徳教育の充実	50
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実	51
施策項目10 ふるさと教育の充実	52
施策項目11 読書活動の推進	53
施策項目12 体力・運動能力の向上	54
施策項目13 食育の推進	55
施策項目14 健康教育の推進	56
<b>基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実</b>	57
施策項目15 学校運営の充実	57
施策項目16 学校施設・設備の充実	58
施策項目17 学びのセーフティネットの構築	59
施策項目18 教員の研修の推進	60
施策項目19 家庭教育支援の充実	61
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実	62
施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実	63
<b>基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進</b>	64
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実	64
施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実	65
施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進	66
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	67
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実	68
<b>基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実</b>	69
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	69
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実	70
施策項目29 青少年非行防止への取組の推進	71
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	72
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	73
施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実	74
<b>基本目標6 まちの魅力高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承</b>	75
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備	75
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実	76
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援	77
施策項目36 文化財の活用の推進	78
施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組	79
<b>基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進</b>	80
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進	80
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実	81
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成	82
施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上	83
資料	85
1 教育委員会会議の開催概要	85
2 教育行政執行方針	87



## I 千歳市教育振興基本計画の評価

千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）は、教育行政の基本的な方向性や具体的な施策を示す、これからの千歳市の教育が目指す姿を示したものです。

本計画に示した各施策の実施状況等を把握し、評価を行うことにより、計画の実行性を高めることを目的として、前年度に実施した「主な取組」や「目標指標」の点検・評価を実施するものです。

## II 教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要

### 1 点検・評価の趣旨

この点検・評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成19年6月改正、平成20年4月1日施行）第26条の規定に基づき、千歳市教育委員会が取り扱う事務について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）」の全41施策項目を対象として、点検・評価を行いました。

### 3 点検・評価の方法

点検・評価については、施策項目ごとに定めた「主な取組」の実施状況、「目標指標」の達成状況について、点検・評価を行い、それを基に、各施策の「達成度」と今後の方針・課題などについて、整理を行いました。

〔評価の例〕

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目 2 確かな学力の育成		担当課	企画総務課・学校教育課・学	
1 施策の概要				
全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
授業改善の推進	千歳市学力向上検討委員会の提言に基づく取組を充実し、学力向上のための授業改善を積極的に進めます。	/	A	
個に応じたきめ細かな学習指導	子ども一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を目指し、千歳市独自の学習支援員を配置して、習熟度別少人数指導など、丁寧な学習指導により学力の向上を図ります。		A	
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	公立千歳科学技術大学の学生による長期休業中の学習サポートの実施やeラーニングを活用した取組の推進を図ります。	A	B	
ICT機器の整備・活用	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。	A	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「授業(国語・算数・数学)の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合	小6 82.0% 中3 76.4%	83.3% 77.8%	85.0%(B) 76.2%(B)	小6 90%以上 中3 90%以上
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合	小 国語：同様 小 算数：やや低い 中 国語：低い 中 数学：低い	94.5% 91.8% 94.2% 91.4%	97.6%(B) 93.4%(B) 96.4%(B) 89.0%(B)	小 全国比同様以上 中 全国比同様以上
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合	小6 62.8% 中3 65.8%	63.4% 57.3%	62.5%(C) 53.0%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
B (2.2点)	施策項目評価項目数	主な取組：6、目標指標：8		
	主な取組	$(5 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 17$		
	目標指標	$(0 \times 3) + (6 \times 2) + (2 \times 1) + (0 \times 0) = 14$		
	判定	$(17 + 14) \div 14 = 2.21428571428571$ 点数：2.2      評価：B		
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)				
個に応じたきめ細かな学習指導を目指し、学習支援員の配置による習熟度別少人数指導等による児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の充実を図ったほか、公立千歳科学技術大学と連携したeラーニングを活用した取組や、学生による長期休業中の学習サポートなどを実施した。学力向上検討委員会で市内3校をモデル校に指定し、学力向上策の実践検証に取り組んだ。検証の結果は「学校・家庭・教育委員会への提言」として発信し、学力向上策の推進に努めた。教職員の資質能力の向上のため、ICT機器の活用(464名、オンデマンド60名)や国語科における読解力及び記述力向上(120名)をテーマにした研修会を開催した。学習者用コンピュータの平時持ち帰りを推進するためにモデル校での検証をもとに、市内各校へ成果と課題を周知した。ICT機器の整備については、令和5年度は、小中学校にAIデジタルドリルを導入するとともに、小学校におけるデジタル教科書及び耐用年数を超過している電子黒板127台を更新した。				
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
学習支援員による算数・数学科の習熟度別少人数指導の充実を図るほか、全国学力・学習状況調査等の結果をもとに授業の改善に努め、学力向上に資する取組を継続して推進する。また、公立千歳科学技術大学が開発したeラーニングにおいては、教科ごとの利用率等からコンテンツ内容の検証を図るほか、科目増加や、個々のレベルに応じた問題が課題されるCBT(Computer Based Test)対応のコースの追加等も視野に、内容の充実を図りつつ、AIデジタルドリルとの差別化や、児童生徒の利用促進を図るための周知を行う。令和4年度の学力向上検討委員会の提言をもとに、各校の学校改善プランに基づく学力向上策の推進とモデル校での実践検証に取組、モデル校の実践をもとに新たな提言を取りまとめる。また、研修会や学校訪問での指導助言などを通じて、ICTの活用推進や、一人ひとりが考え説明する機会が多い「探求型・対話型の授業」への転換を図り、「読解力と記述力の向上」に取り組んでいく。ICT機器については、耐用年数を超過している電子黒板については、引き続き更新を行い、効果的な学習指導を進められる環境整備に努め、1人1台端末となった環境をさらに活用できるソフトウェアの導入の検討を行う。				
5 外部評価会議委員の意見				
読解力・記述力の研修会は、非常に良い取組であり、単発ではなく、例えば前期・後期の年2回開催できると良いと思うので、力を入れてほしいと思います。AIデジタルドリルについては、家庭学習の数値が伸びない現状の突破口となり得るものであり、子どもの勉強する意欲を高める効果が期待できるので、活用の事例研究や、市内各校での活用事例の共有などにより、さらに進めてもらいたいと思います。				

【各施策項目の具体的な評価方法】

(1) 主な取組の評価結果

ア 各学校が実施した取組

学校が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各学校が評価した結果の平均値を算出（※2）しています。

イ 市が実施した取組

市が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各担当課で評価した結果です。

※1 主な取組の評価基準

評価	評価内容	点数
A	着実に取り組んでいる (充実した取組を行った結果、一定の成果が出た)	3点
B	取り組んでいる (充実した取組を行ったが、まだ成果は出ていない)	2点
C	あまり取り組んでいない (充実した取組を行えなかったため、成果は出ていない)	1点
D	取り組んでいない (全く取組を行うことができなかった)	0点

※2 学校で評価した結果の平均値算出方法

評価	評価平均点
A	2.5点以上3.0点以下
B	1.5点以上2.5点未満
C	0.5点以上1.5点未満
D	0点以上0.5点未満

## (2) 目標指標の達成状況

目標指標の結果については、現状値となる令和元年度の実績値、目標値となる計画最終年度の令和12年度の目標値と、直近2年間の達成状況を記載しています。

なお、目標指標の達成状況については、令和6年度評価から、次の判定表に基づき、A～Dの判定を行っています。

表：目標指標達成状況判定表

0%～50%未満	50%以上～80%未満	80%以上～100%未満	100%以上
D (0点)	C (1点)	B (2点)	A (3点)

### 目標指標の達成状況の計算例

- ・表3の『授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる』と回答した割合【全国学力】の目標指標の達成状況の評価の場合

＜中3の実績値＝76.2、目標値：90＞

$76.2 \div 90 \times 100 = 84.666$  中3の達成状況を「84.7」とします（少数第二位を四捨五入）。達成状況（割合）は、84.7%となり、「B」評価になります。

- ・表3の『「平日1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と解答した児童生徒の割合【全国学力】』の目標指標の達成状況の評価の場合

＜小6の実績値＝62.5、目標値：90＞

$62.5 \div 90 \times 100 = 69.444$  小6の達成状況を「69.4」とします（少数第二位を四捨五入）。達成状況（割合）は、69.4%となり、「C」評価になります。

表3：施策項目2の場合の目標指標の達成状況の割合と達成状況の評価結果（例）

目標指標	実績値	計算式	評価
「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した割合【全国学力】	小6：85.0 (90%以上)	$85.0 \div 90 \times 100 = 94.4$	B
	中3：76.2 (90%以上)	$76.2 \div 90 \times 100 = 84.7$	B
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合【全国学力】（※全国平均を100とした場合の千歳市の割合）	小(国語)：97.6 (100)	$97.6 \div 100 \times 100 = 97.6$	B
	小(算数)：93.4 (100)	$93.4 \div 100 \times 100 = 93.4$	B
	中(国語)：96.4 (100)	$96.4 \div 100 \times 100 = 96.4$	B
	中(数学)：89.0 (100)	$89.0 \div 100 \times 100 = 89.0$	B
「平日1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合【全国学力】	小6：62.5 (90%以上)	$62.5 \div 90 \times 100 = 69.4$	C
	中3：53.0 (100%以上)	$53.0 \div 100 \times 100 = 53.0$	C

※実績値欄の上段：実績値、下段：目標値

(3) 総合評価

ア 達成度

(1) 主な取組の評価結果と(2)目標指標の達成状況から達成度の判定を行います。

手順1：主な取組の市及び各学校の評価結果を点数化する

0点	1点	2点	3点
D	C	B	A

手順2：目標指標の達成状況を点数化する  
 <目標指標の達成状況(割合)の計算式：実績値÷目標値×100>

表1：目標指標達成状況判定表

0%～50%未満	50%以上～80%未満	80%以上～100%未満	100%以上
D(0点)	C(1点)	B(2点)	A(3点)

手順3：主な取組及び目標指標の平均点を算出する  
 手順4：表2に基づき平均点から達成度を判定する 例：2.2=B

表2：達成度の判定表

達成度	平均点
A	2.5点以上3.0点以下
B	1.5点以上2.5点未満
C	0.5点以上1.5点未満
D	0点以上0.5点未満

施策項目2を基にした達成度の判定結果は、2.21となり、表2に基づき、達成度は『B』となります。

表4：施策項目2を例にした達成度の判定結果

主な取組	評価		点数	
授業改善の推進		A		3
個に応じたきめ細かな学習指導		A		3
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	A	B	3	2
ICT機器の整備・活用	A	A	3	3
目標指標	評価		点数	
「授業(国語、算数・数学)の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と解答した児童生徒の割合	小6：85.0 (90%以上)	B (94.4)		2
	中3：76.2 (90%以上)	B (84.7)		2
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合	小(国)：97.6 (100)	B (97.6)		2
	小(算)：93.4 (100)	B (93.4)		2
	中(国)：96.4 (100)	B (96.4)		2
	中(数)：89.0 (100)	B (89.0)		2
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合	小6：62.5 (90%以上)	C (69.4)		1
	中3：53.0 (100%以上)	C (53.0)		1
達成度	B		2.2	
			$\frac{31 \text{ (赤枠内の合計点数)}}{14 \text{ (赤枠内の合計項目数)}} = 2.2$	

※目標指標には、「〇〇以上」、「〇〇以下」、「A」の目標値がありますが、「〇〇以上」、「〇〇以下」の目標値については、上述した判定方法に基づき判定し、「A」が目標値として規定されているものについては、実績値の値が、前年度の値以上である場合は「A」評価、前年度の値を下回った場合は「C」評価とします。

#### イ 令和5年度の実績

令和5年度の取組内容及び実績を具体的に記載しています。

#### ウ 施策の今後の方針・課題

各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載しています。

### 4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、令和6年9月に外部評価会議を開催し、教育に関し学識経験を有する2名の委員から、各施策への意見や助言をいただきます。

意見提出者

外部評価会議委員（学校教育分野） 駒場 義剛（元 千歳小学校長）  
（社会教育分野） 高田 知哉（公立千歳科学技術大学教授）

### 5 評価結果の概要

#### （1）主な取組の評価結果（学校）

達成度	達成度の個数	割合
A	61	96.83%
B	2	3.17%
C	0	0.0%
D	0	0.0%
合計	63	100%

達成度がAとなった主な取組の項目が61、達成度がBとなった主な取組の項目が2、達成度がC及びDとなった項目はありませんでした。

※学校が評価した項目は、小学校と中学校の各校の評価の平均値となっています。

#### （2）主な取組の評価結果（各課）

達成度	達成度の個数	割合
A	52	49.06%
B	54	50.94%
C	0	0.0%
D	0	0.0%
—	0	0.0%
合計	106	100%

達成度がAとなった主な取組の項目が52、達成度がBとなった主な取組の項目が54、達成度がC、D及び—（未実施）となった項目はありませんでした。

※各課が評価した項目は、複数課で取り組む項目がないため、事情により実施できなかった場合、「－（未実施）」としています。

(3) 目標指標の到達状況（令和12年度までに達成すべき目標値）

達成度	達成度の個数	割合
A	73	48.67%
B	53	35.33%
C	19	12.67%
D	5	3.33%
合計	150	100%

達成度がAとなった目標値の項目が73、達成度がBとなった目標値の項目が53、達成度がCとなった目標値の項目が19、達成度がDとなった目標値の項目が5となりました。

※目標指標の指標数は100ですが、指標内で複数の目標値が設定されている指標（小学校と中学校でそれぞれの目標値が設定されているなど）があるため、目標指標の総数を150としています。

(4) 総合評価の状況

達成度	達成度の個数	割合
A	21	51.22%
B	20	48.78%
C	0	0.0%
D	0	0.0%
合計	41	100%

達成度がAとなった施策が21項目、達成度がBとなった施策が20項目、達成度がC及びDとなった項目はありませんでした。

※総合評価の達成度の判定は、「主な取組の評価結果」と「目標指標の達成状況」から判定しています。

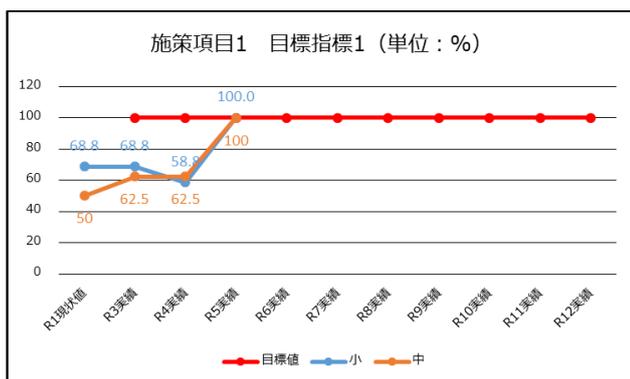
Ⅲ 施策項目別点検・評価  
 施策項目の達成度一覧

施策項目		令和5年度評価
施策項目1	認め合い、高め合う学年・学級経営の充実	A (2.5)
施策項目2	確かな学力の育成	B (2.2)
施策項目3	特別支援教育の充実	A (3.0)
施策項目4	外国語教育・国際理解教育の充実	A (2.5)
施策項目5	情報教育の充実	A (2.5)
施策項目6	キャリア教育・体験的な活動の充実	A (3.0)
施策項目7	防災・安全教育の充実	A (3.0)
施策項目8	道徳教育の充実	A (3.0)
施策項目9	いじめ・不登校に対する取組の充実	A (2.9)
施策項目10	ふるさと教育の充実	A (2.7)
施策項目11	読書活動の推進	B (2.2)
施策項目12	体力・運動能力の向上	B (2.1)
施策項目13	食育の推進	B (2.1)
施策項目14	健康教育の推進	A (2.8)
施策項目15	学校運営の充実	B (2.4)
施策項目16	学校施設・設備の充実	A (2.9)
施策項目17	学びのセーフティネットの構築	A (3.0)
施策項目18	教員の研修の推進	A (2.7)
施策項目19	家庭教育支援の充実	B (2.0)
施策項目20	学校と地域の連携・協働の充実	A (2.5)
施策項目21	学校段階等間の連携・交流の充実	A (2.6)
施策項目22	多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実	B (2.3)
施策項目23	学習情報と市民活動交流センター機能の充実	B (2.2)
施策項目24	学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進	B (2.3)
施策項目25	地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	A (2.5)
施策項目26	学んだ成果を地域で生かす活動の充実	B (2.0)
施策項目27	乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	B (2.2)
施策項目28	青少年の自立と成長を育む学びの充実	B (2.3)
施策項目29	青少年非行防止への取組の推進	B (2.0)
施策項目30	成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	B (2.4)
施策項目31	ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	A (2.5)
施策項目32	社会教育施設機能と読書環境の充実	B (2.2)
施策項目33	文化芸術に親しむ環境の整備	B (2.0)
施策項目34	地域に根差した文化芸術活動への支援充実	B (2.3)
施策項目35	文化財の保存と調査・研究及び継承の支援	A (3.0)
施策項目36	文化財の活用の推進	A (2.9)
施策項目37	世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進	A (3.0)
施策項目38	スポーツ活動の啓発と参加促進	B (2.3)
施策項目39	スポーツに親しめる機会の充実	B (2.1)
施策項目40	スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成	A (2.5)
施策項目41	スポーツ施設の機能充実と利便性向上	B (2.2)

## 目標指標の状況

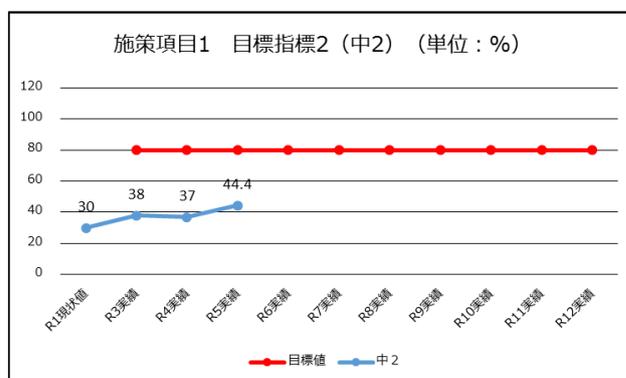
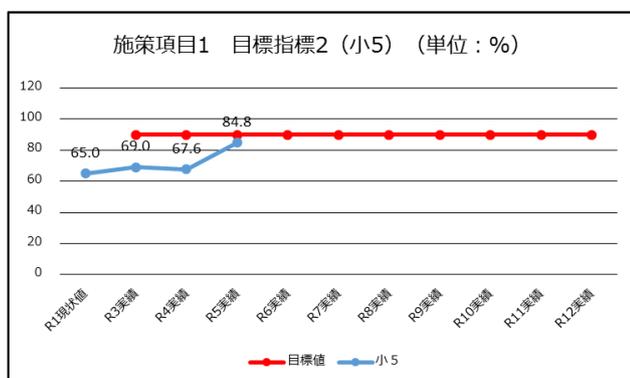
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標1 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合【全国学力】



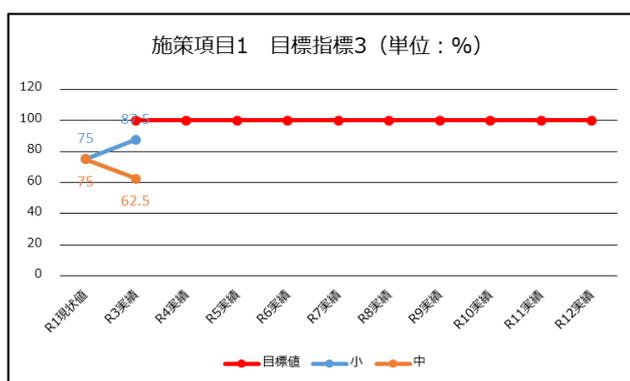
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標2 ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合



施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

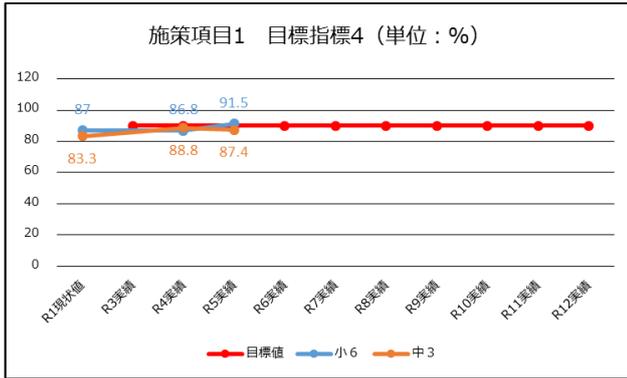
目標指標3 学習規律の維持を徹底している学校の割合【全国学力】



※令和4～5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

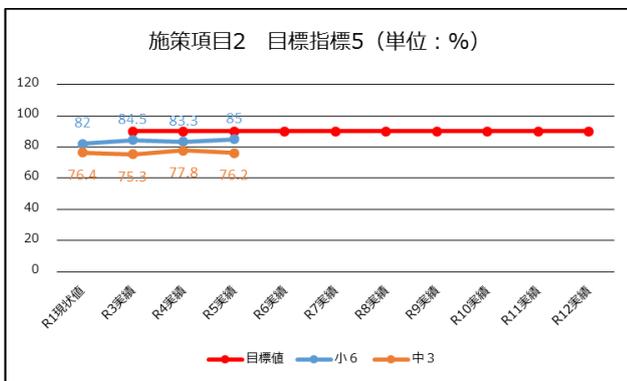
目標指標4 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



※令和3年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

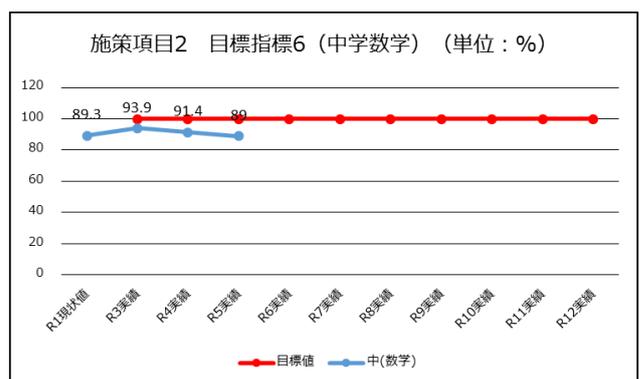
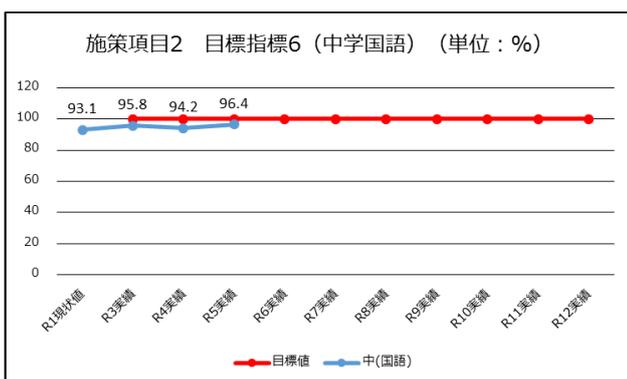
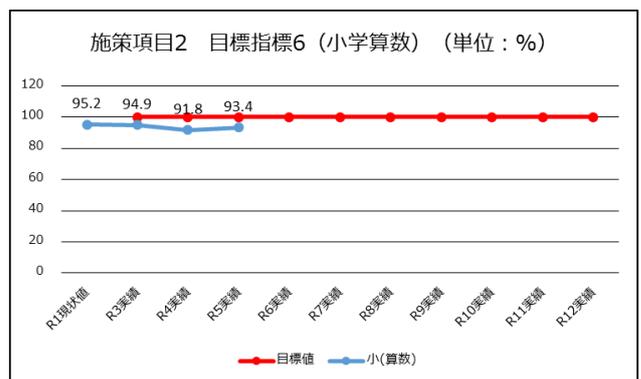
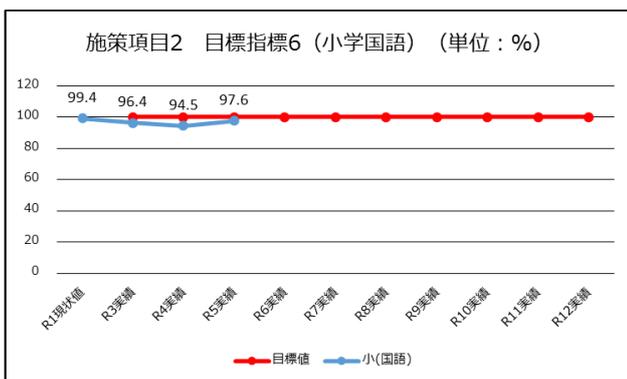
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標5 「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



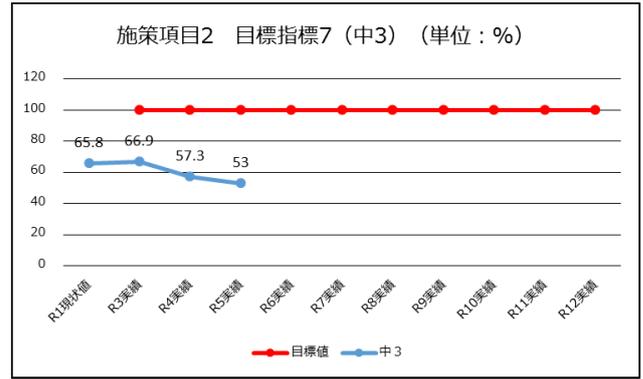
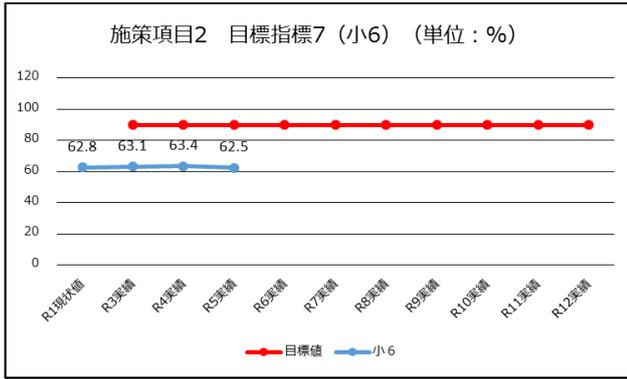
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標6 全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合【全国学力】（※全国平均を100とした場合の千歳市の割合）



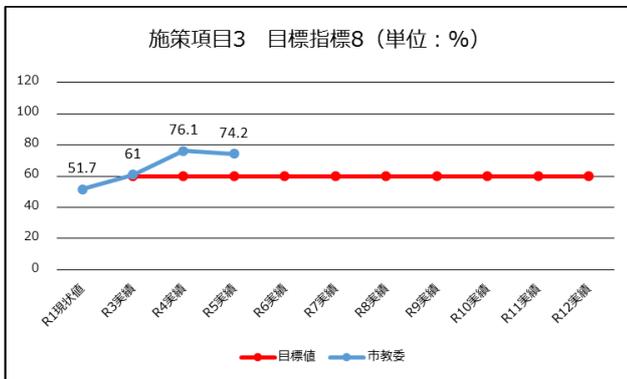
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標7 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



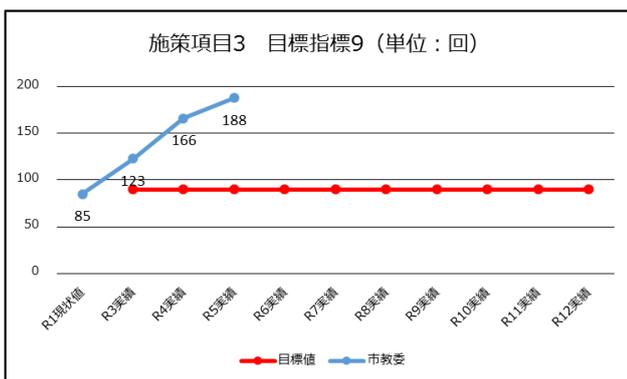
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標8 「個別の教育支援計画」の作成割合



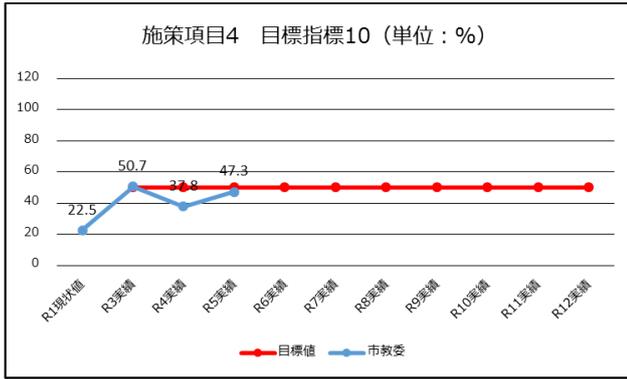
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標9 発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数



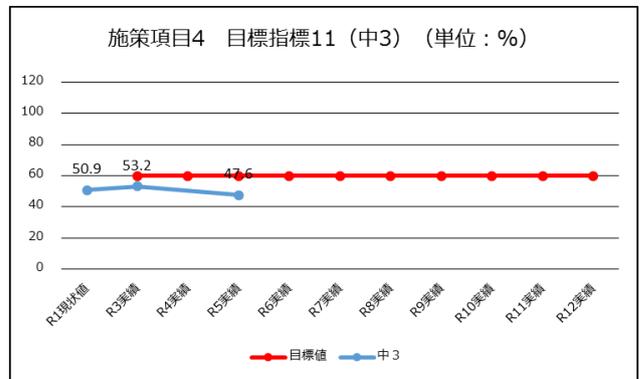
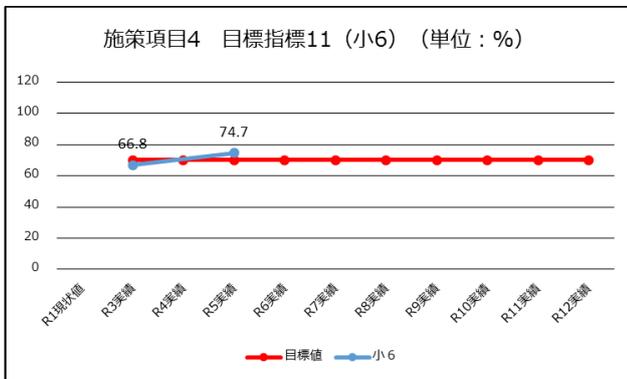
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

目標指標10 英検3級相当以上の英語能力を有する中学校3年生の割合



施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

目標指標11 「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合【全国学力】

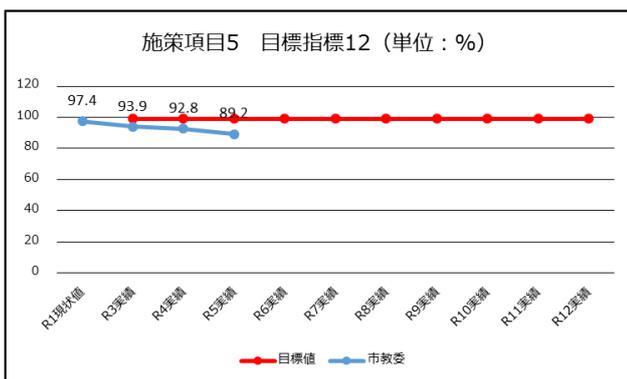


※令和元年度の全国学力・学習状況調査(小6)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

※令和4年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

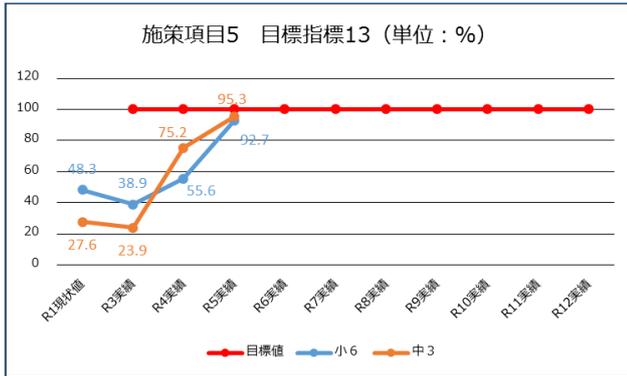
施策項目5 情報教育の充実

目標指標12 ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合



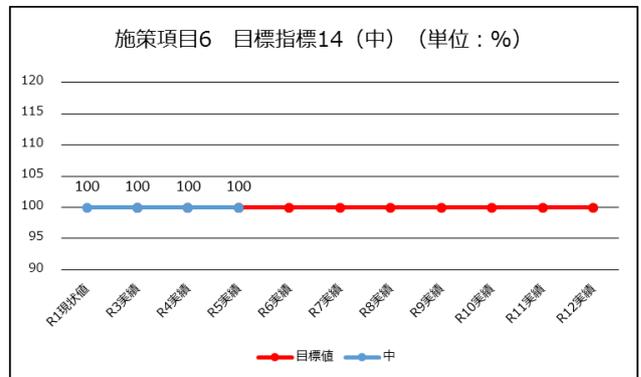
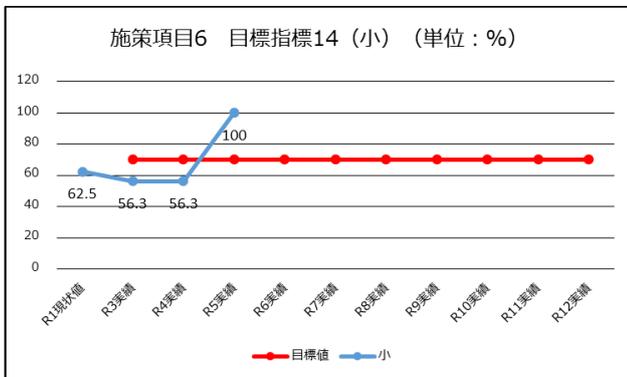
施策項目5 情報教育の充実

目標指標13 「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



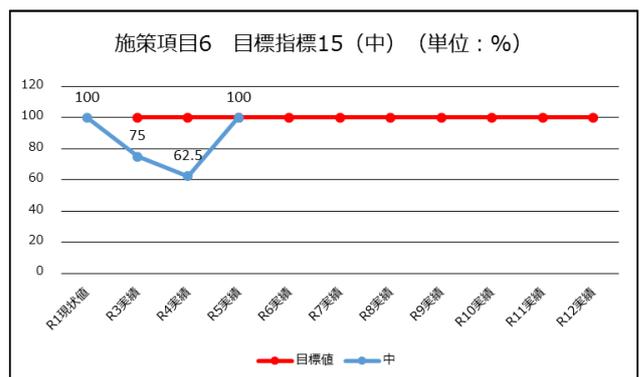
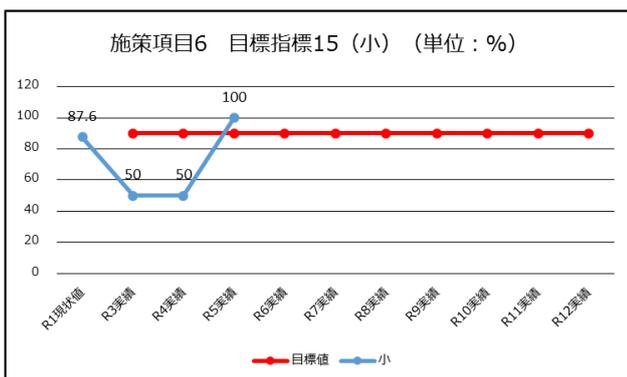
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

目標指標14 職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合【全国学力】



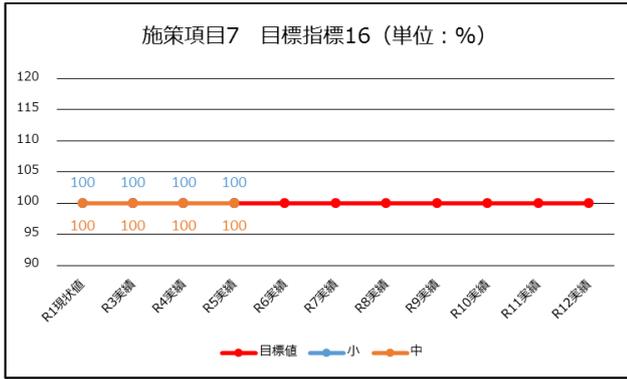
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

目標指標15 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合【全国学力】



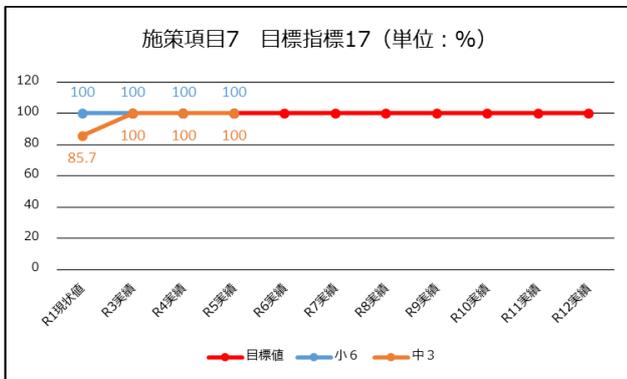
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標16 学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合



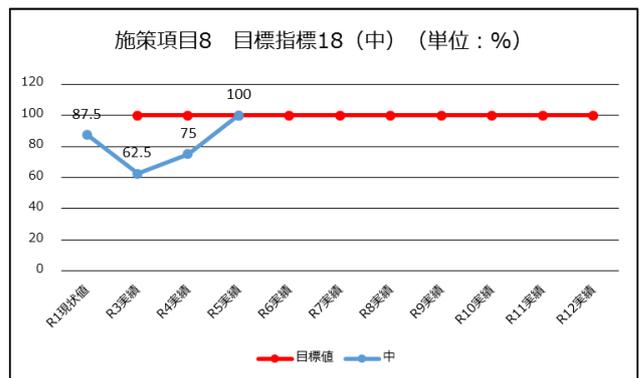
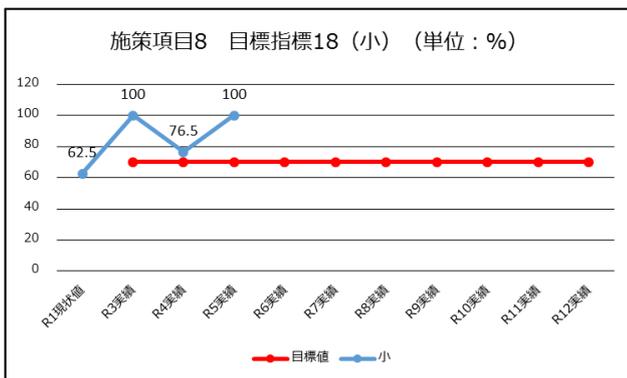
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標17 通学路の安全点検を実施している学校の割合（北進小中、東小、東千歳中を除く）



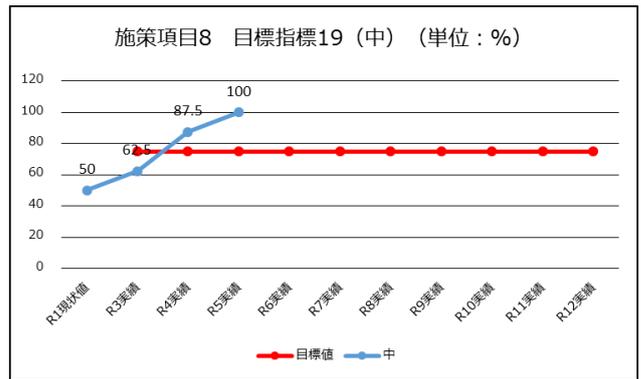
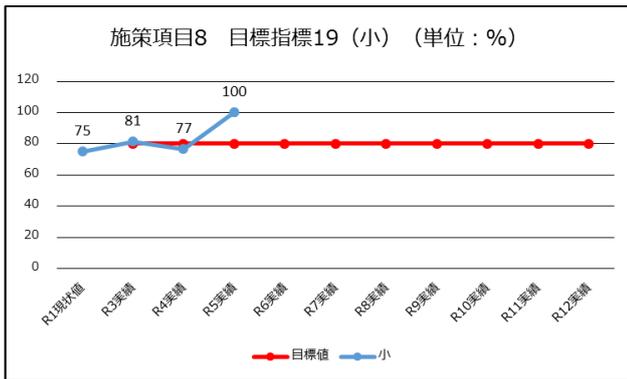
施策項目8 道徳教育の充実

目標指標18 学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合【全国学力】



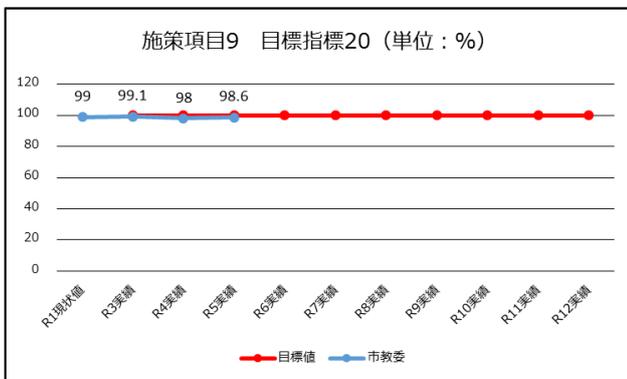
施策項目8 道徳教育の充実

目標指標19 特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合【全国学力】



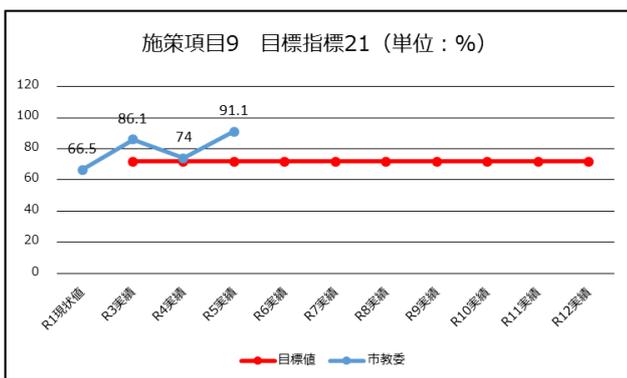
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標20 いじめ解消率



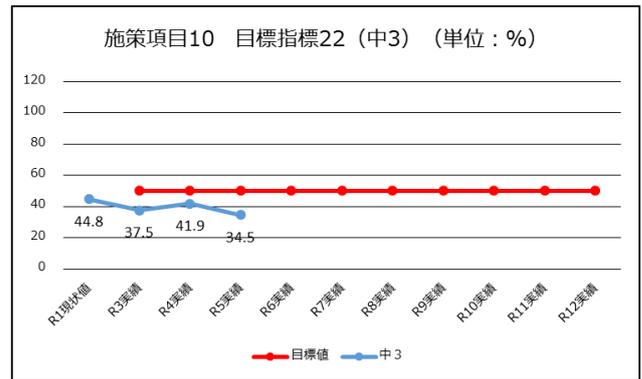
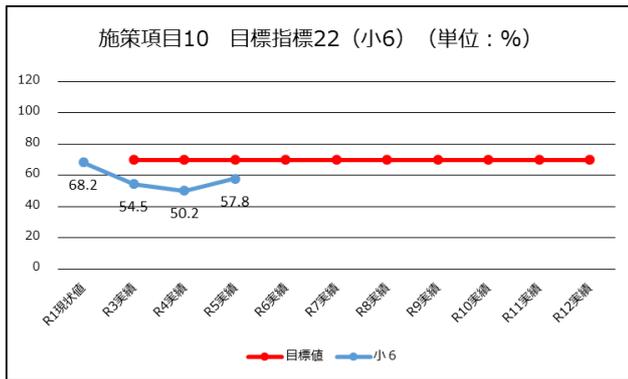
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標21 不登校児童生徒が学校復帰（完全登校及び不定期登校）した割合



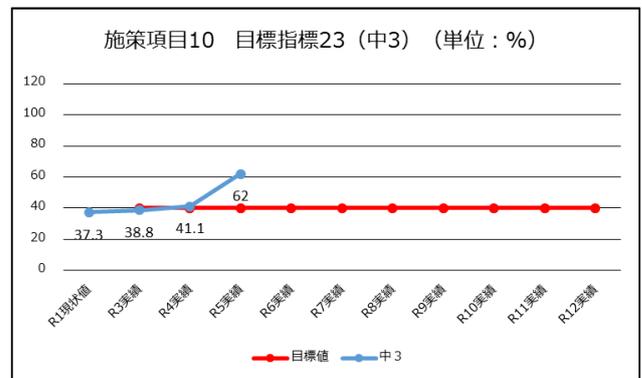
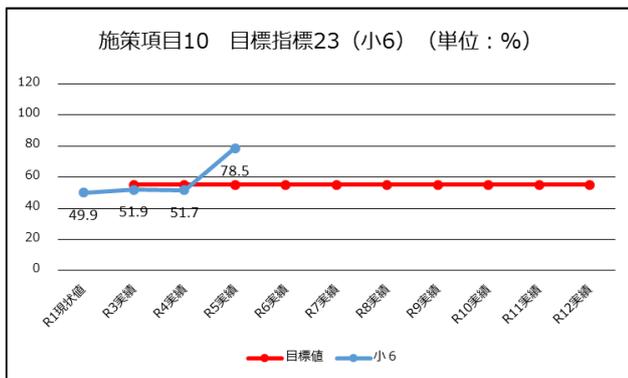
施策項目10 ふるさと教育の充実

目標指標22 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



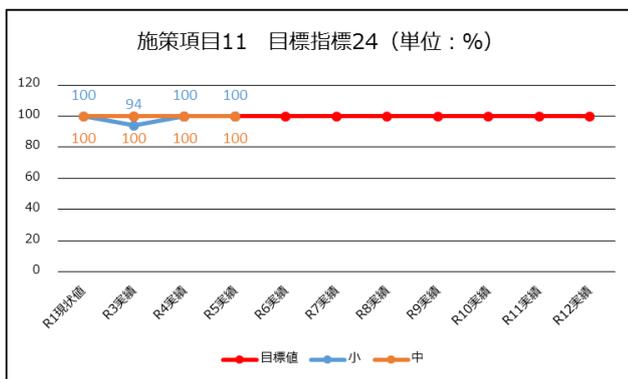
施策項目10 ふるさと教育の充実

目標指標23 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



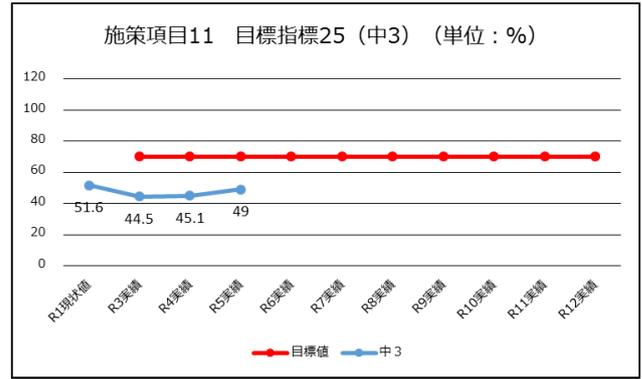
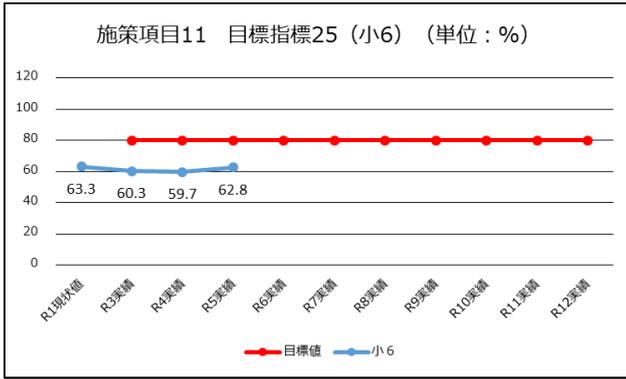
施策項目11 読書活動の推進

目標指標24 「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合



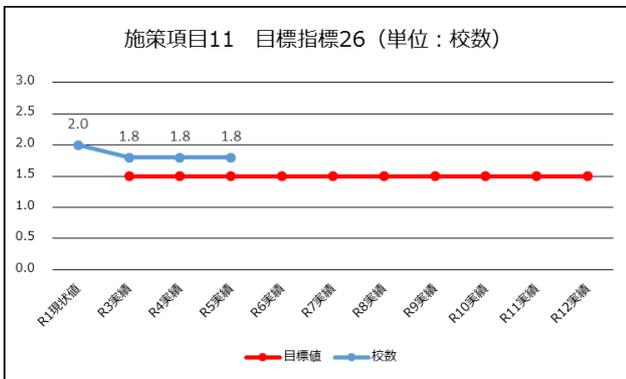
施策項目11 読書活動の推進

目標指標25 「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合



施策項目11 読書活動の推進

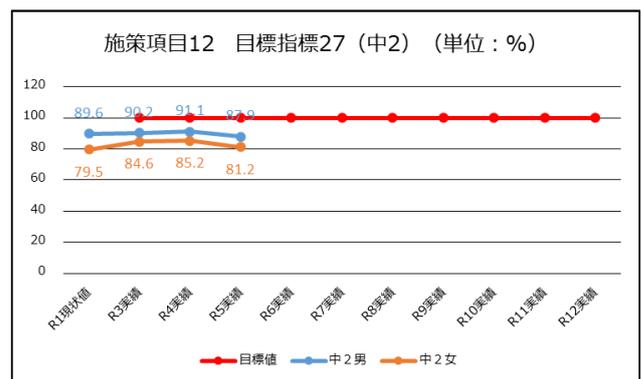
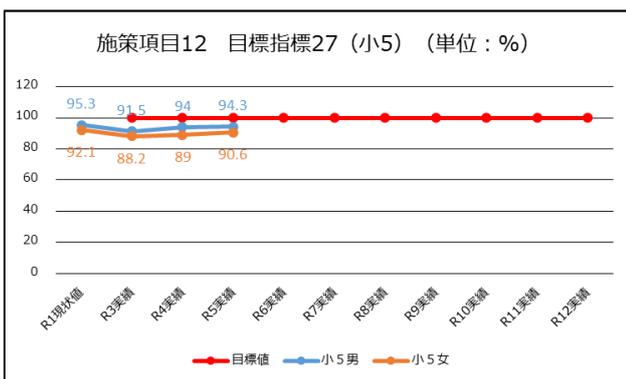
目標指標26 学校図書館司書の配置人数



※令和12年度までに、1.5校を下回ることが目標

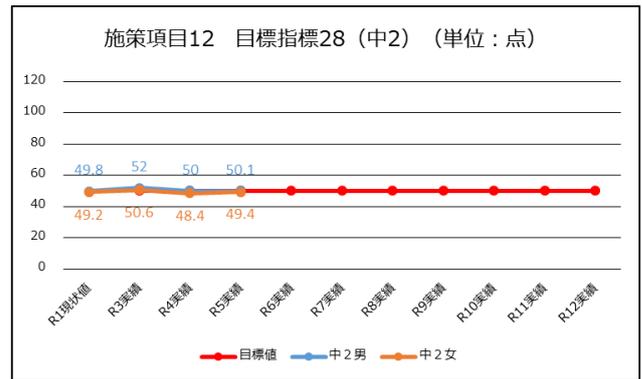
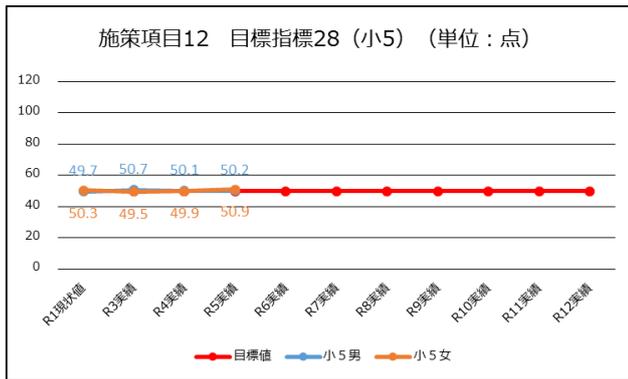
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標27 「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



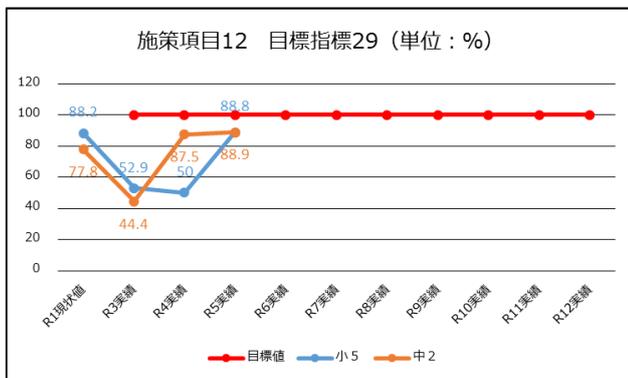
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標28 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点【全国体力】



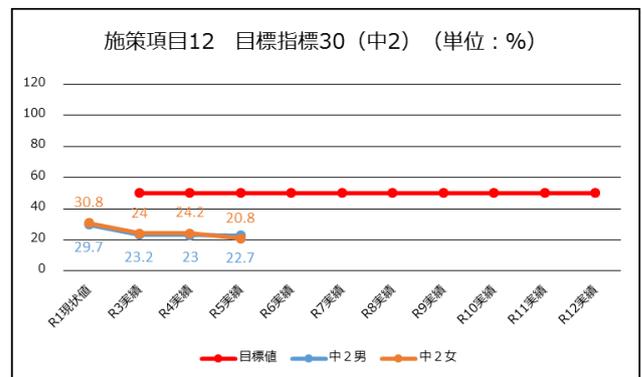
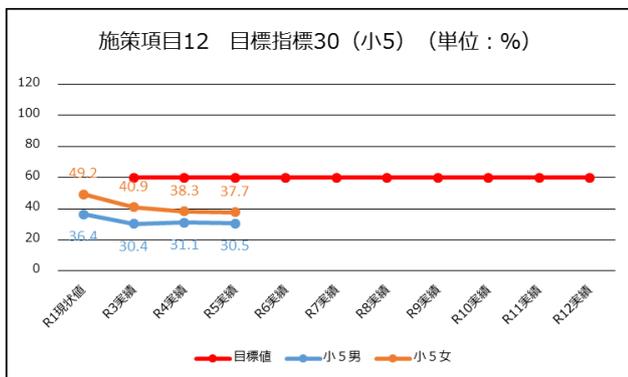
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標29 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合【全国体力】



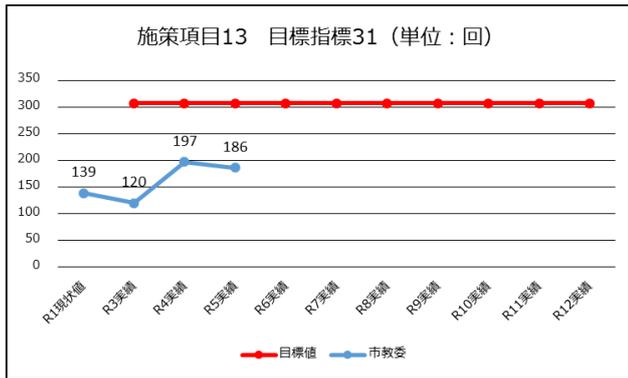
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標30 「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



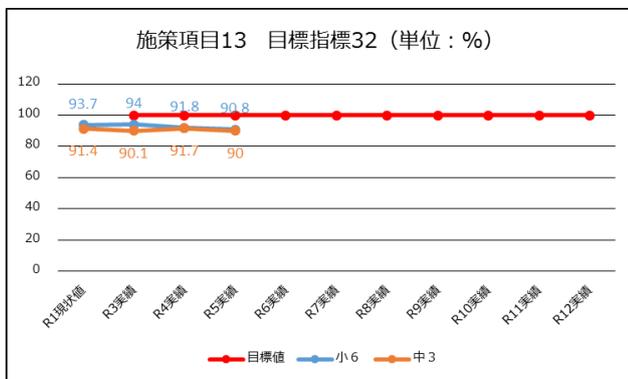
施策項目13 食育の推進

目標指標31 食に関する指導の実施回数



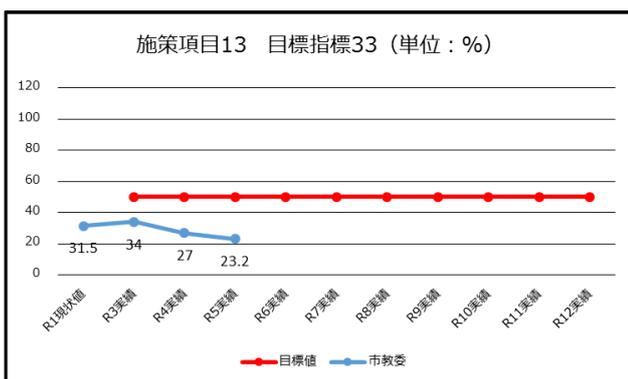
施策項目13 食育の推進

目標指標32 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



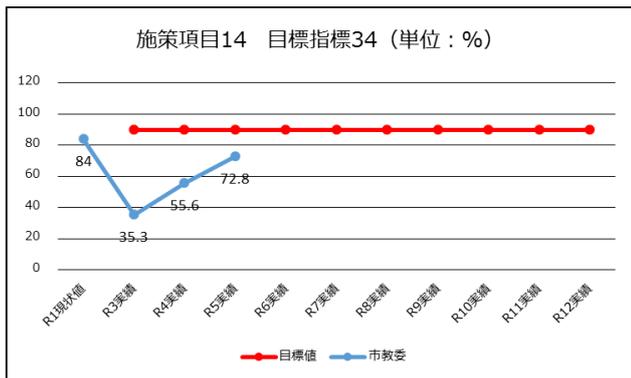
施策項目13 食育の推進

目標指標33 学校給食使用食材(野菜類)における地場産品利用割合



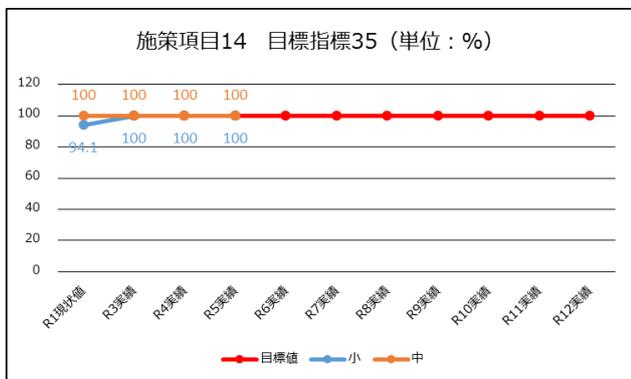
施策項目14 健康教育の推進

目標指標34 フッ化物洗口を実施している児童の割合



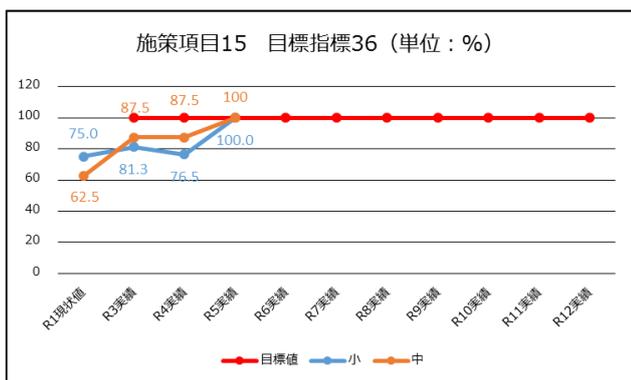
施策項目14 健康教育の推進

目標指標35 学校保健委員会を設置している学校の割合



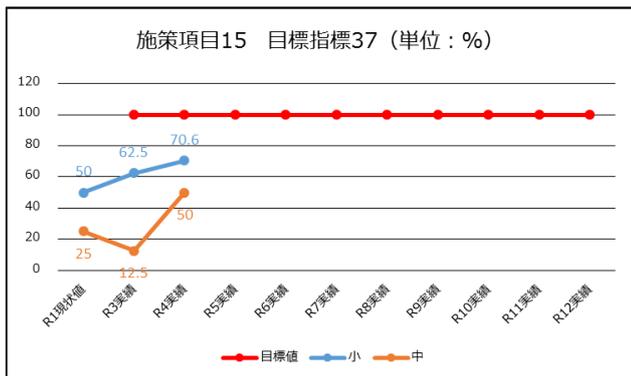
施策項目15 学校運営の充実

目標指標36 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを悪率している学校の割合【全国学力】



施策項目15 学校運営の充実

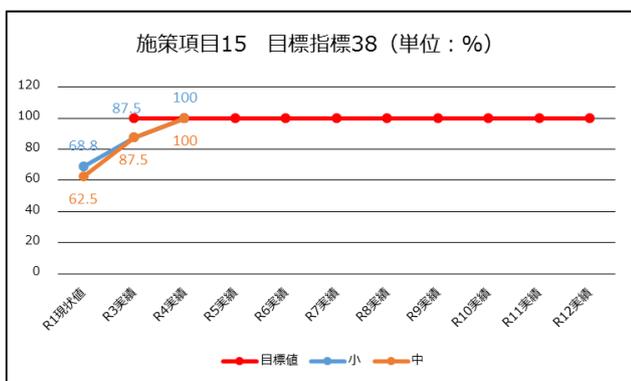
目標指標37 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目15 学校運営の充実

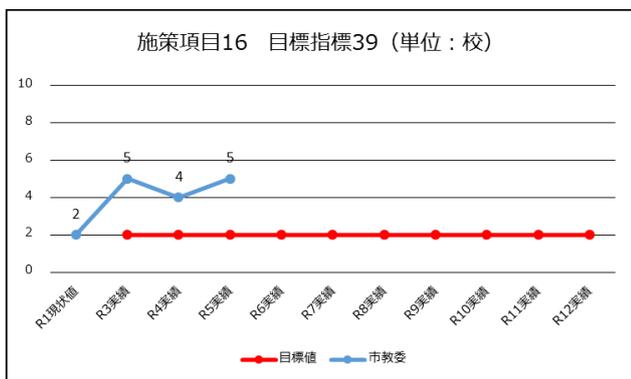
目標指標38 業務改善に取り組んでいる学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

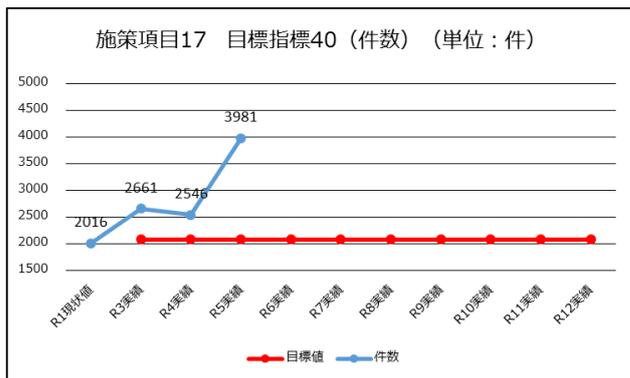
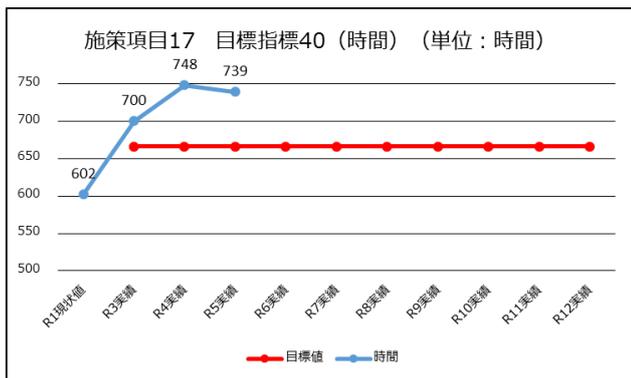
施策項目16 学校施設・設備に充実

目標指標39 大規模改修（1校当たり2,000万円を超える工事）の実施校数（各年度の整備数）



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

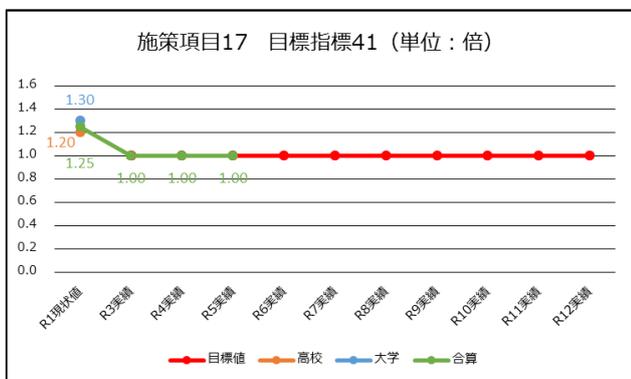
目標指標40 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

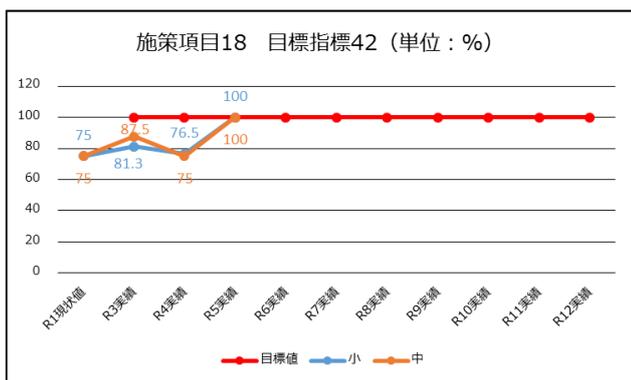
目標指標41 奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合 (高校生・大学生)

※令和12年度までに1.0倍以下になることが目標



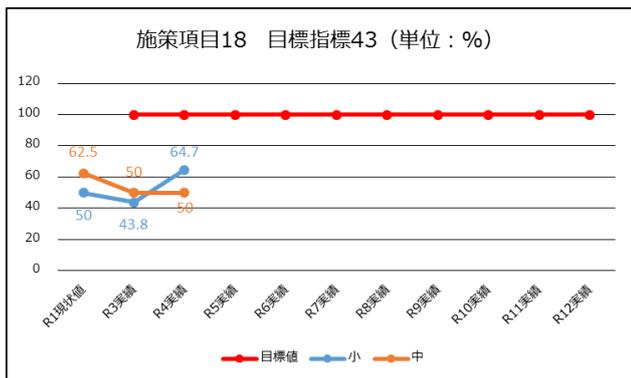
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標42 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合【全国学力】



施策項目18 教員の研修の推進

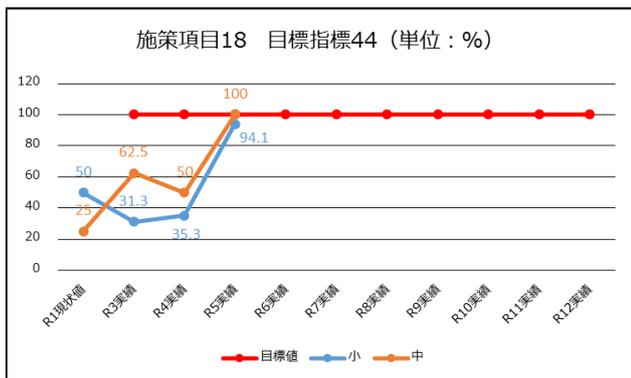
目標指標43 「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

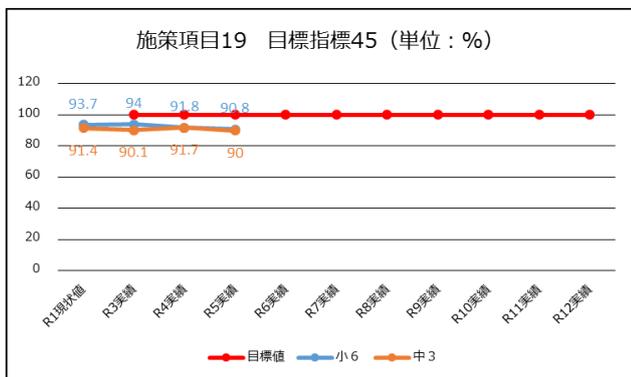
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標44 近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合【全国学力】



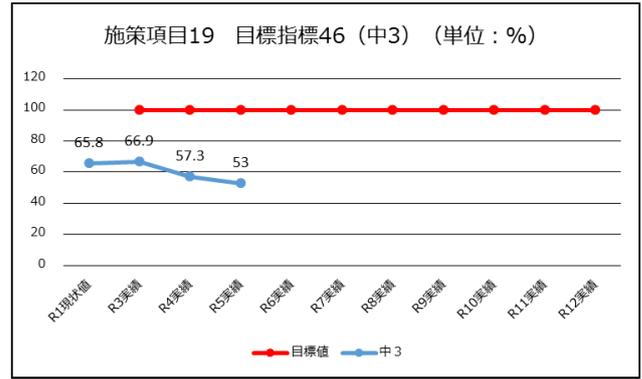
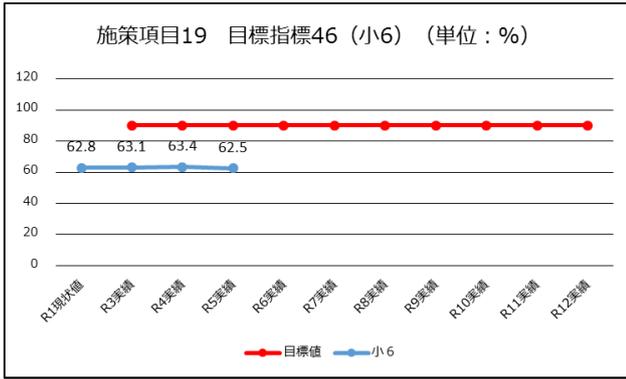
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標45 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



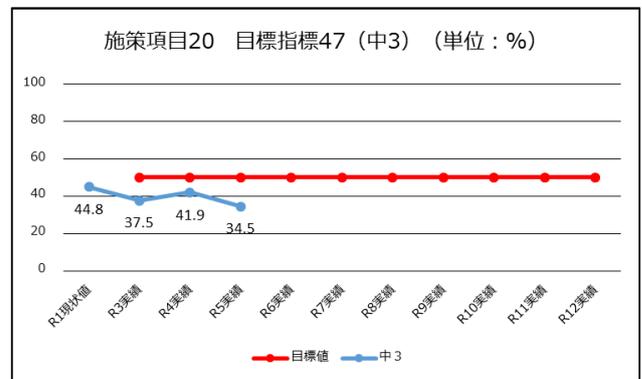
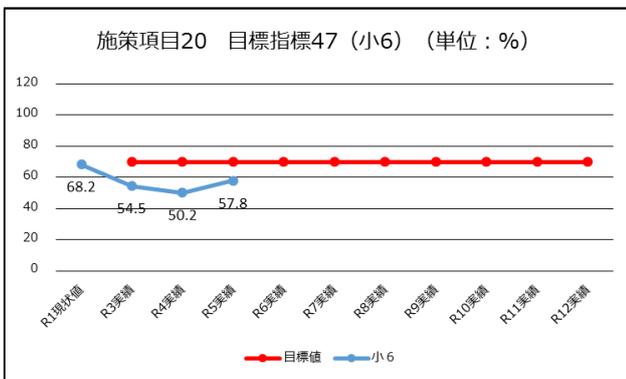
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標46 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



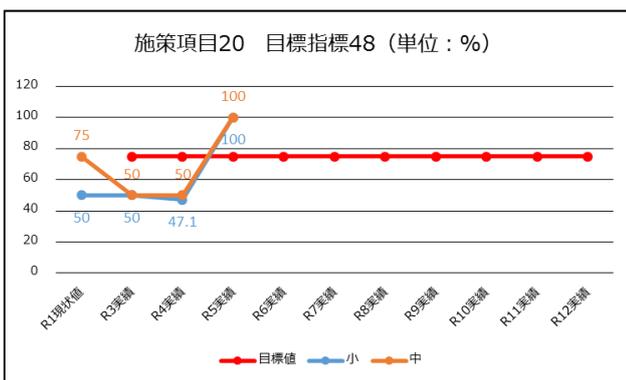
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標47 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



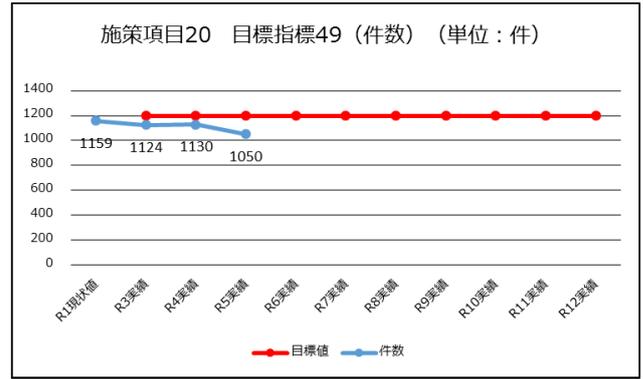
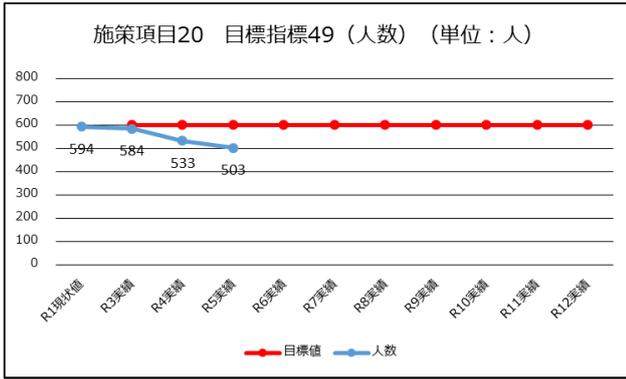
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標48 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合【全国学力】



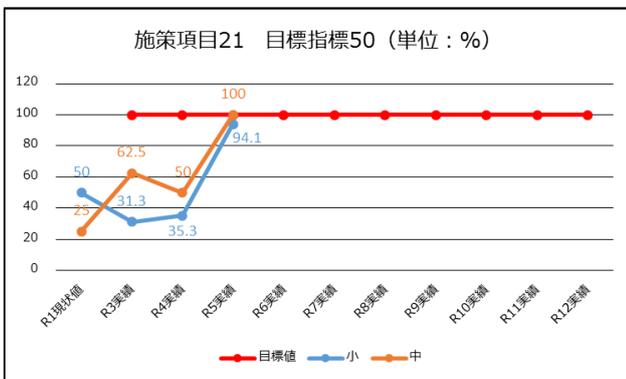
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標49 千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」の登録件数【全国学力】



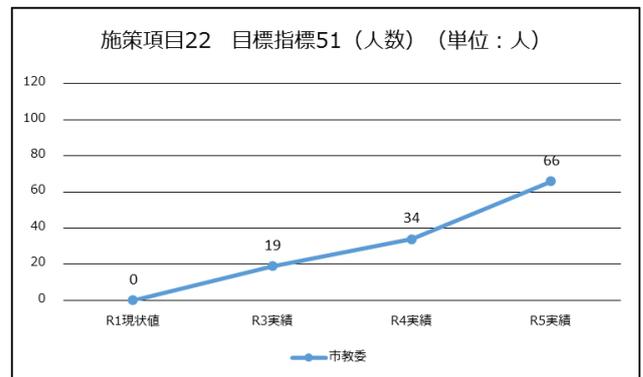
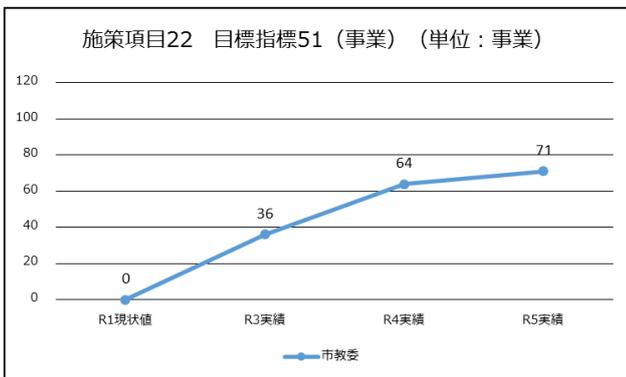
施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実

目標指標50 近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)【全国学力】



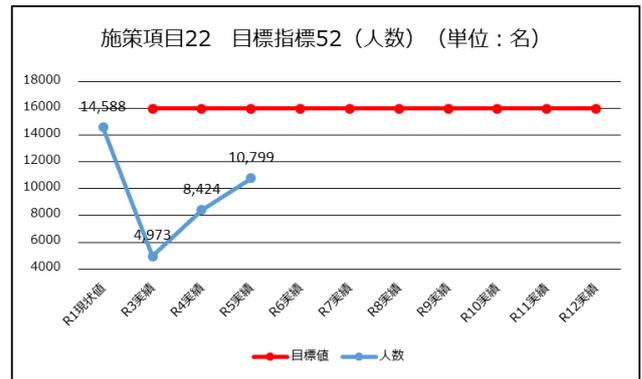
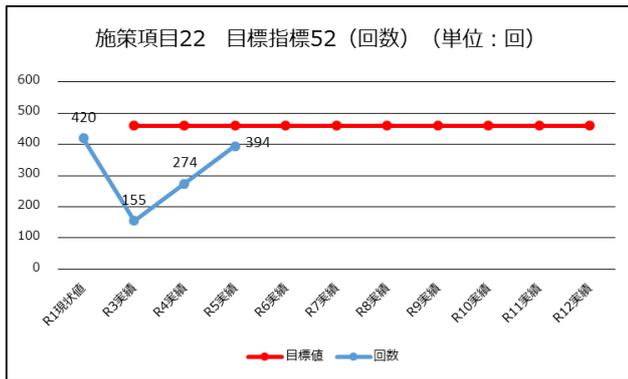
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標51 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数 (※令和12年度まで右上がりです事業数及び登録者数が増え続けることが目標)



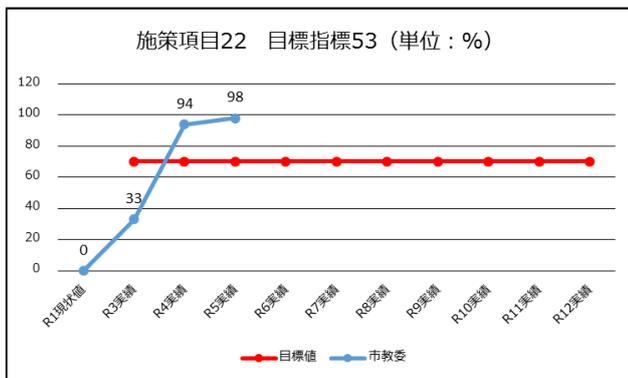
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標52 「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数



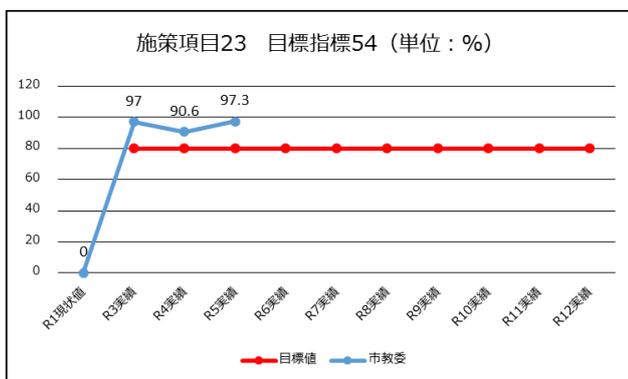
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標53 学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合

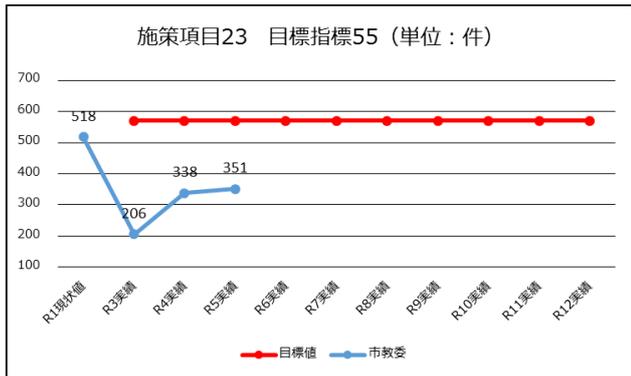


施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実

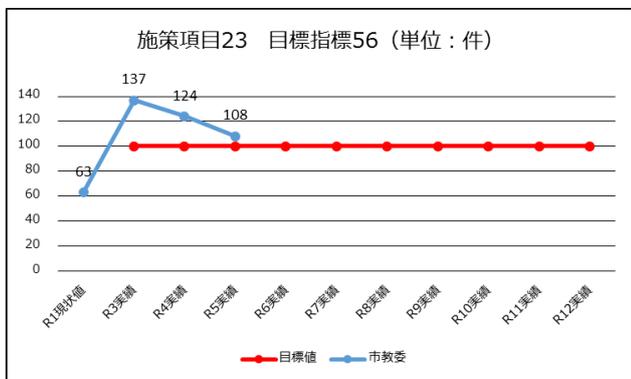
目標指標54 市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合



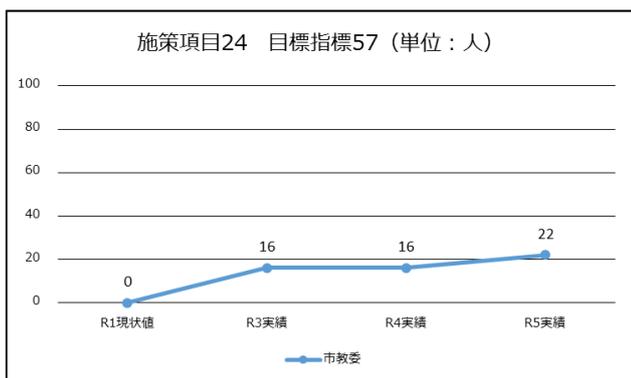
施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実  
 目標指標55 市民活動交流センターが行った情報提供事業件数



施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実  
 目標指標56 市民活動交流センターが行った相談対応件数

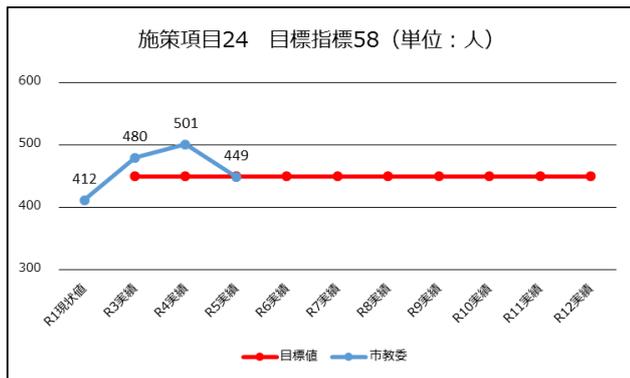


施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進  
 目標指標57 「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数  
 (※令和12年度まで右上がりです事業数及び登録者数が増え続けることが目標)



施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

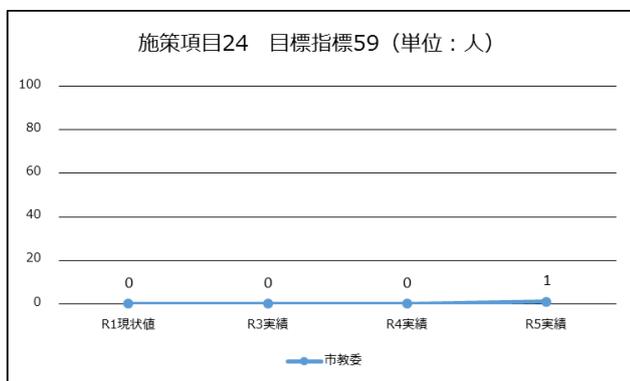
目標指標58 「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数



施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

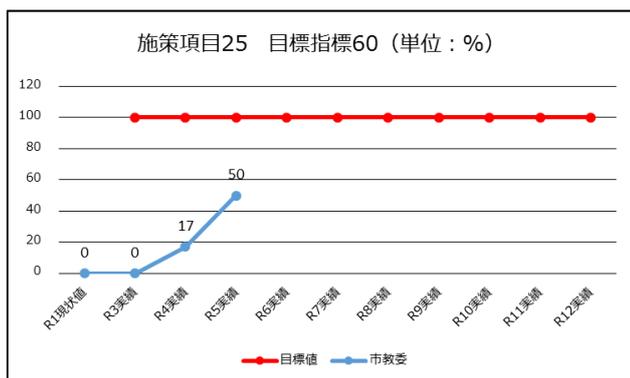
目標指標59 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数

※令和12年度まで右上がりです事業数及び登録者数が増え続けることが目標



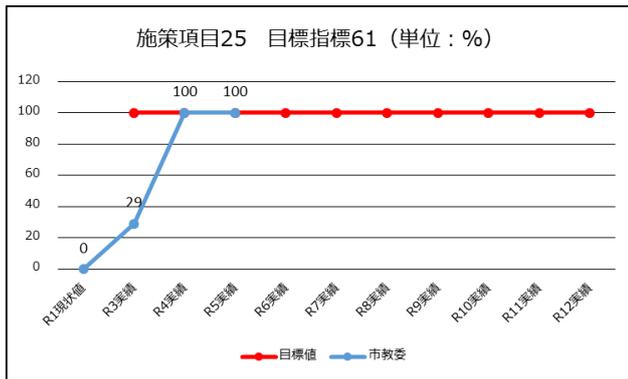
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標60 地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合



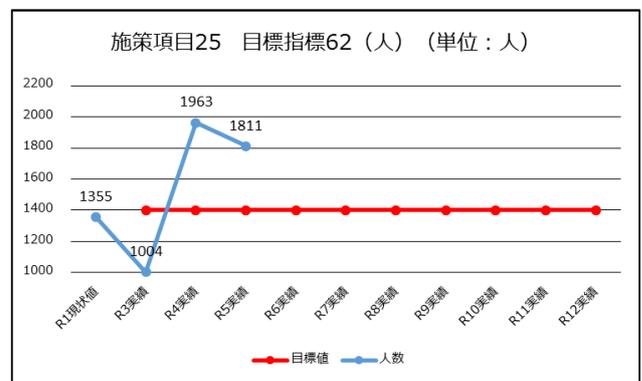
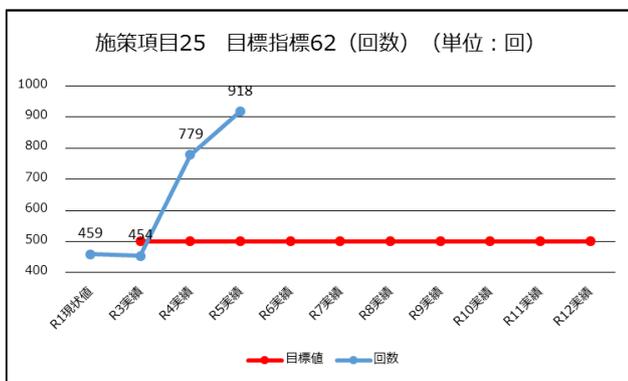
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標61 地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合



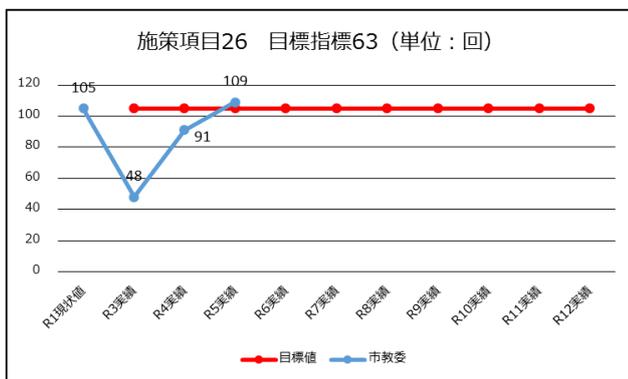
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標62 地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数



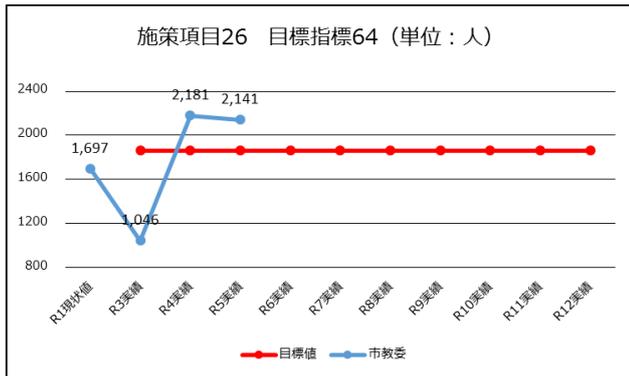
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標63 教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となって行ったものの実施回数



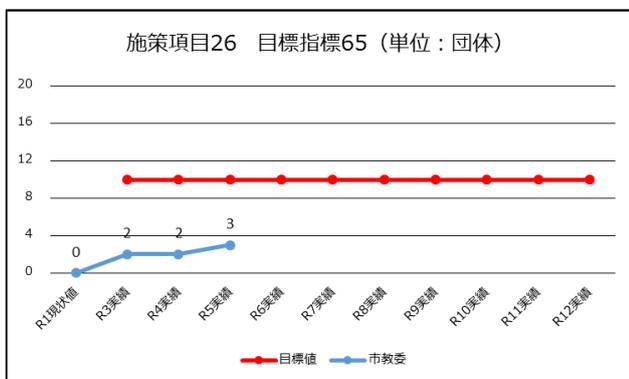
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標64 千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数



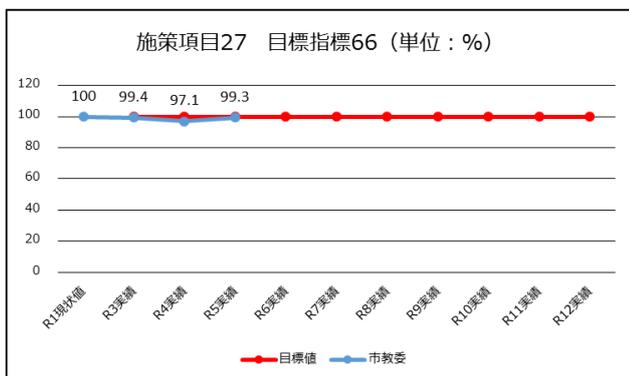
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標65 教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数



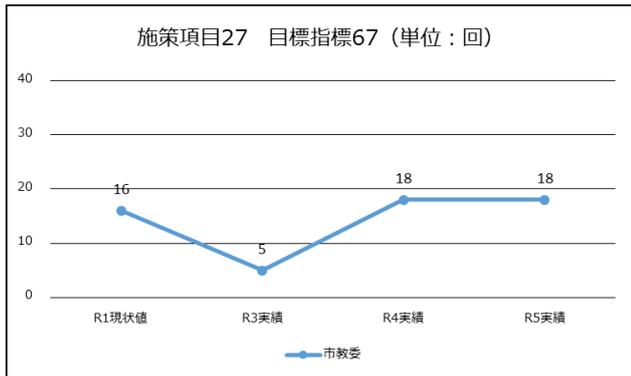
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

目標指標66 教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

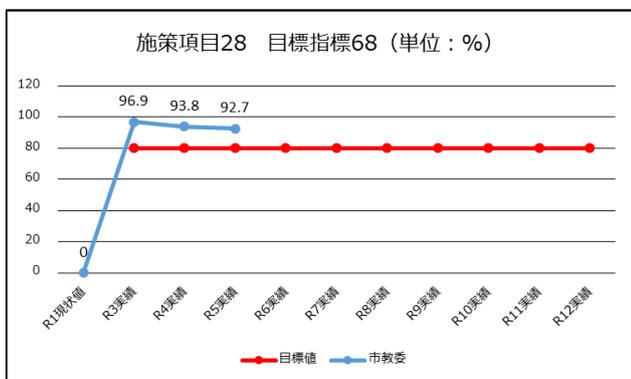
目標指標67 子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数



※令和12年度まで右上がりで事業数及び登録者数が増え続けることが目標

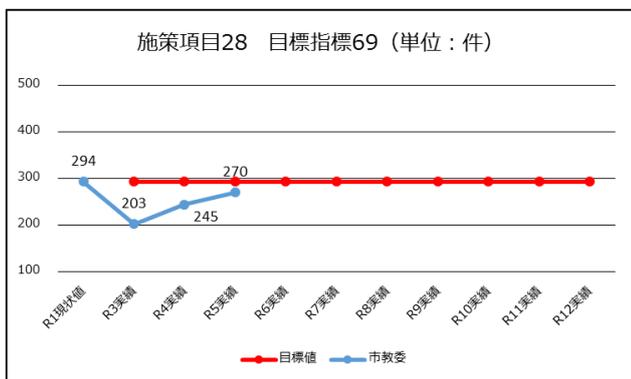
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標68 教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合



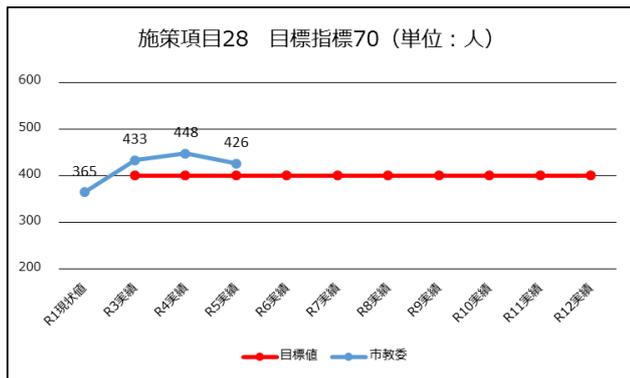
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標69 「マナビィ」や「少年団体一覧表」など、教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数



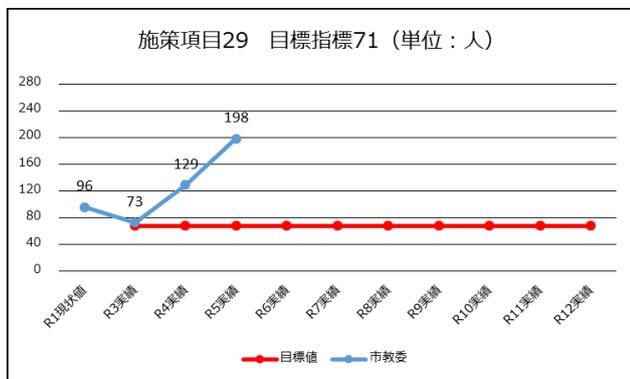
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標70 ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数



施策項目29 青少年非行防止への取組の推進

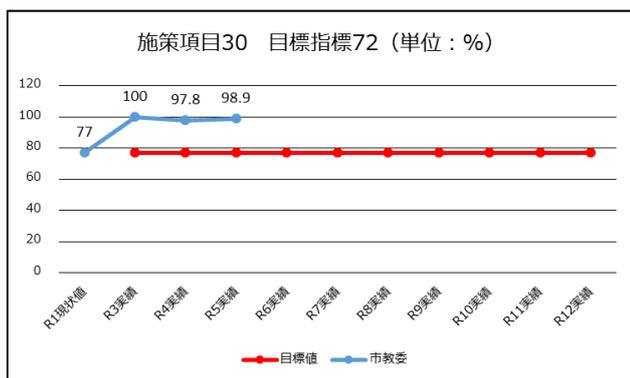
目標指標71 青少年指導件数



※令和12年度までに指導件数が68人以下になることが目標

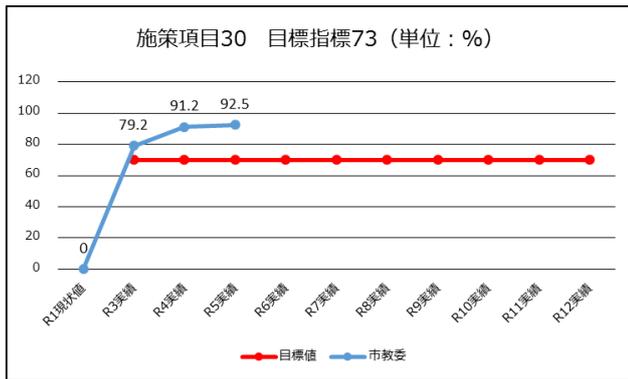
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標72 教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



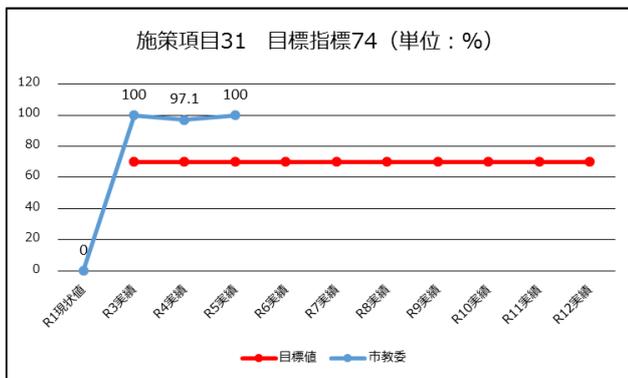
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標73 高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合



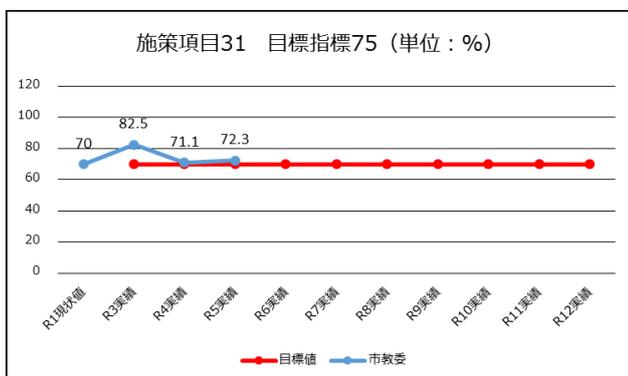
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標74 教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合



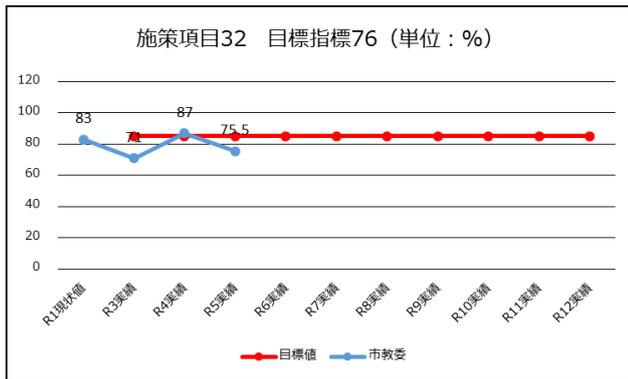
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標75 教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合



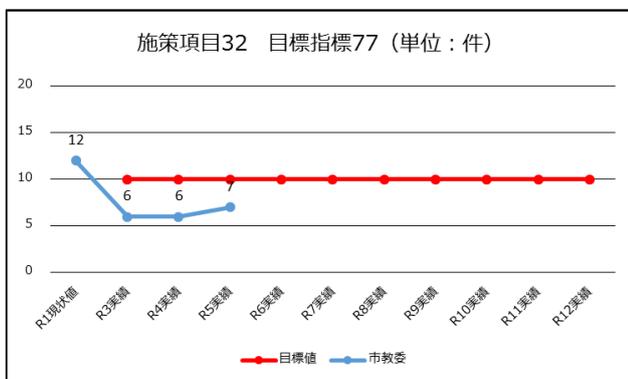
施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

目標指標76 公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

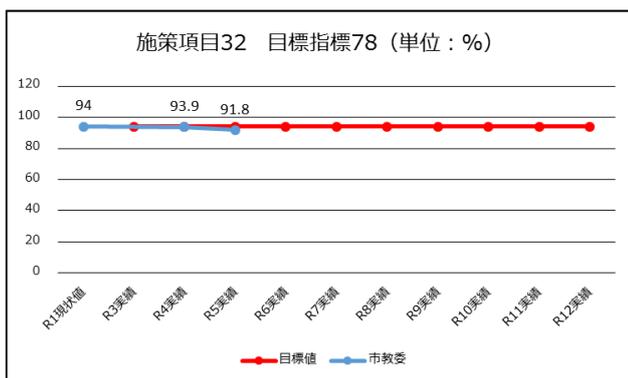
目標指標77 図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件



※令和12年度までに改善意見の件数が10件を下回ることが目標

施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

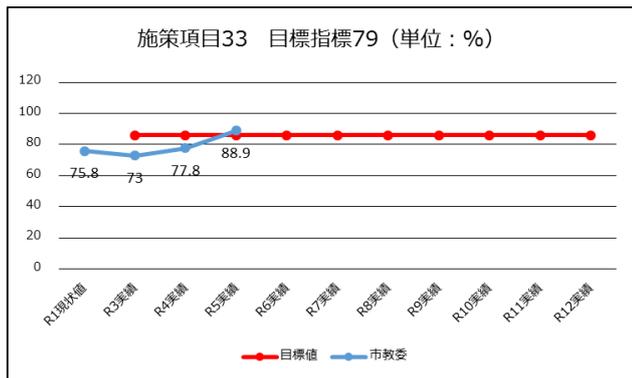
目標指標78 図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館まつりを中止した。

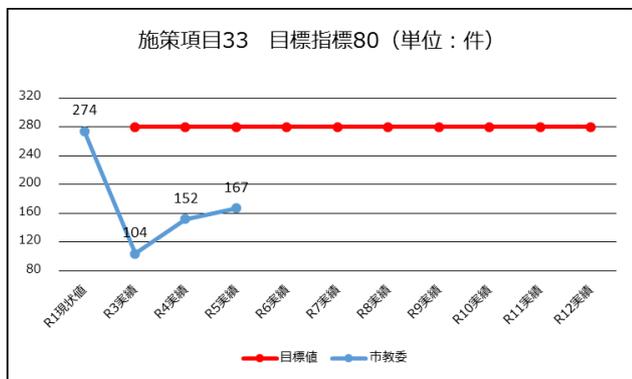
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標79 市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合



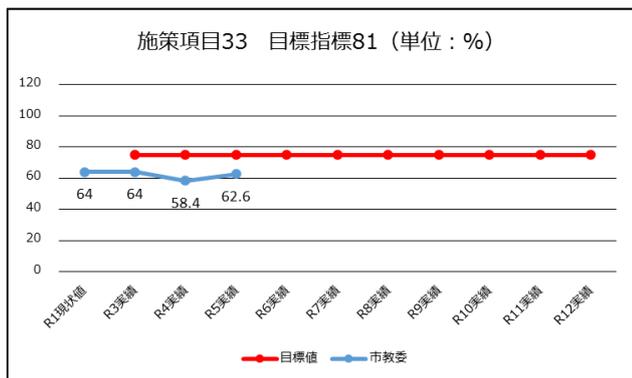
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標80 文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数



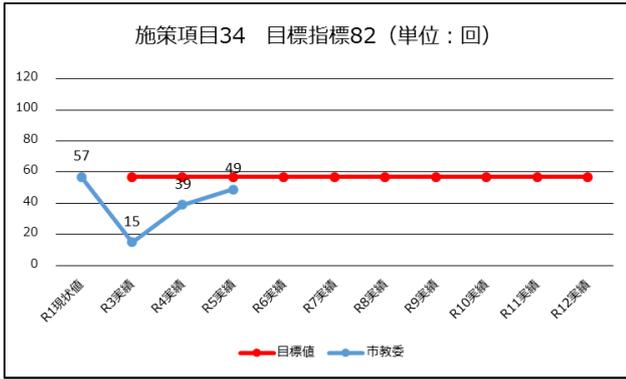
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標81 市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合



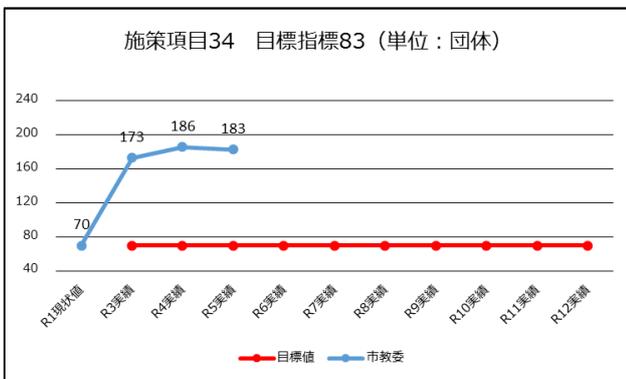
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標82 教育委員会の支援（補助・共催・後援）により実施された文化芸術事業の実施回数



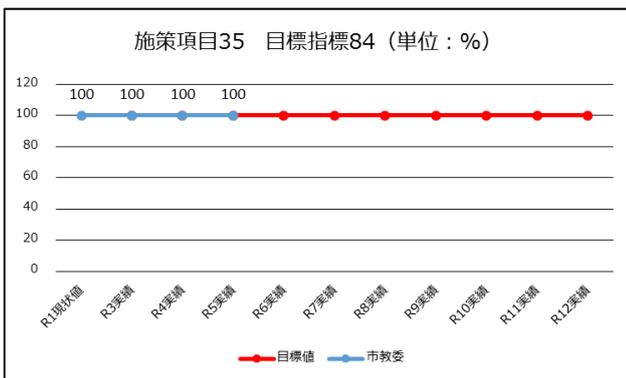
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標83 文化芸術に関わる団体数（社会教育関係団体（文化芸術分野）と文化団体連絡協議会加盟団体の数）



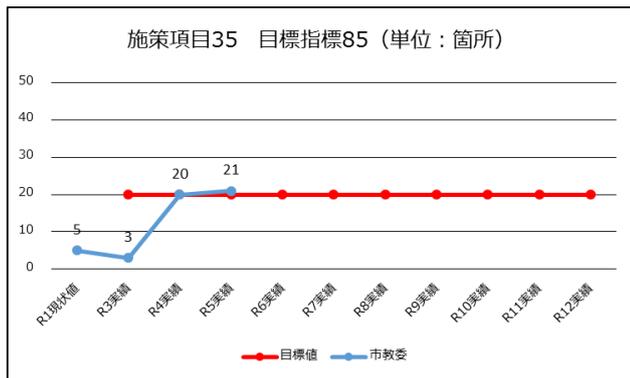
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標84 発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合



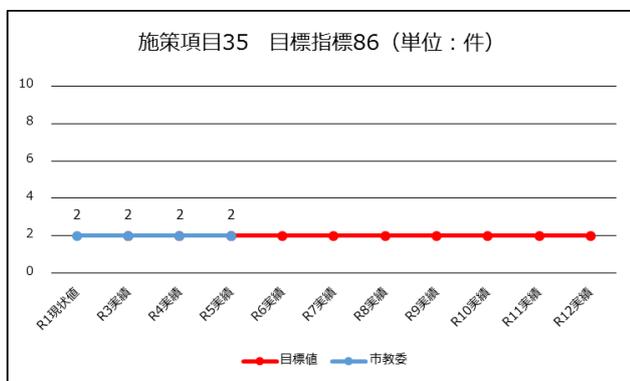
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標85 遺跡パトロールの年間実施箇所数



施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標86 市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数

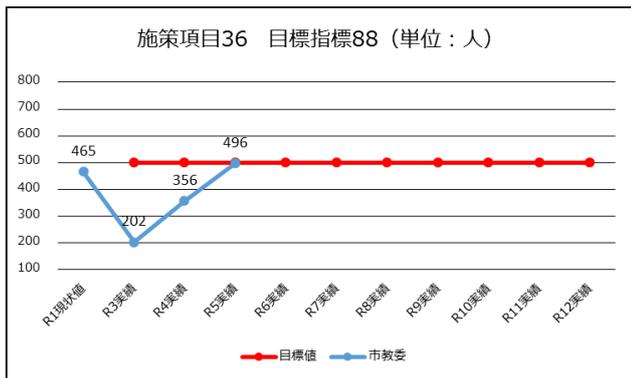


施策項目36 文化財の活用の推進

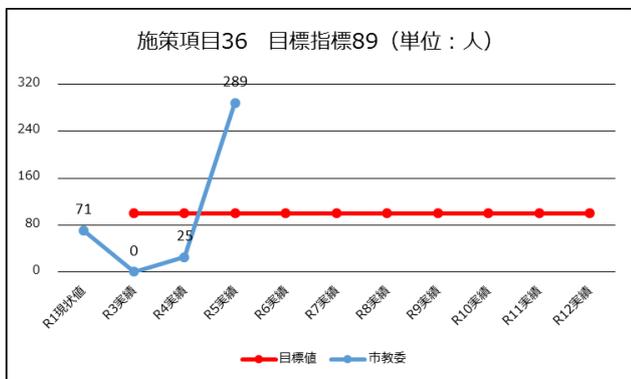
目標指標87 埋蔵文化財センター展示室の見学者数



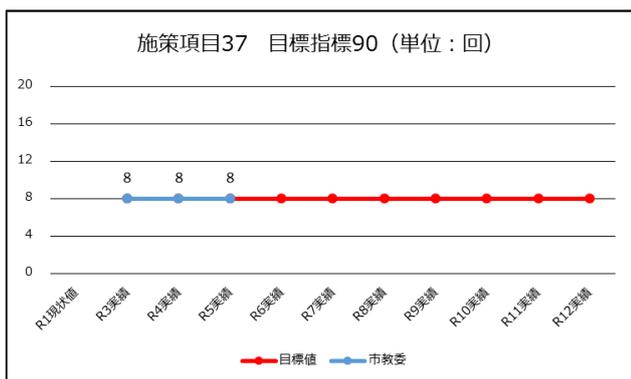
施策項目36 文化財の活用の推進  
 目標指標88 体験学習会への参加者数



施策項目36 文化財の活用の推進  
 目標指標89 講演会への参加者数

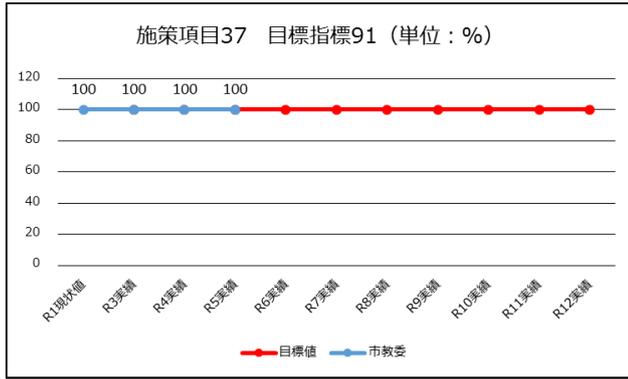


施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進  
 目標指標90 資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数



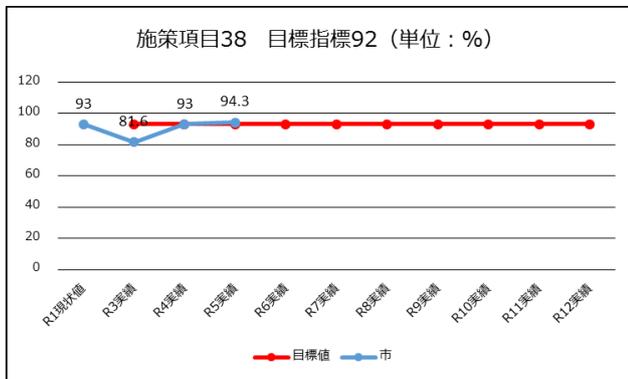
施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進

目標指標91 構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握



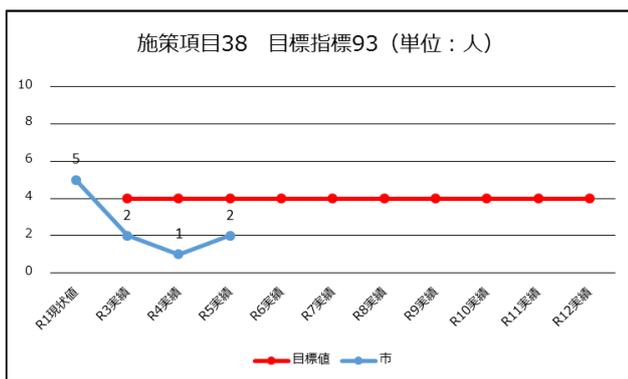
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標92 千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対するの参加



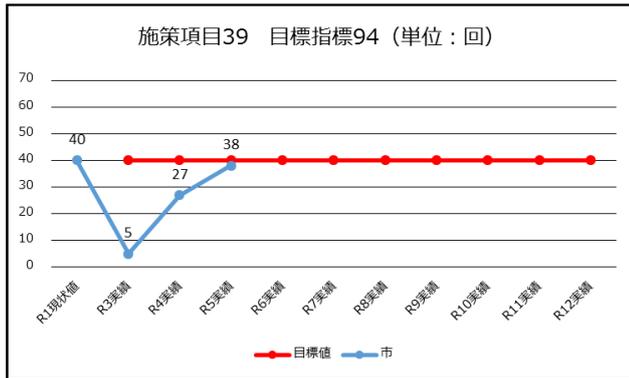
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標93 千歳市スポーツ表彰被表彰者数



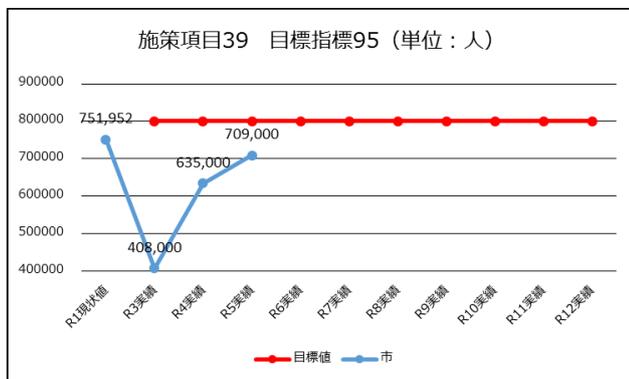
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標94 千歳学出前講座（市役所編スポーツ）の実施回数



施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標95 屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者



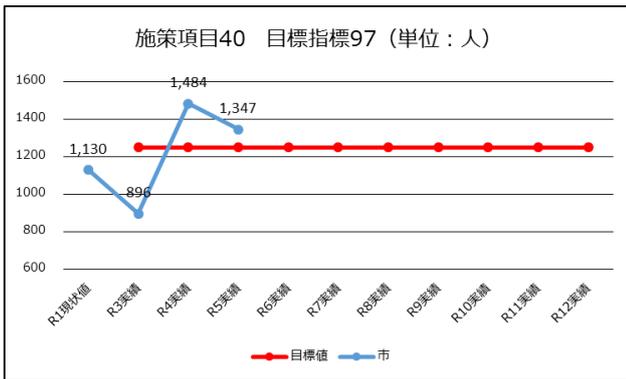
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標96 学校施設開放のスポーツ利用回数



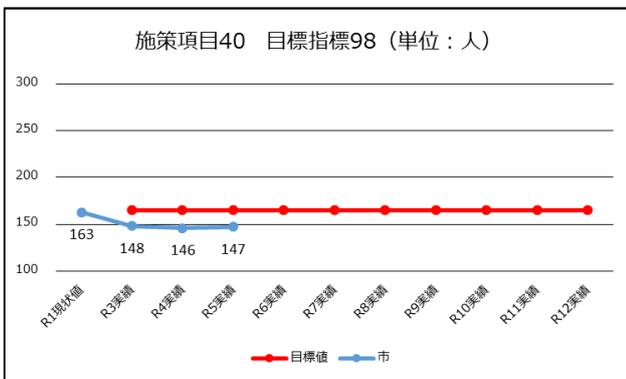
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標97 千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数（委託先指導者を含む）



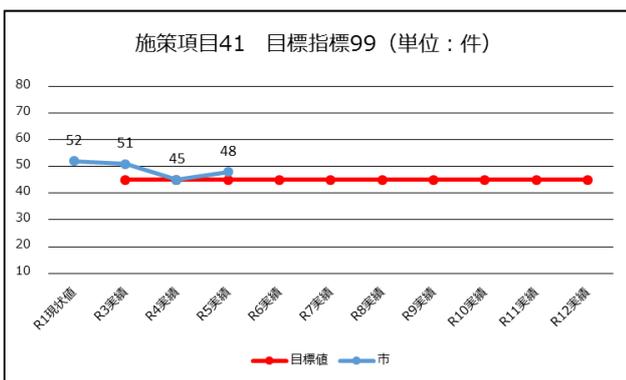
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標98 （公財）千歳市スポーツ協会に登録しているスポーツ少年団指導者（各少年団認定員）の数



施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

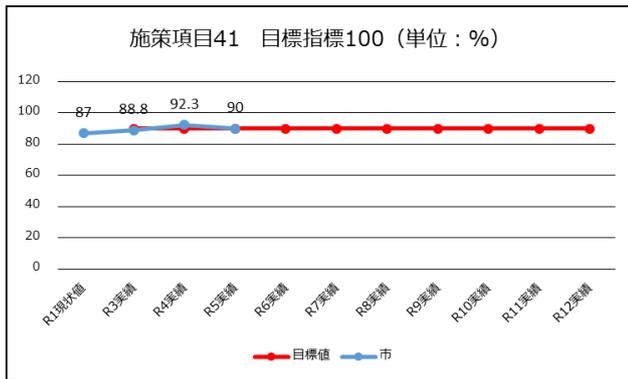
目標指標99 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数



※令和12年度までに改善意見の件数が45件を下回ることが目標

施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

目標指標100 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合



基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
教師との信頼関係や子どもたち同士のよりよい人間関係を育む親和的な学年・学級経営を推進します				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
学校目標の実現を目指す学年・学級経営の充実	学校教育目標の実現を目指し、児童生徒の実態を踏まえ、身に付けさせたい資質・能力を明確にして、「どの場面で」「どのように力をつけるのか」を学年・学級経営計画に反映させ、組織的に親和的な集団づくりを進めます。			A
ハイパーQU検査の活用	ハイパーQU検査の結果を児童生徒個々の指導や学級全体の指導に反映させるとともに、具体的支援の必要な児童生徒や学級について、共通理解を図ります。			A
学習規律の徹底	全教職員が学校全体で定めた学習規律の共通理解と指導の徹底を図り、効率的・効果的な学習を促進します。			A
自尊感情や自己有用感を高める取組の充実	授業や特別活動を通じて、児童生徒に存在感や達成感を味わわせ、自分の活動を振り返り、成長に気づかせるなど、自尊感情や自己有用感を高める学びの充実に努めます。			A
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合	小 68.8% 中 50.0%	58.8% 62.5%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合	小5 65.0% 中2 30.0%	67.6% 37.0%	84.8%(B) 44.4%(C)	小5 90%以上 中2 80%以上
学習規律の維持を徹底している学校の割合	小 75.0% 中 75.0%	令和4年度調査 項目なし	令和5年度調査 項目なし	小 100% 中 100%
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合	小6 87.0% 中3 83.3%	86.8% 88.8%	91.5%(A) 87.4%(B)	小6 90%以上 中3 90%以上
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
A (2.5点)	施策項目評価項目数 主な取組: 4、目標指標: 8			
	主な取組 (4×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 12			
	目標指標 (3×3) + (4×2) + (1×1) + (0×0) = 18			
	判定 (12+18) ÷ 12 = 2.5 点数: 2.5 評価: A			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)				
全児童生徒に、年間2回ハイパーQU検査を実施した。ハイパーQU検査を活用して学級・学年経営が充実するように、参加者の校内での役割に合わせた研修会を実施した (担当者: 効果的に活用する校内研修、担任: 結果分析に基づく具体的な方策)。各校の検査結果分析に基づき、令和6年度以降の学級・学年経営により生かされるように、課題を焦点化して報告書にまとめた。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
いじめや不登校の未然防止及び学級満足度の高い学級の児童生徒は学力も向上する傾向にあることから、引き続き、ハイパーQU検査を活用し、客観的なデータをもとに学級・学年経営の改善に取り組む。親和的な学級を実現する目安となる「学級満足度群70以上」を指標として掲げ、優れた実践の交流や具体的な方策の協議など、各校での組織的な取り組みを推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
ハイパーQU検査については、小中学校ともに目標達成に向け向上しており、素晴らしいと感じます。効果的な活用については、学校ごとに様々な取組があると思いますので、お互いに学び合いながら具体的な改善につなげていただきたいと思います。				

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目2 確かな学力の育成		担当課	企画総務課・学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
授業改善の推進	千歳市学力向上検討委員会の提言に基づく取組を充実し、学力向上のための授業改善を積極的に進めます。			A	
個に応じたきめ細かな学習指導	子ども一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を目指し、千歳市独自の学習支援員を配置して、習熟度別少人数指導など、丁寧な学習指導により学力の向上を図ります。			A	
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	公立千歳科学技術大学の学生による長期休業中の学習サポートの実施やeラーニングを活用した取組の推進を図ります。		A	B	
ICT機器の整備・活用	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A	
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「授業(国語、算数・数学)の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合		小6 82.0% 中3 76.4%	83.3% 77.8%	85.0%(B) 76.2%(B)	小6 90%以上 中3 90%以上
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合		小 国語:同様 小 算数:やや低い 中 国語:低い 中 数学:低い	94.5% 91.8% 94.2% 91.4%	97.6%(B) 93.4%(B) 96.4%(B) 89.0%(B)	小 全国比同様以上 中 全国比同様以上
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合		小6 62.8% 中3 65.8%	63.4% 57.3%	62.5%(C) 53.0%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総合評価					
(1) 達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))					
B (2.2点)	施策項目評価項目数	主な取組: 6、目標指標: 8			
	主な取組	$(5 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 17$			
	目標指標	$(0 \times 3) + (6 \times 2) + (2 \times 1) + (0 \times 0) = 14$			
	判定	$(17 + 14) \div 14 = 2.21428571428571$ 点数: 2.2 評価: B			
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
個に応じたきめ細かな学習指導を目指し、学習支援員を配置した習熟度別少人数指導により、児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の充実を図ったほか、公立千歳科学技術大学と連携した学生による長期休業中の学習サポートやeラーニングを活用した取組などを実施した。学力向上検討委員会で市内3校をモデル校に指定し、学力向上策の実践検証に取り組んだ。検証の成果は「学校・家庭・教育委員会への提言」として発信し、学力向上策の推進に努めた。教職員の資質能力の向上のため、ICT機器の活用(464名、オンデマンド60名)や国語科における読解力"8"および記述力向上(120名)をテーマにした研修会を開催した。また、ICT機器の整備については、小中学校にAIデジタルドリルを導入するとともに、小学校におけるデジタル教科書及び耐用年数を超過している電子黒板127台を更新した。					
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
各校において全国学力・学習状況調査や標準学力検査などの結果を基に授業改善に努めるほか、令和5年度の学力向上検討委員会の提言をもとに、各校の学校改善プランに基づく学力向上策を推進する。また、教員への研修会や学校訪問での指導助言などを通じて、ICTの活用推進や、一人ひとりが考え説明する機会が多い「探求型・対話型の授業」への転換を図り、「読解力と記述力の向上」に取り組むほか、基礎・基本の定着を図る「習得型・反復型」の授業として、学習支援員等による算数・数学科の習熟度別少人数指導を一層促進する。また、AI搭載型デジタルドリルや公立千歳科学技術大学が開発したeラーニングなどのICT機器を授業や家庭学習において有効活用し、個別学習や協働学習の充実を図る。ICT機器については、耐用年数を超過している電子黒板については、引き続き更新を行い、効果的な学習指導を進められる環境整備に努め、1人1台端末となった環境をさらに活用できるソフトウェアの導入の検討を行う。					
5 外部評価会議委員の意見					
読解力・記述力の研修会は、非常に良い取組であり、単発ではなく、例えば前期・後期の年2回開催できると良いと思うので、力を入れてほしいと思います。AIデジタルドリルについては、家庭学習の数値が伸びない現状の突破口になり得るものであり、子どもの勉強する意欲を高める効果が期待できるので、活用の事例研究や、市内各校での活用事例の共有などにより、さらに進めてもらいたいと思います。					

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進						
施策項目 3 特別支援教育の充実		担当課	学校教育課			
1 施策の概要						
特別な教育的支援を必要とする児童生徒を的確に把握し、自立に向けた指導が確実に見えるよう、就学に関する丁寧な相談を通じて適切な就学先の決定に努めます。また、教員の知識向上を目的とした研修の実施や特別支援教育支援員等の配置により、特別支援教育体制の充実を図ります。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
「個別の教育支援計画」等の作成と活用		児童生徒の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、活用します。		/	A	
教員研修等の充実		各学校が行う校内研修への支援や、教育委員会主催の研修会の実施、特別支援教育ハンドブックの活用等により、特別支援教育に関する教員の知識向上に努めます。		A	/	
教育相談、就学相談の実施		教育相談や就学相談の実施により、適切な就学先の決定や、支援の充実に向けた学校・保護者との連携に努めます。		A	/	
特別支援教育支援員、児童生徒ヘルパー、学校看護師の配置		通常学級には特別支援教育支援員、特別支援学級には児童生徒ヘルパーや学校看護師を配置し、児童生徒の実態に応じて学校生活の支援を行います。		A	/	
特別支援学級・通級指導教室設置校の拡大		特別支援教育対象の児童生徒数や障がいの実態に応じて段階的に特別支援学級及び通級指導教室設置校を拡大し、多様なニーズに応える教育の実現に努めます。		A	/	
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「個別の教育支援計画」の作成割合			51.7%	76.1%	74.2%(A)	60%以上
発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数			年85回	166回	188回(A)	年90回以上
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
A (3.0点)	施策項目評価項目数	主な取組: 5、目標指標: 2				
	主な取組	$(5 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$				
	目標指標	$(2 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$				
	判定	$(15 + 6) \div 7 = 3$ 点数: 3.0 評価: A				
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績及び内容を記載する。)						
特別な教育的支援を要する児童生徒について「個別の教育支援計画」の作成を進めており、通常学級に在籍する児童生徒に対するその作成割合は74.2%となった。児童生徒の発達の課題に関連する教育相談、就学相談については年188回実施した。障がいのある児童生徒の学校生活や学習活動の支援を行うため、要支援児童生徒や校内支援体制の状況に応じて、児童生徒ヘルパーや特別支援教育支援員、医療的ケア看護職員を市内小中学校へ合計98名配置した。また、新たにみどり台小学校に特別支援学級(知的障がい、自閉・情緒障がい)を開設した。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
特別支援教育については、施策の目標達成に向けて着実に取組を進めており、現状の支援体制によって充実が図られているものと評価しているが、市内の児童生徒数が減少傾向にある中、全児童生徒数に占める特別な教育的支援を必要とする者の割合は年々増加しており、障がいのある児童生徒の就学先の確保に関して、教育支援委員会が担う役割の重要度と労力が増している。今後も早期から切れ目のない一貫した支援体制を維持していくことが必要な状況であるため、引き続き各取組を継続して推進する。						
5 外部評価会議委員の意見						
目標に対し、高い達成状況であり、教育委員会の取組が適切であり、ニーズをしっかりと掘り起こしていることの結果であると感じます。今後もより良い取組を継続していただきたいと思います。						

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目 4 外国語教育・国際理解教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）の活用により、小中学校の英語教育の充実を図るほか、アンカレジ市との相互交流事業等の体験的な活動を含めた国際理解教育の推進に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価
ALTを活用した英語授業の充実		市内全小中学校にALTを派遣することで、英語に関する興味関心を高めネイティブイングリッシュに触れる英語授業を推進します。		A	A
英語の指導方法の工夫		小中連携により中学校の英語科教員が小学校で授業を行うことやデジタル教科書等のICT機器を活用して指導を行うことなど、効果的な指導について研究を進めます。		/	A
千歳市アクティブスクール事業の推進		千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間における国際理解教育の取組や、日常的に英語に触れる教材を整備するなどの取組が実施できるようにします。		/	A
姉妹都市や姉妹校との交流事業の推進		サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流を実施して、外国の人たちとの交流を体験する事業を支援します。		B	B
帰国・外国人児童生徒への支援の実施		日本語によるコミュニケーションが十分に行えない児童生徒の学習・生活の支援を行うため、支援ボランティアを学校に派遣します。		A	/
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
英検3級相当以上の英語能力を有する中学校3年生の割合		22.5%	37.8%	47.3%(B)	50%以上
「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合		小6 — 中3 50.9%	令和4年度調査 項目なし	74.7(A) 47.6(C)	小6 70%以上 中3 60%以上
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
A (2.5点)	施策項目評価項目数 主な取組：7、目標指標：3 主な取組 $(5 \times 3) + (2 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 19$ 目標指標 $(1 \times 3) + (1 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 6$ 判定 $(19 + 6) \div 10 = 2.5$				
	点数：2.5 評価：A				
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
小中学校の英語授業支援として、ALT（外国語指導助手）の体制維持に努めたほか、小学校低学年の外国語活動を支援する市民講師の派遣や、姉妹校との交流事業を実施した。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
英語教育の充実を図るため、ALTの配置状況を検証し、体制拡大を含めた適正配置についての検討を行うなど、英語教育の指導の工夫を図るとともに、小学校で一部導入されている英語専科教員による授業実践の成果を各校と共有することで、授業改善に取り組む。また、引き続き、サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流事業を継続し、国際理解教育の推進を図るほか、市民講師を活用した小学校低学年の外国語活動の取組を継続する。					
5 外部評価会議委員の意見					
ALT等の人材確保等に尽力しており、取組の結果、小学校では「英語の勉強が好き」な子どもが増えており、着実に成果を上げている印象です。英語に対する興味・関心を持った子どもが中学校へ進み、高校への進学時の好影響につながることを期待します。					

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進						
施策項目5 情報教育の充実		担当課	企画総務課・学校指導課			
1 施策の概要						
学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践とそれらの活用能力の育成を図ります。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
教員のICT活用能力向上支援体制の充実		教員のICT活用能力向上のため、教員への研修の充実を図るとともに、ICT支援員を配置し、学校訪問によるサポート体制を充実します。		A		
ICT機器の整備・活用（再掲）		子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A	
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合			97.4%	92.8%	89.2%(B)	99%以上
「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合			小6 48.3% 中3 27.6%	55.6% 75.2%	92.7%(B) 95.3%(B)	小6 100% 中3 100%
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
A (2.5点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 3 主な取組 (3×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 9 目標指標 (0×3) + (3×2) + (0×1) + (0×0) = 6 判定 (9+6) ÷ 6 = 2.5 点数: 2.5 評価: A					
	(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容を記載する。)					
研修会は、夏に「デジタルドリルの概要と活用方法」をテーマに実施し、活用事例の紹介と実機による操作体験を行うことで、デジタルドリルの活用方法の理解を深め、冬に「液晶型電子黒板の操作方法と活用事例」をテーマに実施し、すでに液晶型電子黒板が配備された学校の活用事例と操作体験を通じて、活用方法の習得等を行った。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
研修会は今後も継続して開催するが、各校での活用状況についての情報交換などを行う勉強会の開催についても検討し、ICT支援員の業務内容も、教員のICT活用の習熟度を上げるための支援メニューの追加について検討する。						
5 外部評価会議委員の意見						
ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合が下がっていることは、先生がより高いハードルを自身に課している表れと思いますが、ICT教育の普及状況については、先生よりも子どもたちの反応の方が素直な結果であると思います。千歳市では、「ICTを活用した」子どもの割合が非常に多く、良い方向に進んでいると思いますので、ICT支援員等の協力を得ながら引き続き推進していただきたいと思います。						

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進						
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実		担当課	学校教育課・学校指導課			
1 施策の概要						
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的として、多様な体験的活動を取り入れながら、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成につながる教育活動を推進します。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
千歳市アクティブスクール事業の推進		千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間等において、千歳市の自然や人材等を活用して様々な分野で体験的な学習に取り組めるようにします。		A	A	
職場体験・就業体験の推進		社会人・職業人として自立していけるように、職場体験や就業体験を通じて学ぶことや働くことの意義を理解させるとともに、家庭・地域・企業等の協力を得て、社会的に自立できる能力の向上を図ります。			A	
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合			小 62.5% 中 100%	56.3% 100%	100%(A) 100%(A)	小 70%以上 中 100%
将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合			小 87.6% 中 100%	50.0% 62.5%	100%(A) 100%(A)	小 90%以上 中 100%
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
A (3.0点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 4					
	主な取組 (3×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 9					
	目標指標 (4×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 12					
	判定 (9+12) ÷ 7 = 3 点数: 3.0 評価: A					
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)						
小中学校におけるアクティブスクール事業等の体験的活動や、将来の子供たちの社会的・職業的な自立のため、企業等の協力を得ながら、職場体験・就業体験を実施した。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
児童生徒が自ら考え行動する力を養うため、アクティブスクール事業等の体験活動の実施を継続するとともに、生きる力を育む多様な教育活動の機会を充実させるため、企業や地域等の協力を得て、学ぶことや働くことの意義を理解させるための職場体験や就業体験などのキャリア教育推進を図る。						
5 外部評価会議委員の意見						
学校の近隣に立地する企業に興味を持つ可能性は高いと思いますが、へき地も含め、幅広い企業と連携していることは良いことだと思います。						

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目7 防災・安全教育の充実		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
防災、防犯、交通安全など、児童生徒、教職員の安全のための体制を整備するとともに、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できるような教育を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校安全マニュアルの整備	学校において防災マニュアルや防犯マニュアルなどの安全マニュアルを整備し、必要に応じて見直しを加えることで、随時学校安全体制の確認を行います。		A	
防災意識を高める防災教育の充実	過去の災害における貴重な訓練を伝えるとともに、災害に直面した際に、適切に判断し主体的に行動できるよう、子どもたちの危険回避能力の育成に努めます。		A	
避難訓練の充実	保護者引き取り型避難訓練や地域町内会等との合同避難訓練など、避難訓練の充実に努めます。		A	
交通安全教育の充実	子どもたちの交通事故防止のため、交通安全知識や交通ルールを習得させ、事故にあわない行動を徹底させる指導を行います。		A	
防犯教育の充実	警察や警備会社と連携を図るなどして、効果的な防犯教育の実施に努めます。		A	
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合	小 100% 中 100%	100% 100%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
通学路の安全点検を実施している学校の割合	小 100% 中 85.7%	100% 100%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
A (3.0点)	施策項目評価項目数	主な取組: 5、目標指標: 4		
	主な取組	$(5 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$		
	目標指標	$(4 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 12$		
	判定	$(15 + 12) \div 9 = 3$ 点数: 3.0      評価: A		
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)				
防災教育、避難訓練、交通安全教育、防犯教育等を実施したほか、千歳市通学路交通安全対策専門部会による通学路合同点検を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
必要に応じて学校安全マニュアルに見直しを加えるほか、引き続き、防災・防犯、交通安全など、児童生徒や教職員の安全のための体制を整備するなど、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できる教育を推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
適切に取り組んでいると思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進						
施策項目8 道徳教育の充実		担当課	学校指導課			
1 施策の概要						
小中学校における道徳教育について、子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標として、児童生徒の発達段階に応じて、特別の教科 道徳を中心に学校の教育活動全体を通じて行います。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
特別の教科 道徳の指導の充実		各学校における指導方法の研究・実践や研修などを通じて、特別の教科 道徳の指導の充実を図ります。		/	A	
各教科等における道徳教育の推進		各学校において道徳教育の全体計画を定め、国語科、社会科、総合的な学習の時間や特別活動などを通じ、教科等それぞれの特性に応じた道徳教育を推進します。			A	
人権教室の推進		地域の人材等を活用した人権教室を実施し、人権に関する正しい理解や自他を尊重し思いやる心を育む指導を推進します。			A	
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合			小 62.5% 中 87.5%	76.5% 75.0%	100%(A) 100%(A)	小 70%以上 中 100%
特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合			小 75.0% 中 50.0%	76.5% 87.5%	100%(A) 100%(A)	小 80%以上 中 75%以上
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
A (3.0点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 4 主な取組 (3×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) =9 目標指標 (4×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) =12 判定 (9+12) ÷7=3 点数: 3.0 評価: A					
	(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)					
道徳教育充実のために、学校訪問等を通じて、指導助言を重ねた。各校では道徳教育の全体計画に基づき、全教育活動を通じて、道徳科のねらいが達成されるよう取り組んでおり、道徳科の研修と授業実践を重ねて組織的な指導の充実を図っている。人権教室を実施し、周りの人のことを考える機会を通じて、人権に対する理解を深めている。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
各学校の学校経営グランドデザインや全体計画に基づいて道徳教育が推進されるよう、研修機会の充実を図る。いじめの撲滅や情報モラル教育を進めるため、道徳科の授業を中核に道徳教育の充実が図られるよう、全体計画や教育課程の改善に取り組んでいく。						
5 外部評価会議委員の意見						
道徳は社会生活において重要な項目であり、近年、オリンピックなどにおける誹謗中傷をはじめとするモラルの低下などが増えており、道徳の素材として、情報モラル教育の比重が大きくなっているのではないかと思いますので、そういった部分も視野に入れながら進めていただきたいと思います。						

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目 9 いじめ・不登校に対する取組の充実		担当課	青少年課		
1 施策の概要					
千歳市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ根絶に向けて、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取組の推進や、不登校児童生徒の学校復帰を目指すなど、いじめ・不登校問題への取組の充実を図ります。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価
「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」事業の実施		児童生徒からの提言発表や全体討論、講演会などを通じて、学校、家庭、地域が連携し、いじめの問題について共通理解を図るとともに、いじめ防止の普及啓発に努めます。		A	
子どもの人権問題事業の情報提供・教室の実施		人権擁護委員が全小中学校に出向き、命や思いやりの大切さ、差別やいじめのない社会の大切さなどについての指導を行い、児童生徒の人権意識の向上に努め、いじめの未然防止を図ります。			A
学校適応指導教室「おあしす」の充実		学校生活に適應することが困難な児童生徒に対して、居場所となる教室を開設し、体験活動や集団活動を通じて、適應能力の向上を図り、一日も早い学校復帰を支援します。		A	A
情報モラル教育の推進		インターネット上で個人情報の漏洩やいじめなど、教職員がネットトラブルに迅速に対応できるよう努めるとともに、保護者等へ啓発しながら情報モラル教育を推進します。			A
学校いじめ防止基本方針の推進		いじめの防止等のため策定した、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向け、定期的ないじめに関する調査を実施する等、総合的かつ効果的に取組を進めます。		A	A
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
いじめ解消率		99.0%	98.0%	98.6%(B)	100%
不登校児童生徒が学校復帰（完全登校及び不定期登校）した割合		66.5%	74.0%	91.1%(A)	72%以上
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
A (2.9点)	施策項目評価項目数 主な取組：7、目標指標：2				
	主な取組 (7×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) =21				
	目標指標 (1×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) =5				
	判定 (21+5) ÷9=2.8888888888888888 点数：2.9 評価：A				
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の実績内容を記載する。）					
人権教室の開催や情報モラル教育の推進などにより、児童生徒の意識向上を図り、いじめ防止の普及啓発を推進している。また、適応指導教室では集団活動等について指導・援助を行い、通級児童生徒の学校生活への復帰を目指している。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
いじめの認知件数や不登校児童生徒数は年々、増加していることから、いじめの未然防止や早期解決、学校復帰に向けた支援の充実がますます重要になっている。引き続きいじめシンポジウム等の取組により、いじめ防止の普及啓発を推進するとともに、適応指導教室では、通級児童生徒が自立への一歩を踏み出す手助けや、学校に復帰するきっかけを作ることができるよう取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
学校へ復帰した児童生徒の割合が非常に高く、素晴らしい結果であると思います。適応指導教室に通う子どもたちの中にも、頑張っ普通教室に戻ることに意欲的な子どもが増えてきているということだと思いますので、引き続き頑張ってくださいと思います。					

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目10 ふるさと教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
各学校において、地域の人材等と連携しながら、固有の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、地域の人材を講師に招いた歴史・文化学習や体験的な活動など、特色ある教育活動を推進します。		/	A	
小学校社会科副読本「私たちの千歳」の活用	千歳の歴史や環境、経済等に関する副読本「私たちの千歳」を定期的に改訂し、小学校社会科の指導に活用します。		A	A	
アイヌ文化学習の推進	千歳アイヌ協会などの協力を得て、アイヌの文化や伝統などについて学ぶ活動を推進します。		/	A	
発展する千歳のまちを知る取組	空港、工場、公共施設（消防署、リサイクル、防災等）などの社会見学を行い、地域のことを知る取組を推進します。		/	A	
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合		小6 68.2% 中3 44.8%	50.2% 41.9%	57.8%(B) 34.5%(C)	小6 70%以上 中3 50%以上
「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合		小6 44.9% 中3 37.3%	51.7% 41.1%	78.5%(A) 62.0%(A)	小6 55%以上 中3 40%以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
A (2.7点)	施策項目評価項目数 主な取組: 5、目標指標: 4				
	主な取組 (5×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 15		目標指標 (2×3) + (1×2) + (1×1) + (0×0) = 9		
判定 (15+9) ÷ 9 = 2.6666666666666666		点数: 2.7 評価: A			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
千歳の歴史や環境、経済等に関する副読本「私たちの千歳」編集委員会を開催し、副読本の改定作業に取り組んだほか、小中学校においてアクティブスクール事業を活用したアイヌ文化学習などの取組や、小学校では、空港・市内工場・公共施設等における社会見学を実施した。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
地域との連携を深めながら、本市、さらには北海道の歴史・文化への理解を深め、人々の生活に触れる活動等を推進するほか、「私たちの千歳」を活用することで、引き続き「ふるさと千歳」への愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を図る取組を推進する。					
5 外部評価会議委員の意見					
全国的にも地域の行事への参加率は減少しているので、ある程度仕方ないと感じますが、地域のことを考える子どもが非常に増えており、良い傾向であると感じます。地域ボランティアについては、高校の部活動などで実施しているところもあり、中学校で実施することはハードルが高い部分があると思いますが、何か実施できる機会を設けることができれば良いのではないかと思います。					

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 1 読書活動の推進		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
児童生徒の読書への関心を高め、自主的な読書活動を行うことができるよう、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進するとともに、市立図書館や学校図書館における読書環境の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
一斉読書の推進	「朝読書」などによる一斉読書等を継続し、読書習慣の確立と読書指導のさらなる充実を図ります。		A	
学校図書館を活用した学習・読書指導体制の充実	各教科や特別活動、総合的な学習の時間等を通して、司書教諭等を中核とした学校の指導体制の充実を図ります。		A	
家庭・地域・団体などとの連携による読書活動の推進	家庭、ボランティア、民間団体、市立図書館などとの連携・協力により、子どもたちの読書活動の取組を推進します。	B		
学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の機能を強化し、子どもたちの読書への興味や関心を向上させ、読書活動や学習活動を促進するため、学校図書館司書の配置を拡充します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合	小 100% 中 100%	100% 100%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合	小6 63.3% 中3 51.6%	59.7% 45.1%	62.8%(C) 49.0%(C)	小6 80%以上 中3 70%以上
学校図書館司書の配置人数	2校に1人	1.8校に1人	1.8校に1人(B)	1.5校に1人以上
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
B (2.2点)	施策項目評価項目数 主な取組: 4、目標指標: 5			
	主な取組 (2×3) + (2×2) + (0×1) + (0×0) = 10			
	目標指標 (2×3) + (1×2) + (2×1) + (0×0) = 10			
	判定 (10+10) ÷ 9 = 2.2222222222222222 点数: 2.2 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)				
朝読書などの一斉読書の時間を設けている学校について、前年同様、令和5年度も引き続き小中学校全校で実施ができた。また、家で普段10分以上読書をしていると回答した児童生徒の割合は、まだ現状値には到達していないが、令和5年度調査結果(小6: 59.7% 中3: 45.1%)よりも増加に転じており、これは読書週間事業や夏・冬休みの読書推進事業などの家読の積極的な推進が読書週間の定着につながったものと考えられる。学校図書館司書の配置については、毎年、計画的に配置人工を増やしている。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
児童生徒の読書への関心を高めるため、朝読書などによる一斉読書等を継続するとともに、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進することにより、読書環境の充実を図る学校図書館司書の配置拡充により学校図書館機能を強化していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
家で読書をしている子どもの割合と、家庭学習を1時間以上している子どもの割合が、リンクしているように思っており、ともに課題がある部分だと感じています。家に読みたい本がある環境の子は、容易に家での読書ができ、読みたい本がない子どもは学校図書館でたくさん本を借りれば良いですが、学校図書館の利用のしやすさについて、子どもたちは休み時間は遊びたいので、利用時間などの工夫ができると良いと思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目12 体力・運動能力の向上		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
体育・保健体育の授業の改善を図るとともに、新体力テストの種目を活用した体力づくりを推進し、児童生徒の健康に対する意識を高め、運動習慣や生活習慣の改善を図ります。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
コーディネーション運動の推進	体を動かす喜びを感じ、運動に対する認識や生活の在り方を考えることのできる体育科の授業を目指し、コーディネーション運動を推進します。	A	A		
新体力テストの実施	新体力テストの実施学年を拡大し、結果を記録して児童生徒や家庭にフィードバックして体力・運動能力や健康に対する意識を高めるとともに、指導の充実を図ります。	/	A		
「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」の成果の普及	指定校の優れた実践の普及を図り、新体力テストに関する各校の取組の一層の充実を図ります。		A	A	
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合		小5男95.3% 小5女92.1% 中2男89.6% 中2女79.5%	94.0% 89.0% 91.1% 85.2%	94.3%(B) 90.6%(B) 87.9%(B) 81.2%(B)	小5男100% 小5女100% 中2男100% 中2女100%
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点(※全国平均を100とした場合の千歳市の得点)		小5男49.7(合計) 小5女50.3(合計) 中2男49.8(合計) 中2女49.2(合計)	50.1点 49.9点 50.0点 48.4点	50.2点(A) 50.9点(A) 50.1点(A) 49.4点(B)	合計T得点50以上
運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合		小5 88.2% 中2 77.8%	50.0% 87.5%	88.8%(B) 88.9%(B)	小5 100% 中2 100%
「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合		小5男36.4% 小5女49.2% 中2男29.7% 中2女30.8%	31.1% 38.3% 23.0% 24.2%	30.5%(C) 37.7%(C) 22.7%(D) 20.8%(D)	小5男60%以上 小5女60%以上 中2男50%以上 中2女50%以上
4 総合評価					
(1) 達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))					
<b>B</b> (2.1点)	施策項目評価項目数	主な取組: 5、目標指標: 14			
	主な取組	$(5 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$			
	目標指標	$(3 \times 3) + (7 \times 2) + (2 \times 1) + (2 \times 0) = 25$			
	判定	$(15 + 25) \div 19 = 2.10526315789474$ 点数: 2.1      評価: B			
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業実務者会議(年3回)において、体力向上の取組や新体力テスト実施体制などの事例検証を重ね、効果の高い取組を好事例として市内各校に広く周知した。体育や休み時間、部活動など運動機会の充実を図ることで、新体力テストでは、小中学校、男女にかかわらず、体力合計値が改善した。					
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
引き続き、「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業実務者会議」を継続し、協力校や市内各校の体育の授業改善や運動習慣の好事例を共有していく。スクリーンタイム(動画やテレビ、ゲームなどの時間)は、長時間傾向となっていることから、千歳市PTA連合会・学校と連携し、家庭での生活習慣の改善に向けた啓発に努める。					
5 外部評価会議委員の意見					
新体力テストの結果については非常に良い結果となっており、取組の成果が表れていると思います。全国的にスマートフォンの所有率が非常に伸びている中、正しい使用方法や関わり方を、学校やPTAなど、大人が教えてあげなければならないと思います。逆にスマートフォンを所有していない子どもが、周りから冷たくされたりするなど、不利益にならないような学校環境であってほしいと思います。					

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進						
施策項目 1 3 食育の推進		担当課	学校給食センター・学校指導課			
1 施策の概要						
児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう、食に関する指導を充実させるとともに、学校給食における地場産品の活用を促進するなど、安全・安心な学校給食の充実に努め、学校における食育を推進します。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
食に関する指導の充実		児童生徒が食の重要性を理解し、望ましい食習慣を育成するため、栄養教諭を中心として、家庭とも連携しながら食に関する指導を推進します。		A	A	
「早寝早起き朝ごはん」運動の推進		家庭における食に対する関心及び理解を深め、規則正しい生活習慣が形成されるよう、「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を促進します。		B	A	
学校給食における地産地消の推進		食への感謝や地元の食文化への理解を深めるとともに、健やかな体を育成するため、学校給食における地場産品の活用を推進します。		B		
安全・安心な学校給食の提供		衛生管理体制の強化と給食施設の充実に努めるとともに、多様な献立や食物アレルギーに対応した学校給食を提供するため、新学校給食センターの整備を推進します。		A		
3 目標指標			現状値(R1)	R 5年度調査結果 (R 4年度実績)	R 6年度調査結果 (R 5年度実績)	R12目標値
食に関する指導の実施回数			139回	197回	186回(C)	307回以上
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合			小6 93.7% 中3 91.4%	91.8% 91.8%	90.8%(B) 90.0%(B)	小6 100% 中3 100%
学校給食使用食材（野菜類）における地場産品利用割合			31.5%	27.0%	23.2%(D)	50%以上
4 総合評価						
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）						
B (2.1点)	施策項目評価項目数 主な取組：6、目標指標：4 主な取組 (4×3) + (2×2) + (0×1) + (0×0) =16 目標指標 (0×3) + (2×2) + (1×1) + (1×0) =5 判定 (16+5) ÷10=2.1 点数：2.1 評価：B					
	(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
食に関する指導については、各学校の実態を踏まえ、栄養教諭の配置校については年間計画に沿って全学年の指導を実施した。それ以外の小学校については、1、3、4、6年生の4学年を対象に、中学校については1年生を対象に実施した。生活習慣の改善（早寝早起き朝ごはん）をめざして、生活リズムチェックや市P連家庭生活宣言の取組を行った。地場産品利用割合については、農産物は天候、価格高騰等により供給される産地が影響されるが、引き続き地場産品の利用に努めていく。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
積極的に地場産品を活用した学校給食の提供を継続するとともに、安全で安心な学校給食を提供するため、徹底した衛生管理ができる新学校給食センターの整備を推進する。また、学校・栄養教諭と協力して食に関する指導を拡充するとともに「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を促進することで、児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう取り組んでいく。						
5 外部評価会議委員の意見						
地場産品の利用は天候の影響もあり、食材の確保等が大変な部分もあると思いますが、頑張っていたきたいと思います。朝食を食べている子どもの割合が年々減少していることについては、親の意識によるものだと思います。家庭への情報提供などが必要になるので、あきらめずに根気強く頑張っていたきたいと思います。						

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 4 健康教育の推進		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校健康診断の実施	子どもたちの病気や健康上の問題の早期発見のため、学校保健安全法に定める学校健康診断を適切に実施します。	A	A	
性教育・薬物乱用防止教育の充実	関係機関と連携し、発達段階に応じて、性や薬物など健康に関わる問題に対する正しい知識や規範意識を確実に身に付け、適切な行動がとれるよう、性教育・薬物乱用防止教育の充実を図ります。		A	
学校保健委員会の充実	児童生徒が心身の健康の保持増進を図るための実践力を身に付けることができるよう、学校全体で共通認識の下、学校保健計画に基づく学校保健活動の充実を図ります。		A	
フッ化物洗口の実施	児童のむし歯予防を図るため、小学校におけるフッ化物洗口を実施します。	B	A	
感染症の予防に関する指導の実施	子どもたちが健康で安全な生活を送るために、感染症について理解し予防のための適切な行動がとれるよう、発達段階を踏まえた指導を実施します。	A	A	
3 目標指標	現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
フッ化物洗口を実施している児童の割合	84.0%	55.6%	72.8%(B)	90%以上
学校保健委員会を設置している学校の割合	小 94.1% 中 100%	100% 100%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
A (2.8点)	施策項目評価項目数 主な取組: 8、目標指標: 3			
	主な取組 (7×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) =23			
	目標指標 (2×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) =8			
	判定 (23+8) ÷11= 2.8181818181818181 点数: 2.8 評価: A			
(2) 令和 5 年度の実績 (令和 5 年度の取組内容及び実績を記載する。)				
小中学校において、法令等に基づく学校診断を実施したほか、小学校におけるフッ化物洗口については、令和 4 年までは新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実施率が低かったものの、令和 5 年度においては、コロナ禍前の水準まで実施率が回復しつつある。このほか、性教育・薬物乱用防止教育、感染症予防等に関する教育を実施した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に着けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めていく。また、フッ化物洗口については、引き続き児童生徒の虫歯予防を図るため、保護者の理解を得ながら継続した取組として実施していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
特にありません。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 15 学校運営の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
児童生徒の実態や各種データ等を踏まえた教育課程を編成するとともに、校内組織体制の改善、PDCAサイクルを確立して学校の活性化を図ります。また、教職員の働き方改革の推進に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
カリキュラムマネジメントの推進	学校の特色を生かした適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を行います。		A	
学校指導訪問の充実	児童生徒の姿や各種データに基づいた教育課程の編成や確かな学力を身に付けさせる授業のあり方について、学校訪問を通じて指導・助言を推進します。	A		
教職員の働き方改革の推進	「千歳市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、各校における業務改善や実効ある環境づくりに努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	小 75.0% 中 62.5%	76.5% 87.5%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合	小 50.0% 中 25.0%	70.6% 50.0%	令和5年度調査 項目なし	小 100% 中 100%
業務改善に取り組んでいる学校の割合	小 68.8% 中 62.5%	100% 100%	令和5年度調査 項目なし	小 100% 中 100%
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
<b>B</b> (2.4点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 6		
	主な取組	$(2 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 8$		
	目標指標	$(2 \times 3) + (4 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 14$		
	判定	$(8 + 14) \div 9 = 2.44444444444444$ 点数: 2.4      評価: B		
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)				
PDCAサイクルに基づく教育課程の組織的な改善のために、学校訪問において指導助言を行った。業務改善の取組として、時間外在校等時間の集計を市のHPIに掲載するとともに、校長会議等を通じて、各校の業務改善が推進するように交流を図った。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
児童生徒の実態や各種データによる客観的な実態を踏まえて教育課程を編成する。教育活動推進には、教職員が児童生徒と向き合う時間を創出することが重要なため、業務改善に引き続き取り組んでいく。年間を通じた学校への具体的な指導・助言が図られるよう、学校訪問の回数を増やし、迅速な改善や継続した取組の推進を図る。				
5 外部評価会議委員の意見				
PDCAサイクルの確立が100%達成ということで、教育委員会の長年の取組の賜物であると思います。働き方改革については、忙しい教頭先生をはじめ、学校の中でも大変なポジションにいる先生がいると思うので、そういった方のケアをしつつ、先生方に意識を持たせる取組を進めていただければと思います。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実						
施策項目 16 学校施設・設備の充実			担当課	企画総務課		
1 施策の概要						
学校施設・設備の改修やICT環境の整備・更新を計画的に実施し、安全で快適な学習環境の整備を推進するとともに、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
学校施設・設備の適切な維持管理		学校施設・設備の点検を行い、破損や故障に迅速に対応します。		A	A	
学校施設の計画的な改修		老朽化が進んでいる施設や設備の改修を計画的に進めます。		A		
ICT機器の整備・活用（再掲）		子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A	
市内小中学校の適正規模・適正配置		児童生徒数の推移等を踏まえた市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
大規模改修（1校当たり2,000万円を超える工事）の実施校数（各年度の整備数）			2校	4校	5校(A)	2校以上
4 総合評価						
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）						
A (2.9点)	施策項目評価項目数 主な取組：6、目標指標：1 主な取組 $(5 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 17$ 目標指標 $(1 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 3$ 判定 $(17 + 3) \div 7 = 2.85714285714286$					
	点数：2.9 評価：A					
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）						
令和5年度は、信濃小学校の受変電及び電気設備の更新と、外壁及び防水シート等の改修、北陽小学校の屋上防水改修、日の出小学校及び祝梅小学校のトイレ洋式化に係る改修、北斗中学校の第2理科室改修を行った。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
学校施設については、「学校施設個別施設計画」に基づき、耐用年数や老朽度を踏まえて計画的な改修を行うとともに、夏季の暑さ対策として、令和6年度から令和7年度にかけて小中学校の指定教室のエアコン設置及び、普通教室等のエアコン設置による環境整備を行う。また、適正規模・適正配置については、児童生徒数の推計などをもとに、「学校施設個別施設計画」との整合を図りながら課題の整理と今後の方向性について検討を行う。						
5 外部評価会議委員の意見						
エアコンの設置など、子どもの快適な学習環境や、安全を確保するため、近隣市と比較しても教育委員会が良く頑張っていると思います。今後、学校側で効果的に運用していき、学習環境が向上することが期待できると思います。適正規模・適正配置については、ラピダスの立地により、8,000人ほどの人口が増えると言われていますが、急激に人口が増えると、その時期は大変になり、学校も混乱することと思うので、しっかりとした取組をお願いしたいと思います。						

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 17 学びのセーフティネットの構築		担当課	企画総務課・学校教育課・青少年課		
1 施策の概要					
社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、専門家や地域の人材を活用した教育相談体制の充実、教育費援助制度の充実を図るとともに、遠距離通学となる児童生徒のためにスクールバス等を運行します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スクールカウンセラーの配置	問題行動等の早期対応を図り、児童生徒や保護者、教職員の悩みや不安を解消するため、小中学校に専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A		
心の教室相談員の配置	問題行動等の未然防止・早期発見を図るため、児童の身近な相談相手として地域の人材を活用し、小学校に心の教室相談員を配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A		
専門相談員及びスクールカウンセラーによる教育相談の実施	スクールカウンセラー未配置校を含めた全市的な対応を図るため、専門相談員の配置及びスクールカウンセラーによる教育相談日の開設など、教育相談体制の充実を図ります。	A			
就学支援の充実	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適切かつ迅速な就学支援に努めます。	A			
奨学金制度の充実	向学心があり能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な生徒、学生を支援するため、奨学金基金をもとに奨学金を交付し、等しく教育を受ける機会を確保する奨学金制度の充実を図ります。	A			
3 目標指標		現状値(R1)			R5年度調査結果 (R4年度実績)
スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数		602H 2,016件	748H 2,546件	739H(A) 3,981件(A)	666H以上 2,086件以上
奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合（高校生・大学生）		高校 1.2倍 大学 1.3倍	1.0倍 1.0倍	1.0倍(A) 1.0倍(A)	高校 1.0倍 大学 1.0倍
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
A (3.0点)	施策項目評価項目数	主な取組：7、目標指標：4			
	主な取組	$(7 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 21$			
	目標指標	$(4 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 12$			
	判定	$(21 + 12) \div 11 = 3$ 点数：3.0 評価：A			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
学校に臨床心理士として専門的な知識を有するスクールカウンセラー、地域の人材等を活用した身近な相談相手となる心の教室相談員を、それぞれ配置した。また、経済的理由により就学が困難な家庭に対する就学援助を実施（令和5年度就学援助認定者：1,150名 令和6年3月末時点）するとともに、奨学金については、コロナ禍で所得が減少する世帯の増加を考慮し、拡大している交付枠を維持し、高い給付率を保った。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
社会環境の変化や個々の児童生徒の状況に対応できるよう、教育相談体制や教育費援助制度の充実が求められている。今後も教育相談体制の充実と児童生徒の実情把握を充分に図り、問題行動等への早期対応・未然防止に努めていく。また、教育費援助制度については、選考基準に達する者を可能な限り選考できるよう、奨学金制度の充実を図り、教育の機会均等の確保に努めるとともに、就学支援の充実を推進し、保護者の負担軽減を図ることができるよう取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
奨学金制度について、コロナが明け、経済的な安定が見られ、学校を含め社会全体の動きが活発化しておりますが、今後もニーズが増えることも予想できるので、継続した取組をお願いしたいと思います。					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 18 教員の研修の推進		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
教職員の資質向上を目的とした校内外の研修、接続する小中学校が連携した研修活動を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
授業改善につながる校内研修の充実	石狩教育局及び学校指導室による学校指導訪問を通じて、学校運営や授業改善について指導・助言を行い研修の充実を図ります。	A	A		
教職員研修の充実	市独自の研修会を充実し、教職員の積極的な参加を促進します。	A	/		
小中学校が連携した研修の充実	義務教育9年間を通して「目指す子ども像」の実現に向け、小中学校が連携した研修の充実を図ります。	A			A
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合		小 75.0% 中 75.0%	76.5% 75.0%	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合		小 50.0% 中 62.5%	64.7% 50.0%	令和5年度調査 項目なし	小 100% 中 100%
近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合		小 50.0% 中 25.0%	35.3% 50.0%	94.1%(B) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
A	施策項目評価項目数	主な取組：5、目標指標：6			
	主な取組	$(5 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$			
(2.7点)	目標指標	$(3 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$			
	判定	$(15+15) \div 11 = 2.72727272727272$ 点数：2.7 評価：A			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
各校の授業改善が進められるように、定期的に市教委学校指導室や石狩教育局が学校訪問において指導助言をした。ニーズや社会的な要請に基づき、ICTや普通救命、教科教育、生徒指導等の教職員研修を開催し、資質能力の向上を図った。千歳市学校課題研究発表会（北栄小学校）の開催を通して、ICTを効果的に活用した授業の在り方について協議を深めた。小中連携・一貫教育推進会議は、中学校区ごとに実施し、めざす子供像の共有や中1ギャップ解消の方策などに取り組んだ。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
引き続き、喫緊の教育課題をテーマに、識者を招いて千歳市教職員研修会を開催し、教科・生徒指導など、より実践的な内容を提供する。各校の授業改善の推進のために、市教委学校指導室の学校訪問の回数を増やし、授業改革や教育活動の充実に寄与する機会とする。千歳市小中連携・一貫教育実施要領に基づき、中学校区内の実態を踏まえた9年間の系統的な学びの構築に取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
小中連携について、長い期間取組を行っており、数字にも表れてきていると感じます。ICTを中心に取り組んでいるということで、小学校・中学校共通の問題意識も持たれていると思いますので、引き続き頑張ってくださいと思います。					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実						
施策項目 19 家庭教育支援の充実			担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要						
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行うことなどにより、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進		千歳市PTA連合会との連携により「千歳市家庭生活宣言」の普及に努め、生活リズムの改善や学習習慣の定着により、健やかな子どもたちの育成を推進します。		/	A	
家庭への情報発信		学校は、児童生徒の学習への取組状況等を家庭に伝えるとともに、家庭学習の手引き等を活用し、各家庭が主体性を持って子どもたちへの働きかけを行うよう促します。教育委員会は、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施します。			B	A
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合(再掲)			小6 93.7% 中3 91.4%	91.8% 91.7%	90.8%(B) 90.0%(B)	小6 100% 中3 100%
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合(再掲)			小6 62.8% 中3 65.8%	63.4% 57.3%	62.5%(C) 53.0%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総合評価						
(1) 達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))						
B (2.0点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 4					
	主な取組 (2×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) = 8					
	目標指標 (0×3) + (2×2) + (2×1) + (0×0) = 6					
判定 (8+6) ÷ 7 = 2						
点数: 2.0 評価: B						
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の実績内容を記載する。)						
各校から家庭へ、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施した。						
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行い、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけを継続する。						
5 外部評価会議委員の意見						
学校とPTAとの連携は非常に大事であり、共通の問題意識を持ち始めてきたことは大きな一歩であると感じますので、継続した取組をお願いしたいと思います。						

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実						
施策項目 20 学校と地域の連携・協働の充実			担当課	青少年課・学校指導課		
1 施策の概要						
学校と地域住民等が「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。子どもたちの登下校等の安全管理や学校への不審者侵入など緊急事態発生時に関係機関、地域と小中学校が連携した安全確保のための体制づくりを進めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価		
コミュニティ・スクール活動の充実	コミュニティ・スクールに対する地域の理解を深め、連携を強めることにより、学校課題の解決と充実した教育活動の実践につなげます。		/	A		
学校からの情報発信	学校だよりの地域町内会への回覧や、地域と連携した取組に関する学校ホームページへの掲載などにより、地域との協働を重視した情報発信に努めます。			A		
「千歳っ子見守り隊」と学校の連携	「千歳っ子見守り隊」とPTA活動、児童会・生徒会活動との交流の場を設けるなど工夫して、取組の充実や発展を目指します。			A		
安全に関する児童生徒の自主的な活動	校内や通学路の危険箇所や「子ども110番の家」の所在などを調査し、「安全マップ」を作成するなど、自主的な活動を展開します。			A		
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合(再掲)			小6 68.2% 中3 44.8%	50.2% 41.9%	57.8%(B) 34.5%(C)	小6 70%以上 中3 50%以上
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合			小 50.0% 中 75.0%	47.1% 50.0%	100%(A) 100%(A)	小 75%以上 中 75%以上
千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」登録件数			594人 1,159件	533人 1,130件	503人(B) 1,050件(B)	600人以上 1,200件以上
4 総合評価						
(1) 達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))						
A	施策項目評価項目数 主な取組: 4、目標指標: 6					
	主な取組	$(4 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 12$				
(2.5点)	目標指標	$(2 \times 3) + (3 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 13$				
	判定	$(12+13) \div 10 = 2.5$ 点数: 2.5 評価: A				
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)						
学校・家庭・地域のかかわりを深めてもらうため、「千歳っ子見守り隊」研修会を実施した。また、「子ども110番の家」登録家庭に対し、登録継続の意向確認を行った。						
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
「千歳っ子見守り隊」「子ども110番の家」の各登録件数が減少傾向にあるが、学校運営をはじめ、犯罪などの被害に遭わない環境を創るためには、これまで以上に地域全体で子どもを育む意識の醸成が必要である。引き続き、学校を中心として家庭・地域及び関係機関等との連携を密にし、各取組を推進する。						
5 外部評価会議委員の意見						
見守り隊などの各種ボランティアは本当に学校を支えています。ボランティアの方々にとっては、学校からよりも、子どもたちからのアクションがやる気につながると思うので、小さなものであっても、子どもから感謝の気持ちを伝えられる取組をお願いしたいと思います。						

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実						
施策項目 2 1 学校段階等間の連携・交流の充実		担当課	学校教育課・学校指導課			
1 施策の概要						
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校種間の交流、連携を推進します。また、義務教育9年間を見通した系統的な教育活動や小中学校の円滑な接続を目指す小中連携・一貫教育の取組を通して、子ども一人ひとりの学力・体力の向上と豊かな人間形成を図ります。引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
幼児教育と小学校との連携の促進		幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の間で子どもの成長に関する情報交換や交流の機会を充実させ、小学校へ円滑に接続できるよう取組を進めます。		B	A	
公立千歳科学技術大学との連携の推進		情報教育における協力・助言やeラーニングシステムの活用、長期休業中の学習支援など、公立千歳科学技術大学との連携による小中学校の教育活動の充実を推進します。		B	A	
小中連携・一貫教育の推進		義務教育9年間で目指す子ども像を設定し、小中学校が学習指導や生徒指導において系統性・連続性に配慮した教育活動を推進します。		A	A	
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)			小 50.0% 中 25.0%	35.3% 50.0%	94.1%(B) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総合評価						
(1) 達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))						
A (2.6点)	施策項目評価項目数 主な取組: 6、目標指標: 2					
	主な取組 $(4 \times 3) + (2 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 16$					
	目標指標 $(1 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 5$					
	判定 $(16 + 5) \div 8 = 2.625$ 点数: 2.6 評価: A					
(2) 令和5年度の実績(令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)						
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校間の交流や連携を図ったほか、小中連携・一貫教育を通じて、小中学校9年間の系統的な学びを構築し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む環境づくりに努めた。						
(3) 施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たっての学校種間の交流や連携、小中連携・一貫教育の取組を通じた教育活動を推進する。また、引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努める。						
5 外部評価会議委員の意見						
各段階間の連携について、しっかりと取り組んでいると感じますので、このまま継続していただきたいです。特に、小中連携について、中学校を中心に頑張っていると感じています。また、ICTを中心とした取組のための加配教諭により、校区内学校に巡回指導するといった取組は、非常に良い発想だと思いますので、有効に活用していただきたいです。						

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 2 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
学習機会や学習情報の一元化・体系化に向けた学習機会提供者間の連携体制の構築と市民が主体となった地域コミュニティの形成に向けた市民活動相互の交流の場づくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
連携体制の構築と学習機会・学習情報・学習成果の評価の一元化	生涯学習関連事業を行う関係機関の連携体制を構築し、学習機会・学習情報・学習成果の評価を一元化・ネットワーク化する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」を実施し、市民の学習機会の充実に努めます。	B			
市民が学び合う活動の充実	市民や事業所、行政機関などが培ってきた専門性を生かして講師を務め、市民に学びを提供する「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、市民の学習活動や学びを通じた交流活動の充実に努めます。	B			
学習成果を交流する機会の充実	生涯学習に関わるフェスティバルやフォーラムなど、普段の活動や学習の成果を地域づくりに生かす機会を提供し、参加団体相互の交流や連携を通じて市民がまちづくりに主体的に参画する自立と連帯感の醸成に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数		—	64件 34人	71件(A) 68人(A)	↗
「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数		420回 14,588名	274回 8,424名	394回(B) 10,799名(C)	460回以上 16,000名以上
学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合		—	94.0%	98.0%(A)	70%以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.3点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 5			
	主な取組	$(0 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	目標指標	$(3 \times 3) + (1 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 12$			
	判定	$(6 + 12) \div 8 = 2.25$ 点数: 2.3 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績及び内容を記載する。)					
ちとせを学ぶスタンプラリー事業については、連携講座の対象を拡充し運用している。千歳学出前講座については前年度比で実績は伸びているが、令和元年度実績にはまだ届いていない。ちとせ生涯学習フェスティバル「ふるさとポケット」については、まちづくりへの参加意識が高まっている。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の連携講座をさらに拡充することで、学習情報の一元的な発信につなげていく。「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」については、新たな人材・団体の参画に向けて多方面に働きかけることにより、活発な活動・交流につなげていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
出前講座について、人気がある講座は、消防などの視察関係の講座が多いということですが、新しい講座や講師の発掘などを行うことで、令和12年度の目標値に到達するような施策の検討をお願いします。アンケートの設問についてですが、学習成果を交流する事業に参加した団体に対して、「まちづくりへの意識が高まらなかった」というような回答をする可能性は低いと思われるので、指標の見直しを検討したほうがよいと考えます。					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進				
施策項目 2 3 学習情報と市民活動交流センター機能の充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
学習や地域活動の情報の一元化を進め、情報提供や学習相談など市民活動を支援する市民活動交流センター「ミナクール」のセンター機能の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
情報提供・相談事業など市民活動交流センター機能の充実	市民活動交流センターの市民活動の交流や作業の場としての機能を継続するとともに、より多くの学習情報や市民活動情報の収集に努め、情報の一元化を進め、センターの情報提供や活動相談機能を充実します。	B		
学習情報の一元化	市内の学習提供機関が参加する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」により得られた学習情報を一元化し、情報紙やホームページ、メールマガジンなどで市民に情報提供します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合	—	90.6%	97.3%(A)	80%以上
市民活動交流センターが行った情報提供事業件数	518件	338件	351件(C)	570件以上
市民活動交流センターが行った相談対応件数	63件	124件	108件(A)	100件以上
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
<b>B</b> (2.2点)	施策項目評価項目数 主な取組: 2、目標指標: 3 主な取組 (0×3) + (2×2) + (0×1) + (0×0) = 4 目標指標 (2×3) + (0×2) + (1×1) + (0×0) = 7 判定 (4+7) ÷ 5 = 2.2 点数: 2.2 評価: B			
	(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)			
新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々に市民活動も再開され、利用数も回復してきている。利用者アンケートの満足度については目標を上回っているが、引き続き利用者の利便性向上に向けてサービスを検討していく。また、市内での各種事業も再開し、情報提供件数は昨年度比では増加しているものの、目標には達していない。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
引き続き、情報の収集、発信や自主事業を行うほか、千歳学出前講座の申込受付をミナクールでも行うなど、所外学習かとミナクールとのオンラインでの相互連携による利用者の利便性向上に向けた取組を進めるとともに、市民活動の回復に伴う多様な相談内容に対応することで、活動の支援を行っていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
市民活動交流センターの利用者アンケートで、利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合が全体で97.3%、内訳として、満足: 79.4%、おおむね満足: 16.4%、ふつう: 1.5%ということで、利用者の実態を反映した結果になっていると思います。市民活動交流センターが行った相談対応件数は108件とのことですが、目標値を上回りましたが、相談件数なので、目標値が上回ることでよいということでもないと思われるので、指標の見直しを検討したほうがよいと考えます。				

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 4 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進			担当課	生涯学習課	
1 施策の概要					
学習や実践活動を通じてまちづくり活動を支える人材の育成と、活動の成果を認め合う仕組みづくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
ひと・まちづくりリーダーの養成	「みんなで、ひと・まちづくり委員会」と連携して、市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる学習・活動の機会を提供し、各分野のまちづくりの担い手となる人材の拡大に努めます。		B		
市民の学びを支える人材の育成と活用	「千歳学出前講座」などの各種講座で市民が講師として活躍する場や社会教育事業の運営にボランティアとして携わる機会を提供し、学びを支える人材の育成と活用に努めます。		B		
学習成果の評価と学習成果を生かした活動の評価の仕組みの構築	「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」での学習歴の認証や学習成果の評価、学習成果を生かした社会的活動をする人への評価の取組を検討し、市民の学ぶ意欲の向上と地域活動への参加促進に努めます。		B		
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数		—	16人	22人(A)	↗
「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数		412件	501人	449人(B)	450人以上
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数		—	0人	1人(A)	↗
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.3点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 3			
	主な取組	$(0 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	目標指標	$(2 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 8$			
	判定	$(6+8) \div 6 = 2.333333333333333$ 点数: 2.3 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)					
「ちとせを元気に応援隊養成講座」については、令和5年度に4回開催し、市民が主体的にまちづくりに参画する意義やリーダー養成の手法について協議を深めた。「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、登録者数も増加しており、体系的な学びの体制づくりにつながっている。ボランティア登録者数については、地域学校協働活動のボランティア登録者数の増加等により目標を上回った。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
「ひと・まちづくりリーダー」については、「ちとせを元気に応援隊養成講座」を令和5年度からステップアップ講座として開催した。今後は段階的な人材育成に取り組んでいく。「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、様々な事業と幅広く連携していく。					
5 外部評価会議委員の意見					
市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる担い手となる「ひと・まちづくりリーダー」を養成しているという点ですが、このリーダーの認定を受けずに、自主的に市民活動を行っている団体もあると思いますので、「ひと・まちづくりリーダー」がどのような位置づけの人になるのかをわかるようにしたほうがよいと思います。					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 5 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
地域と学校、家庭の連携による地域学校協働活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育て、地域住民の生涯学習活動を通じた地域の教育力の向上に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
地域学校協働活動推進員の配置による地域学校協働活動の体制整備	学校区単位に地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民などの協力により、地域と学校が連携・協働して、学校の教育活動や地域で行われる各種体験活動を支える体制の整備を推進します。	B	A		
学校支援や放課後、週末の子どもの体験活動の実施などの地域学校協働活動の充実	学校支援活動をはじめ、放課後や週末の子どもの体験活動、地域行事との連携、家庭教育支援など地域と学校が連携した取組を充実し、地域学校協働活動の総合化とネットワーク化に努めます。	B	A		
子どもたちの活動を支える地域人材の登録と活用の促進	学校区や市内全域で子どもの各種活動を支える人材の登録を推進し、地域学校協働活動などで活用するとともに、地域学校協働活動推進員の研修やボランティアの情報交換の場を設け、活動の充実に努めます。	B	A		
3 目標指標		現状値(R1)	R 5年度調査結果 (R 4年度実績)	R 6年度調査結果 (R 5年度実績)	R12目標値
地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合		—	17.0%	50%(C)	100%
地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合		—	100%	100%(A)	100%
地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数		459回 1,355人	779回 1,963人	918回(A) 1,811人(A)	500回以上 1,400人以上
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
A (2.5点)	施策項目評価項目数	主な取組：6、目標指標：4			
	主な取組	$(3 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 15$			
	目標指標	$(3 \times 3) + (0 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 10$			
	判定	$(15 + 10) \div 10 = 2.5$ 点数：2.5 評価：A			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
学校専属の地域学校協働活動推進員（協働活動コーディネーター）を千歳中学校区、青葉中学校区、富丘中学校区に配置したことにより、クラブ活動や学習支援における地域人材の新たな活用につながった。放課後や週末の体験活動としては、児童館未設置校区である千歳小学校における放課後子ども教室、その他の学校における子ども体験教室をそれぞれ開催した。学校授業でのボランティア活用も新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を越え、今後、期待ができる結果となった。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
学校専属の協働活動コーディネーターの配置を引き続き進め、学校や地域の特色に合わせた支援の充実に取り組んでいく。放課後、週末の体験活動については、すべての学校区を対象に開催しているものの、参加人数が定員に満たない場合もあることから、児童の興味や家庭のニーズに合わせた内容・日時での実施について、外部人材の活用等も踏まえて検討する。					
5 外部評価会議委員の意見					
主な取組の教育委員会評価と学校評価の違いは、学校評価が学校ごとの評価を平均した結果であるため、Aと評価した学校が多ければ、BやC評価とした学校の評価結果が埋もれてしまうために生じていることはわかりました。教育委員会としては、地域学校協働推進員を全中学校区で配置できていないことからB評価としていますが、学校としては、現在の状況でも満足していると思われるので、こうした状況が分かるような実績の書き方にしてもらえると良いと思います。					

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
まちづくりに関係する機関・団体と連携して、学んだ成果を地域で生かす活動の場づくりや地域活動への橋渡しをする情報提供・相談・コーディネート体制の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
学習成果を生かして講師や指導者として活躍する場の充実	市民や事業者が専門性を生かして講師を務める「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、講師や指導者として活躍する場を充実します。		B		
社会教育事業や地域社会でボランティアとして活躍する場の充実	社会教育事業で、これまで培った知識や経験などを生かして学習者を支援するボランティア活動の機会を提供するとともに、講座修了後に学習グループを組織化し、地域活動に取り組む活動の支援に努めます。		B		
学習成果を生かした活動のコーディネート体制の整備	ボランティアやNPOなど地域で行われる各種活動の情報提供や活動への橋渡しをするコーディネート体制を整備し、市民の学習で得られた成果を生かした地域の社会的活動への参加を促進します。		B		
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となったものの実施回数		105回	91回	109回(A)	105回以上
千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数		1,697人	2,181人	2,141人(A)	1,860人以上
教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数		—	2団体	3団体(D)	10団体以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.0点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 3			
	主な取組	$(0 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	目標指標	$(2 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (1 \times 0) = 6$			
	判定	$(6+6) \div 6 = 2$ 点数: 2.0 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人との交流も増え、千歳学出前講座では増加傾向となっているが、その他ボランティア延べ人数については、昨年度比では実績が減となった。一方、事業終了後の自主的な活動団体については、令和5年度に「ちとせを元気に応援隊養成講座」を4回実施し、「ちとせを元気に応援隊」が10名の市民で組織化され、令和6年度は自主事業を行うこととなった。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
社会教育事業等でのボランティアとしての活動は活発化しており、それらを自主的な活動につなげていくコーディネート体制が不十分なことから、千歳市民活動交流センター「ミナクル」での相談対応業務や、「みんなで、ひと・まちづくり委員会」の各種人材養成事業を、自主的な活動の組織化を支援する体制を整備するとともに、学習活動グループを組織化する団体として認識するプロセスについては、引き続き検討していく。					
5 外部評価会議委員の意見					
社会教育事業ボランティアの人数には、地域学校協働活動ボランティアの人数が含まれているということで、別々の分野をまとめて評価している一面があるので、評価がわかりづらい部分はありますが、社会教育事業で参加したボランティアの活動を自主的な活動としてのボランティア活動につなげられる体制が構築できることを期待します。					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 2 7 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
家庭教育の役割の理解を深め、家庭教育への参加意識を高める学習や交流の機会の充実と、関係機関との連携や家庭教育を支える人材の育成により地域社会で家庭教育を支える環境づくりに努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
家庭教育に関する学習機会の提供	これから親になる世代や保護者を対象に、乳幼児期、学齢期など、子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、親の育ちを支援します。また、保護者のほか地域住民など親以外の世代を対象に、家庭教育の理解を促進する学習機会を提供し、家庭教育を支える意識の向上に努めます。	B	/	
親子触れ合い交流事業の実施	児童生徒と保護者が学習や体験などを通じて親と子の交流を深め、父親など子どもとの関わりが少なくなりがちな保護者の家庭教育への参加意識の向上に努めます。	B		
子どもの望ましい生活習慣の定着などに取り組むPTA活動の支援	保護者同士の学び合いや情報交換などを通じて、子どもの望ましい生活習慣の定着など、家庭の教育力向上に向けて取り組むPTAの活動を支援します。	B		
地域社会で家庭教育を支える人材の育成と活用	「子育てサポーター」など家庭教育を支える人材を育成するとともに、関係機関と連携して地域で親の育ちを支援する環境づくりに努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合	100%	97.1%	99.3%(B)	100%
子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数	16回	18回	18回(A)	↗
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
<b>B</b> (2.2点)	施策項目評価項目数 主な取組: 4、目標指標: 2			
	主な取組 (0×3) + (4×2) + (0×1) + (0×0) = 8			
	目標指標 (1×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) = 5			
	判定 (8+5) ÷ 6 = 2.1666666666666666 点数: 2.2 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)				
家庭教育セミナーについてはこども福祉部子育て支援センターとの共催とすることで、子育て世代や保育関係者等に広く事業を周知し開催した。また、未就学児の保護者を対象とした「バンビはぐくみプログラム」や「バンビ学びラボ」等の開催により、子育てサポーターの活動機会を創出した。PTA活動の支援については、千歳市PTA連合会の事業運営に対する補助金を交付し、団体の活動を支援した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
家庭教育事業は女性の参加者が依然多いことから、男性(父親等)の参加者を増やすことができるよう、事業内容や開催日時等を検討し、引き続き実施していく。講座の開催に当たっては、コロナ禍以降会場受講と合わせてオンライン受講も導入しているが、オンライン受講の際の講座の質の担保等について、その実施手法の検討が必要である。家庭教育セミナーについては引き続き子育て総合支援センターとの共催とし、テーマや講師選定について協議しながら実施する。				
5 外部評価会議委員の意見				
バンビはぐくみプログラムは、男性も受講できるということですが、この講座は、平日の昼間に開催され、生後6か月以上の子を持つ保護者が対象であるため、この講座にすべて参加できる男性は少ない状況であることは理解しました。土日祝日の開催にしてしまうと、そもそもの参加者が少なくなる可能性もあると思われるので、現在の開催方法の中で男性参加者が増えることを期待します。				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 2 8 青少年の自立と成長を育む学びの充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
地域の人材や関係団体との連携により、青少年の自立と成長を育む体験活動の機会や情報提供の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
青少年の体験活動機会の充実	(公財)千歳青少年教育財団などの関係団体と連携して、自然体験、社会体験、科学探求活動、リーダー養成、姉妹都市交流などの、各種体験活動の機会充実に努めます。	B			
青少年の体験活動情報の提供	市内で行われる様々な体験活動の情報収集を行い、事業情報紙「マナビィ」や「少年団体一覧表」などを発行して小中学生などに情報提供し、体験活動への参加を促進します。	B			
青少年の体験活動を支える人材の育成・活用と連携	子どもたちの体験活動を支える人材の育成と活用を進めるとともに、関係機関との連携を通じて子どもたちが身近な地域で各種体験活動ができる環境づくりに努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合		—	93.8%	92.7%(A)	80%以上
「マナビィ」や「少年団体一覧表」など教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数		294件	245件	270件(B)	294件以上
ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数		365人	448件	426件(A)	400人以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.3点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 3			
	主な取組	$(0 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	目標指標	$(2 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 8$			
	判定	$(6+8) \div 6 = 2.33333333333333$ 点数: 2.3 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
(公財)千歳青少年教育財団との連携については、青少年育成推進員の積極的な活動の推進により、青少年の体験活動の機会を創出することができた。姉妹都市である鹿児島県指宿市との青少年相互交流については、令和元年度以来の派遣・受入往來にて開催した。子ども体験教室については、学校区毎の開催のほか、民間事業者等との連携により開催するなど、実施回数および内容を充実することができた。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
青少年の体験活動については、関係団体や地域住民、民間事業者等との連携により、多様な主体との関係性の中で実施することが求められることから、引き続き、(公財)千歳青少年教育財団との連携や、姉妹都市交流、地域学校協働活動の推進により、引き続き内容の充実を図る。指標の一つとしているボランティアの登録者数については順調に推移していることから、そうした登録者が主体的に活動できるよう、事業内容を検討していく。					
5 外部評価会議委員の意見					
目標指標の2「マナビィや少年団体一覧表など教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数」は、掲載してほしいというところを取りまとめて掲載しているだけであるため、提供件数を増加させるのが難しい状況であることはわかりました。指標の設定が難しい項目だと思いますので、指標の見直しができるのであれば、見直しについて検討しても良いのではないかと思います。					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実						
施策項目 2 9 青少年非行防止への取組の推進			担当課	青少年課		
1 施策の概要						
青少年の健全育成に対する意識啓発を行うほか、学校、家庭、地域及び関係機関・団体と連携し、青少年非行防止への取組を推進します。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
「青少年指導センター」巡回指導の実施		青少年の健全育成を進めるため、巡回指導を通じて児童生徒など青少年の問題行動の未然防止に努めます。		B		
育成相談の実施		問題行動などで悩んでいる親や、悩みを抱えている青少年に対し、適切な助言・支援が行えるよう相談体制の充実に努めます。		A		
ネットパトロールの実施		児童生徒がインターネットなどを利用して行うコミュニケーション活動において、不適切な利用によりいじめや犯罪などのトラブルに発展しないよう、ネットコミュニケーションを見守る取組を推進します。		A		
3 目標指標			現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
青少年指導件数			96人	129人	198人(D)	68人以下
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
B (2.0点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 1					
	主な取組 (2×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) = 8					
	目標指標 (0×3) + (0×2) + (0×1) + (1×0) = 0					
	判定 (8+0) ÷ 4 = 2 点数: 2.0 評価: B					
(2) 令和 5 年度の実績 (令和 5 年度の実績内容及び実績を記載する。)						
警察や青少年指導員と連携し、夜間指導や特別指導等を実施したほか、ネットトラブルへの対応、夕方(帰宅時間)の巡回指導を増やすなど、多方面から青少年の見守りを行い、問題行動の防止に努めた。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
SNSの不適切な利用により、いじめや犯罪に発展しないよう、情報モラル教育を推進する。また、非行防止を図るため、青少年指導員による地区内育成活動や、専門指導員が行う帰宅時間の指導など、家庭や学校、関係機関と連携して取組む。						
5 外部評価会議委員の意見						
コロナ明けで、子どもたちが外で遊ぶ機会が増え、指導や見回りを行う回数が増えたことにより、指導件数の増加につながったということですが、問題行動を起こす子どもたちが増えたということではなく、指導を行った件数が増加したということであると思いますので、指標としては、問題行動として認知された件数を指標にしたほうがよいと考えます。						

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実						
施策項目 30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
社会の変化による生活上の課題に対応する力を高め、仲間とつながりながら意欲的に学び、地域活動への参加意欲を高める学習機会の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価		
はたちのつどい事業の実施	人生の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高める契機となるよう関連行事を実施します。新成人の企画などを導入し、青年層の地域活動の担い手づくりに努めます。		B			
生活課題に対応する学習機会の提供	変化の激しい社会を生きていくために必要な市民の健康や安全などの生活課題に対応した学習機会の提供に努めます。		B			
高齢者学級開催事業の実施	高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造するため、郷土の理解を深め、知識や経験を生かし、仲間とつながりながら地域社会で活躍することができる学習機会の提供に努めます。		B			
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合			77%	97.8%	98.9%(A)	77%以上
高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合			—	91.2%	92.5%(A)	70%以上
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
<b>B</b> (2.4点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 2					
	主な取組 (0×3) + (3×2) + (0×1) + (0×0) = 6					
	目標指標 (2×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 6					
	判定 (6+6) ÷ 5 = 2.4 点数: 2.4 評価: B					
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)						
はたちのつどい事業については、公募により6名が協働会議に参加し式典内容の企画等を行ったほか、そのうち2名が今後企画会議に関わっていく市民団体 (NExUS) に加入したことなど、地域活動の担い手育成につながっている。生活課題に対応する学習機会については、日常生活や地域活動、コミュニケーションなどをテーマとした市民教養セミナーを5回開催した。高齢者学級については、昨年度に引き続き、高星大学及び大学院、若返り学園の開催により、学習機会を提供した。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
各種事業について、引き続き地域や社会の課題に応じた学習事業を提供できるよう、適切なテーマ設定等について検討していく。特に高齢者学級開催事業については、サークル活動や自主研究を活性化することで、それらが自主的な活動につながっていくよう促していく。はたちのつどい事業については、例年協働会議メンバーの公募が少ない傾向にあることから、募集方法や周知先等を検討し、人材の獲得に努めていく。						
5 外部評価会議委員の意見						
はたちのつどいには、参加するだけの方が楽だという心理が働くことはよくわかります。企画段階から参加してくれる方が少ないようですが、NExUSに加入した方が企画会議に関わってくれているようなので、こうした方とともに、新たに企画段階から参加してもらえる方が増えることを期待します。						

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実						
施策項目 3 1 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
関係機関との連携により、千歳の理解を深める学習機会と地域づくりにつながる地域課題や現代的課題に対応した学習機会の充実に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供		地域に対する愛着と誇りを育み、地域の担い手づくりにつながる地域の人材や素材を活用した学習機会の提供に努めます。		B		
地域課題解決学習の推進		地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき課題とその対応を学習し、成果を地域づくりの実践につなげる地域課題に対応した学習機会の提供に努めます。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R 5年度調査結果 (R 4年度実績)	R 6年度調査結果 (R 5年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合			—	97.1%	100%(A)	70%以上
教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合			70%	71.1%	72.3%(A)	70%以上
4 総合評価						
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))						
A (2.5点)	施策項目評価項目数	主な取組: 2、目標指標: 2				
	主な取組	$(0 \times 3) + (2 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 4$				
	目標指標	$(2 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$				
	判定	$(4+6) \div 4 = 2.5$ 点数: 2.5 評価: A				
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)						
地域理解に関わる学習事業については、高齢者学級開催事業において3講座を実施し、いずれも参加者の100%が千歳への理解が深まったと回答しており、講座内容について適切であったと評価できる。地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業については、高齢者学級開催事業及び市民教養セミナーにおいて11講座を実施した。						
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
引き続き、地域理解や地域課題、現代的課題に関する学習事業について、幅広い世代の参加者が得られるよう、テーマの設定について検討していく。特に地域理解に関するものについては、参加者の年齢層が高くなる傾向にあることから、若い世代や千歳への転入者等に向けた学習事業について、開催を検討していく。						
5 外部評価会議委員の意見						
高齢者学級は、高齢者の参加がほとんどですが、市民教養セミナーには、テーマによるが、若い人が参加することがあるということはいいことだと思います。目標指標は、割合で実績が記載されている場合、分母がわからないため、参加者全員へのアンケートなのか、特定の人へのアンケートなのか見えにくい部分があるので、分母の数値を公表しづらい場合もあるとは思いますが、分母がわかるようになると良いと思います。						

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 3 2 社会教育施設機能と読書環境の充実			担当課	文化施設課	
1 施策の概要					
誰もが安全で快適に利用でき、社会の変化や市民の多様なニーズに対応した社会教育の場として公民館や図書館などの社会教育施設の機能の充実と子どもから大人まであらゆる世代の市民が読書に親しめる環境づくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
市民ニーズを反映した安全で快適に利用できる施設の整備	社会教育施設に関する多様なニーズの把握に努め、誰もが安全で快適に利用できるよう施設のユニバーサルデザイン化をはじめとした施設・設備の計画的な更新・改修を行い、社会教育施設の機能充実に努めます。	B			
公民館教室の実施	公民館の集い、学び、結ぶ機能を生かして、市民の教養の向上や健康の増進など、生活文化の振興や社会福祉の増進に役立つ短期・長期の公民館教室の充実に努めます。	B			
市民の誰もが親しめる読書環境の充実	図書の充実をはじめ、移動図書館車、検索サービスなど図書館機能の整備やおはなし会、ブックスタートにより、子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめる読書環境の充実に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合		83%	87.0%	75.5%(B)	85%以上
図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件数		12件	6件	7件(A)	10件以下
図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合		94%	93.9%	91.8%(B)	94%以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.2点)	施策項目評価項目数	主な取組: 3、目標指標: 3			
	主な取組	$(0 \times 3) + (3 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	目標指標	$(1 \times 3) + (2 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 7$			
	判定	$(6 + 7) \div 6 = 2.1666666666666666$ 点数: 2.2 評価: B			
(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の取組内容及び実績を記載する。)					
施設の利用者や公民館教室などは回復してきており、イベントなども制限なしで開催できている。移動図書館の運行やブックスタート、おはなし会など読書環境の充実に向けた取り組みを実施したほか、日常の清掃や点検・修繕などにより施設の維持管理に努めた。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
市民ニーズを反映しながら、各社会教育施設・設備等の修繕、改修等により機能の充実に努め、各世代が読書に親しめる図書の充実やおはなし会、図書館まつり、文学講座、講演会などの読書普及活動を推進し、市民が読書に親しめる環境づくりに努めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
公民館も図書館も施設設備に関するアンケートになっていますが、この2つは機能が異なるので、同列に扱わないほうが良いと思います。図書館については、改善意見の件数となっていますが、図書館のサービスについての意見などもあると思いますので、こうした点も含めて改善することで、社会教育施設の機能の充実につながると思います。					

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承					
施策項目 3 3 文化芸術に親しむ環境の整備			担当課	文化施設課	
1 施策の概要					
市民ニーズを反映した「自主文化事業」の実施や広域的な連携による文化芸術の鑑賞機会と情報提供の充実とともに、文化芸術施設の計画的な整備に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
自主文化事業の実施と子どもたちの文化芸術活動の充実	「市民文化センター自主文化事業」などの実施により、音楽、美術、メディア芸術、芸能などの鑑賞や創作活動の機会を提供するとともに、子どもたちの文化芸術活動に親しむ機会の充実に努めます。	B	/		
広域的な連携による文化芸術鑑賞機会の充実	近隣の市町村や文化団体と連携して、市民の文化芸術の鑑賞や創作機会を充実するとともに、市の関係部局などと連携して、地域の優れた文化芸術活動の広域的な情報発信に努めます。	B			
文化芸術情報の充実	市内で実施される各種文化芸術イベントの情報を情報紙やホームページなどで提供し、市民の文化芸術活動への参加を促進します。	B			
文化芸術施設の機能充実	市民が良好な施設環境で文化芸術に親しむことができるよう、市民文化センターや市民ギャラリーの施設・設備の計画的な更新・改修に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合		75.8%	77.8%	88.9%(A)	86%以上
文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数		274件	152件	167件(C)	280件以上
市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合		64%	58.4%	62.6%(B)	75%以上
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
B	施策項目評価項目数 主な取組：4、目標指標：3				
	主な取組	$(0 \times 3) + (4 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 8$			
(2.0点)	目標指標	$(1 \times 3) + (1 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 6$			
	判定	$(8+6) \div 7 = 2$ 点数：2.0 評価：B			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
自主文化事業の開催数・参加者数は回復してきており、事業の満足度は高い評価を得ることができた。それに伴い現状値には及ばないものの情報発信数も増えてきている。施設・設備の老朽化が進んでいることから、日常的な清掃や点検、修繕などを実施し、利用環境の整備に努めた。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
良質な文化鑑賞機会を提供するため、音楽鑑賞、演劇鑑賞、各種展覧会、体験学習など、多様な事業を継続して実施するとともに必要な修繕や設備の更新・改修等を行い利用環境の整備に努めていく。					
5 外部評価会議委員の意見					
文化芸術情報媒体で情報発信した文化芸術イベントの数は、イベント数が少なく情報発信が少なかったのか、イベント数は多かったが情報発信数が少なかったのかの違いがあると思いますが、現状としては、ホールや会議室で対外的に開催されるものを集計しているとのことなので、施策としてどこを重視するのかにもよりますが、情報提供の充実とありますので、掲載する媒体を増やすことで件数の上昇は図れるものと思われま					

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承						
施策項目 3 4 地域に根差した文化芸術活動への支援充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
地域に根差した文化芸術活動を行う文化団体の活動を支援するとともに、関係団体と連携して地域の文化芸術活動を支える人材の育成に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
文化芸術活動団体のネットワーク化と活動成果を発表する機会の支援		文化団体の連携による活動成果の発表機会である「文化芸術祭」をはじめ、地域に根差した文化の創造や継承・発展に取り組む文化団体の活動を支援します。		B		
文化芸術活動を支える人材の育成と活動意欲を高める取組の実施		団体運営や文化芸術イベントの企画立案のスキルなどを身に付け、地域の文化芸術活動を継承・発展に寄与する人材の育成に取り組むとともに、活動への意欲を高めるため、地域文化の発展に寄与した方への表彰を実施します。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
教育委員会の支援（補助・共催・後援）により実施された文化芸術事業の実施回数			57回	39回	49回(B)	57回以上
文化芸術に関わる団体数（社会教育関係団体（文化芸術分野）と文化団体連絡協議会加盟団体の数）			70団体	186団体	183団体(A)	70団体以上
4 総合評価						
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）						
B (2.3点)	施策項目評価項目数 主な取組：2、目標指標：2					
	主な取組 (0×3) + (2×2) + (0×1) + (0×0) =4					
	目標指標 (1×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) =5					
	判定 (4+5) ÷4=2.25 点数：2.3 評価：B					
(2) 令和 5 年度の実績（令和 5 年度の取組内容及び実績を記載する。）						
文化芸術事業の実施回数については目標値を下回る結果となったものの、文化団体連絡協議会による文化事業は概ねコロナ禍以前どおりに再開された。教育委員会主催事業としても、フレンドリーコンサートや音楽をテーマとした市民教養セミナーを開催するなど、文化芸術事業に積極的に取り組んだ。						
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
引き続き、千歳市文化団体連絡協議会の補助事業やその他文化芸術団体による事業について、後援等により支援を行うほか、主催事業についても、フレンドリーコンサートを恵庭市教育委員会と共催で開催するなど、他機関や団体等と連携しながら、市民が文化芸術に触れる機会を増やすとともに、それらに関わる人材・団体のネットワーク形成に取り組んでいく。						
5 外部評価会議委員の意見						
文化芸術に関わる団体数について、実際に活動している団体を探すのが困難であるため、社会教育関係団体や文化団体連絡協議会に加盟している団体数を計算していること、団体数に増減が発生している要因として、新規の加入や協議会に加盟するのを止めた場合があるということはわかりました。この増減の結果に対して、どういう見方（判断）をすれば良いのかがわかるようにすると良いと思います。						

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 5 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援			担当課	埋蔵文化財センター
1 施策の概要				
埋蔵文化財をはじめとする文化財の保存及び調査・研究を行うとともに、市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を支援します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財保護のための事前協議	埋蔵文化財包蔵地の保護と開発事業などの調整を適切・円滑に行うため、「土木工事等のための発掘に関する届出」を提出する前に、事業者と事前に協議を行い、必要に応じて所在調査、試掘調査などを行います。	A		
発掘調査	事前協議の結果、埋蔵文化財が破壊される可能性がある場合は、発掘調査を行い、報告書を刊行します。	A		
遺跡のパトロール	文化財である遺跡の現況を把握し、適切に保存することを目的に、市内に所在する305か所（令和2年（2020年）3月時点）の遺跡について計画的にパトロールを行います。	A		
市指定無形文化財の保持団体への支援	市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を実施している団体に対して補助金を交付します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合	100%	100%	100%(A)	100%
遺跡パトロールの年間実施箇所数	5か所	20か所	21か所(A)	20か所以上
市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数	2件	2件	2件(A)	2件以上
4 総合評価				
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）				
A (3.0点)	施策項目評価項目数	主な取組：4、目標指標：3		
	主な取組	$(4 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 12$		
	目標指標	$(3 \times 3) + (0 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 9$		
判定	$(12 + 9) \div 7 = 3$ 点数：3.0 評価：A			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）				
事前協議が提出された開発計画に対しては確実に対応し、埋蔵文化財の保護保存がなされている。遺跡のパトロールについては計画的に行い、目標の件数を達成した。指定文化財の保持団体である「千歳アイヌ文化伝承保存会」と「千歳市泉郷獅子舞保存会」への支援は着実になされている。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
文化財を後世に保護保存していくために、今後も事前協議を適切に実施し必要に応じて発掘調査を実施するとともに、引き続きパトロールに力を入れていく必要がある。また、市指定無形文化財への支援を継続する。				
5 外部評価会議委員の意見				
主な取組・目標指標の状況は良いと思います。パトロール結果についても問題がなかったということなので、引き続き、事業の継続をお願いしたいと思います。				

基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目36 文化財の活用の推進		担当課	埋蔵文化財センター	
1 施策の概要				
千歳市にある埋蔵文化財をはじめとする様々な文化財を活用し、積極的な公開や様々な市民ニーズに合わせた事業展開、情報発信を行い、市民が文化財に触れる機会の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財センター常設展示室の運営	市内の遺跡から発見された市指定有形文化財を含む出土文化財や関連資料及び国指定重要文化財「動物形土製品」、「土面」の複製品などを展示した常設展示室を運営します。	A		
企画展示の実施	遺跡や文化財をテーマとする企画展を開催します。	A		
体験学習会や講演会の実施	「縄文まつり」をはじめ、土器、石器、勾玉づくりなどの体験学習会や、埋蔵文化財に関するテーマの講演会を開催します。	A		
広報資料の作成	市民が埋蔵文化財に関心を持ち、身近に感じてもらうことを目標に、パンフレットや解説カードなどの広報資料を作成し、配布します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
埋蔵文化財センター展示室の見学者数	1,667人	2,701人	3,248人(A)	1,650人以上
体験学習会への参加者数	465人	356人	496人(B)	500人以上
講演会への参加者数	71人	25人	289人(A)	100人以上
4 総合評価				
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))				
A (2.9点)	施策項目評価項目数 主な取組: 4、目標指標: 3 主な取組 (4×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 12 目標指標 (2×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) = 8 判定 (12+8) ÷ 7 = 2.85714285714286 点数: 2.9 評価: A			
	(2) 令和5年度の実績 (令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)			
埋蔵文化財センター展示室の見学者数はキウス周堤墓群の世界文化遺産登録により前年度に大幅に増加したが、令和5年度はさらに増加した。また、夏期には休日開館を試行的に実施した。体験学習会については多様な行事を行うことで、参加者数の増加が昨年度よりも大きく増加した。講演会についても積極的に周知を行うことで、参加者数が大幅に増加した。				
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
増加する埋蔵文化財センターの来訪者の利便性向上を図るため、令和6年度も引き続き休日開館試行を実施する。また、千歳の文化財に対する関心をより高める取組を行うため、「キウス周堤墓群」を前面に出した各種取組を実施していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
埋蔵文化財センターの見学者数が伸びていることについて、来館者の内訳としては、60歳代から70歳代が多く、夏季休業期間中は、子どもの来館が多かったこと、休日開館を行ったことによって増加したということで、良い結果につながっていると思います。見学者が増加した場合、その理由として、どのくらい休日開館で増加したのかの記載があると良いと思います。				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 7 世界文化遺産登録と資産保護の取組			担当課	埋蔵文化財センター・主幹（国指定史跡担当）
1 施策の概要				
縄文遺跡群世界遺産登録推進本部・同推進会議の構成員として、登録審査に対応した取組を推進し、世界遺産としてユネスコが認める保護水準を維持した資産保護の取組を進めます。また、キウス周堤墓群が持つ普遍的価値を次世代に向けて確実に継承していくため、資産の適切な公開・活用を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
世界遺産登録に向けた取組の実施	「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関係する4道県及び市町で組織する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部に参画し、世界文化遺産登録に向けた取組を推進します。	A	/	
包括的保存管理計画に基づく資産の経過観察（モニタリング）	資産の保存状況を計測するため、包括的保存管理計画に定められたモニタリング指標に基づき、定期的かつ体系的に経過観察を実施します。	A		
遺産影響評価の実施	関係行政機関の相互連携の下、構成資産及びその周辺で行われる開発行為を早期に把握し、縄文遺跡群の顕著な普遍的価値に与える影響について、適切かつ円滑に調査、予測、評価し、必要な保全措置を講じることにより、資産の保全に努めます。	A		
市民団体等との連携・協働による公開・活用の取組の実施	地域住民や市民団体と市の協働により、北海道・北東北の縄文遺跡群の価値を分かりやすく伝えるため、市民ガイドの育成等の取組を推進します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数	—	8回	8回(A)	8回以上
構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握	100%	100%	100%(A)	100%
4 総合評価				
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）				
<b>A</b> (3.0点)	施策項目評価項目数 主な取組：4、目標指標：2 主な取組 (4×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 12 目標指標 (2×3) + (0×2) + (0×1) + (0×0) = 6 判定 (12+6) ÷ 6 = 3			
	点数：3.0 評価：A			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）				
資産の保全については、パトロールや情報取得を定期的継続的に行い、資産や周辺環境に異変が生じる恐れがないかを事前に把握することで、保存管理を図ることができた。また、講演会等やボランティアガイドの実施により、資産の価値を市民や見学者に伝えることができた。また、キウス周堤墓群のガイダンス施設や展示施設、園路、駐車場などの整備に向け、実施設計を行い、施工の準備が整った。				
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
令和3年7月に世界文化遺産に登録されたことから、今後は世界文化遺産としての価値を保持できるよう、引き続き、保全のための各種取組を実践するとともに、その価値を広く伝えるための啓発活動を行っていく。また、キウス周堤墓群の整備については、令和6年度から施工に着手する。				
5 外部評価会議委員の意見				
開発行為の事前把握も出来ているということで、指標の状況については、問題ないと思います。ガイダンス施設が完成することで、来場者数などの指標が追加されるかもしれませんが、多くの方に来てもらえることを期待します。				

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目 3 8 スポーツ活動の啓発と参加促進			担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要					
スポーツ活動への参加を促進するため、スポーツに関する普及啓発と情報提供を行うとともに、スポーツ振興に係る功労者やスポーツ大会での成績優秀者の表彰を実施します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スポーツ活動に関する情報提供	広報ちとせ、千歳市や（公財）千歳市スポーツ協会のホームページ、地域情報紙などを活用してスポーツ活動に関する啓発や情報提供を行うことで、市民のスポーツ活動への参加を促進します。	A			
千歳市スポーツ表彰制度	千歳市のスポーツ振興に寄与した個人・団体には「スポーツ賞」を、また、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収めた個人・団体に「スポーツ奨励賞」を贈呈し、市民のスポーツ意識の高揚に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対する参加割合		93%	93.0%	94.3%(A)	93%以上
千歳市スポーツ表彰被表彰者数		5人	1人	2人(C)	4人以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
B (2.3点)	施策項目評価項目数	主な取組：2、目標指標：2			
	主な取組	$(1 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 5$			
	目標指標	$(1 \times 3) + (0 \times 2) + (1 \times 1) + (0 \times 0) = 4$			
	判定	$(5+4) \div 4 = 2.25$ 点数：2.3 評価：B			
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の取組内容及び実績を記載する。）					
スポーツ活動に関する情報提供は、地域情報誌やホームページなどを活用して行っている。千歳市スポーツ表彰は、市内スポーツ団体等へ周知を行っているが、推薦人数が目標値を満たさなかった。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
今後も情報誌やホームページの活用、千歳市スポーツ協会の加盟団体や指導者と連携して広く情報提供を行い、参加者の維持に努める。千歳市スポーツ表彰については、実績のない団体や推薦者数の少ない団体に対しても確実に周知を行うなど制度に対する理解を深め、幅広く表彰者の推薦が行われるように取り組んでいく。					
5 外部評価会議委員の意見					
スポーツ表彰の被表彰者数は、増やそうと思っても容易に増やすことができないものであることは理解していますので、制度の周知を進め、被表彰者数が増えることを期待しています。					

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実		担当課	スポーツ振興課		
1 施策の概要					
スポーツイベントやスポーツ教室などを通して、競技スポーツのほか、年齢や体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。また、既存のスポーツ施設の利用を促進するとともに、学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
各種スポーツイベントなどの開催	千歳ジュニアスポーツフェスティバル、秋の市民歩こう会、ホルメンコーレンマーチなどを開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B	/		
スポーツ教室の開催	スポーツ関係団体と連携して各種スポーツ教室を開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B			
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施	カローリング、キンボールなどのニュースポーツを千歳学出前講座で実施することにより、年齢と体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。	A			
学校施設開放の実施	学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用し、生涯スポーツ活動の推進に努めます。	A			
3 目標指標		現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施回数		40回	27回	38回(B)	40回以上
屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者		751,952人	635,000人	709,000人(B)	800,000人以上
学校施設開放のスポーツ利用回数		6,821回	5,436回	5,317回(C)	7,500回以上
4 総合評価					
(1) 達成度（計算式：(Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点)）					
B	施策項目評価項目数 主な取組：4、目標指標：3 主な取組 (2×3) + (2×2) + (0×1) + (0×0) = 10 目標指標 (0×3) + (2×2) + (1×1) + (0×0) = 5 判定 (10+5) ÷ 7 = 2.14285714285714 点数：2.1 評価：B				
	(2.1点)				
(2) 令和5年度の実績（令和5年度の実績内容及び実績を記載する。）					
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各施設の利用、行事の開催が増えたため去年と比較すると増加傾向にある。学校開放の利用回数が顕著に増加しておりスポーツ活動の利用の場を市民に提供できている。					
(3) 施策の今後の方針・課題（各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
今後も各事業の取り組みを行い、スポーツ事業等の参加者や出前講座の実施回数、施設等の利用者の増加や維持に取り組む。					
5 外部評価会議委員の意見					
目標指標の2「屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者数」の中に、目標指標の3「学校施設開放のスポーツ利用回数」の中で利用した人の総数が含まれていると思われますが、目標指標の2について、内訳を示していただけると、指標の状況がわかりやすくなると思います。					

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進						
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成			担当課	スポーツ振興課		
1 施策の概要						
将来のスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成のため、スポーツ指導者の配置を行うとともに、公益財団法人千歳市スポーツ協会を通じてスポーツ関係団体への助成などを行います。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
スポーツ指導者の配置		スポーツイベントやスポーツ教室、スポーツセンターや総合武道館にスポーツ指導者の配置を行うことで、スポーツ活動を支援します。		A		
スポーツ関係団体への支援		(公財)千歳市スポーツ協会を通じてスポーツ関係団体へ助成などを行うことで、多様化するスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成を促進します。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R5年度調査結果 (R4年度実績)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R12目標値
千歳市及び(公財)千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数(委託先指導者を含む)			1,130人	1,484人	1,347人(A)	1,250人以上
(公財)千歳市スポーツ協会に登録しているスポーツ少年団指導者(各少年団認定員)の数			163人	146人	147人(B)	165人以上
4 総合評価						
(1)達成度(計算式:(Aの個数×3点)+(Bの個数×2点)+(Cの個数×1点)+(Dの個数×0点))						
A (2.5点)	施策項目評価項目数 主な取組:2、目標指標:2					
	主な取組 $(1 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 5$					
	目標指標 $(1 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 1) + (0 \times 0) = 5$					
	判定 $(5+5) \div 4 = 2.5$ 点数:2.5 評価:A					
(2)令和5年度の実績(令和5年度の実績内容及び実績を記載する。)						
スポーツ指導員の配置は、千歳JAL国際マラソンなどの大規模なイベントやスポーツ行事への支援により目標値を達成することができた。スポーツ少年団指導者数については、団体への助成金などにより指導者の育成・確保に努めている。						
(3)施策の今後の方針・課題(各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)						
今後も、各種スポーツ行事が継続的に開催されると考えられるので、支援人数も実績程度で推移できると思われる。指導者数は、引き続き各団体への支援継続を行い、確保・育成に努めたい。						
5 外部評価会議委員の意見						
スポーツ少年団指導者数は、大きく減少する要素はないと思いますが、減少することなく、目標値に近づくことを期待しています。						

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目 4 1 スポーツ施設の機能充実と利便性向上		担当課	スポーツ振興課		
1 施策の概要					
既存のスポーツ施設を、誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿った計画的な整備改修、効率的な施設運営を行い、機能充実と利便性の向上に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スポーツ施設の整備改修の実施	スポーツ施設を誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿って計画的に整備改修を推進します。	B	/		
スポーツ施設の備品整備の実施	利便性、安全性を向上するとともに、スポーツニーズの多様化、高度化に対応した備品整備を推進します。	B			
スポーツ施設運営	スポーツ施設利用者の利便性向上のため、利用者ニーズにあった効率的な施設運営に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R 5 年度調査結果 (R 4 年度実績)	R 6 年度調査結果 (R 5 年度実績)	R12目標値
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数		52件	45件	48件(B)	45件以下
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合		87%	92.3%	90.0%(A)	90%以上
4 総合評価					
(1) 達成度 (計算式: (Aの個数×3点) + (Bの個数×2点) + (Cの個数×1点) + (Dの個数×0点))					
<b>B</b> (2.2点)	施策項目評価項目数 主な取組: 3、目標指標: 2				
	主な取組 (0×3) + (3×2) + (0×1) + (0×0) = 6				
	目標指標 (1×3) + (1×2) + (0×1) + (0×0) = 5				
	判定 (6+5) ÷ 5 = 2.2 点数: 2.2 評価: B				
(2) 令和 5 年度の実績 (令和 5 年度の取組内容及び実績を記載する。)					
経年劣化で破損する施設が多い中、利便性や安全性を考慮して優先度を整理し計画的に各施設の修繕を行った。また、施設管理についても、利用者のニーズを把握しつつ利用者がスポーツを楽しめる環境づくりを行った。					
(3) 施策の今後の方針・課題 (各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
今後も修繕が必要となる施設は多いことから、必要性を整理しつつ、計画的に修繕を行っていく。また、利用者アンケート等を参考にし、より良い環境づくりに励む。					
5 外部評価会議委員の意見					
目標指標の 2 「施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合」の内訳がわかると思います。改善意見に対し、こういう改修を行ったという実績が記載されていると、改善意見に対して対応を行っているということがこの評価書の中でわかるようになるので、記載してほしいと思います。					



## 資料

教育委員会は、教育に関する事務を行うことを目的とした行政機関で、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第2条）に基づき設置しています。

この法律において、教育長及び教育委員、並びに教育委員会会議、事務局、教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限など基本的な事項が規定されています。

なお、教育委員会会議やその他運営については、同法の規定によるほか、「千歳市教育委員会会議規則」「千歳市教育委員会事務委任等規則」に基づいて行われています。

### 1 教育委員会会議の開催概要

開催日	議事等	
令和5年第5回 (令和5年4月21日)	議案第1号	令和5年度千歳市学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第2号	千歳市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
令和5年第6回 (令和5年5月12日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市教育支援委員会委員等の委嘱又は任命について
	議案第3号	令和5年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第4号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
	議案第5号	千歳市教育委員会外部評価会議設置要綱の策定について
	報告第1号	令和4年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査第2回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第2回）の結果について
令和5年第7回 (令和5年6月12日)	議案第1号	千歳市議会第2回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について
	議案第2号	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
	議案第3号	千歳市学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第4号	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱について
	議案第5号	千歳市社会教育委員の委嘱について
	議案第6号	千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について
	報告第1号	令和4年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について
	報告第2号	令和5年度第29回千歳市・指宿市青少年相互交流事業について
令和5年第8回 (令和5年7月19日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市教育委員会外部評価会議委員の依頼について
	議案第3号	千歳市奨学生の選考及び奨学金額の決定について
	議案第4号	千歳市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
	報告第1号	令和4年度指定管理者モニタリング結果について
	報告第2号	令和5年度千歳市標準学力検査・知能検査の分析について
令和5年第9回 (令和5年8月30日)	議案第1号	令和6年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について
	議案第2号	令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	議案第3号	千歳市いじめ防止基本方針の改定について
	議案第4号	令和5年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について

開催日	議事等	
	議案第5号	千歳市学校給食費の管理に関する条例の制定について
	報告第1号	令和4年度学校給食費に係る不納欠損処分について
	報告第2号	令和5年度ハイパーQU検査（1回目）の結果について
令和5年第10回 （令和5年9月8日）	議案第1号	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和5年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	令和5年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
	報告第1号	令和5年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業（報告）について
令和5年第11回 （令和5年9月22日）	議案第1号	教育委員会職員の任免について
令和5年第12回 （令和5年10月25日）	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	報告第1号	令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について
	報告第2号	令和6年度千歳市教育予算要望について
	報告第3号	令和5年度千歳市民文化表彰受賞者について
令和5年第13回 （令和5年11月20日）	議案第1号	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和5年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	令和5年度学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第4号	教職員の処分内申について
	報告第1号	令和5年度第29回千歳市・指宿市青少年相互交流事業（受入）について
令和5年第14回 （令和5年12月26日）	議案第1号	千歳市教育委員会事務委任等規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第2号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第3号	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法等について
	議案第4号	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	報告第1号	令和5年度千歳市学力向上検討委員会報告書について
	報告第2号	令和5年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査第1回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第1回）の結果について
	報告第3号	令和6年「千歳市はたちのつどい」の開催について
令和6年第1回 （令和6年2月15日）	議案第1号	千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について
	議案第2号	令和5年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	学校給食費の改定について
	議案第4号	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について
	報告第1号	令和5年度ハイパーQU検査（11月実施）の結果について
	報告第2号	令和6年度公益財団法人千歳青少年教育財団事業計画及び予算について
	報告第3号	史跡キウス周堤墓群整備実施設計（案）について
令和6年第2回	議案第1号	教職員の異動内申について

開催日	議事等	
(令和6年2月21日)		
令和6年第3回 (令和6年3月1日)	議案第1号	教職員の異動内申について
	報告第1号	教職員の処分について
令和6年第4回 (令和6年3月25日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則及び千歳市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について

## 2 教育行政執行方針

### 【はじめに】

令和5年第2回定例市議会の開会にあたりまして、令和5年度の教育行政執行方針を申し上げます。

少子高齢化の進展や社会経済のグローバル化、Society5.0社会の到来など、我が国の社会情勢は、大きな変革期を迎えており、未来を担う子どもたちが、たくましく生きていけるよう学校・家庭・地域が一体となった「人づくり」を進めることが、一層重要となっております。

こうした動向を踏まえ、学校教育の推進にあたっては、国が「令和の日本型教育」として示している、児童生徒1人1人に応じた個別最適な学びと、他者との意見交換などを通じた協働的な学びを一体的に充実させ、学習指導要領に定める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善への取組を進めていく必要があります。

また、生涯学習の充実にあたっては、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習することができ、学びを通して、まちづくりで活躍する人材を育む『生涯学習社会の構築』を進めていく必要があります。

これらの状況を踏まえ、『千歳市教育振興基本計画』に基づき、教育活動のさらなる充実に取り組んでまいります。

### 【教育行政の基本姿勢】

ここで、教育行政に臨む基本姿勢について申し上げます。

一つ目は、『未来を拓く人づくり』であります。

急速に変化する社会情勢に対応し、自立してたくましく生きることができ、千歳の未来を託すことができる人づくりを目指します。

二つ目は、『つながりの教育による人づくり』であります。

学校、家庭、地域が連携し、学びでつながり、学んだ成果を生かすことができる機会を誠意することで、地域社会全体の教育力を高めるとともに、学びでつながる人づくりを目指します。

三つ目は、『ふるさと千歳を育む人づくり』であります。

自分たちが住む地域の歴史や文化のよさを知り、ふるさとに対する誇りと愛着を育み、様々な

人と協働し、地域の課題解決や活性化に貢献し、ふるさととともに生きる教育を目指します。

### 【教育重点施策】

次に、令和5度の教育重点施策について申し上げます。

第1に、『確かな学力の向上』であります。

確かな学力の育成のためには、基礎的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力を育むとともに、主体的に取り組む姿勢や人間性を養うことが求められており、こうした教育の基盤として、読解力、記述力などの言語能力の向上が重要であるとされております。

本市の児童生徒については、全国学力・学習状況調査において、記述力の問題の正答率が全国平均を大きく下回っており、「読解力」と「記述力」に課題があると捉えております。

これらの課題を解決するためには、1人1人が考え、自身の考えを説明し互いに意見する「探求型・対話型」の授業づくりが重要であり、各小中学校においては、教職員研修や学習者用コンピュータ等のICT機器の利活用を一層充実させるほか、千歳市学力向上検討委員会の提言などを踏まえ、授業改善を徹底してまいります。

第2に、『教育環境の整備』であります。

学校における安全・安心な教育環境を確保するため、校舎・講堂の計画的な改修に取り組むとともに、児童生徒が暑さにより体調を崩した際、適切な応急処置ができる環境を整備するため、令和5年度及び6年度の2か年で、保健室にエアコンを設置してまいります。

第3に、『特別支援教育の充実』であります。

「千歳市の特別支援教育の推進に係る基本方針」に基づき、みどり台小学校に「知的障がい」及び「自閉症・情緒障がい」の特別支援学級を新たに開設するほか、通級指導教室の充実に努めるなど、引き続き、個々のニーズに合った学びの場を選択できる教育を推進してまいります。

第4に、『生涯学習の推進』であります。

市民が活躍する生涯学習によるまちづくりを推進するため、各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実に努めるとともに、セミナー等の開催にあたっては、対象や内容に応じて、対面方式のほか、オンライン方式やハイブリッド方式で実施するなど、参加機会の向上を図ってまいります。

また、まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承を進めてまいります。

### 【主な施策】

次に、「千歳市教育振興基本計画」の基本理念を実現するための6つの基本目標について、主な

施策を申し上げます。

第1は、『社会で生きる力を育む教育の推進』であります。

「学年・学級経営」については、教員との信頼関係や学級内のより良い人間関係が、児童生徒を育成するための基盤であることから、教職員による日常的な観察のほか、ハイパーQU検査による客観的な分析を活用するなど、引き続き、学年・学級経営の改善に努め、互いに認め合い、高め合う親和的な学級づくりを進めてまいります。

「確かな学力の育成」については、授業改善の徹底と検証のほか、学習支援員等による算数・数学科の習熟度別少人数指導を一層推進するとともに、電子黒板、デジタル教科書の更新を進めるほか、AI搭載型のデジタルドリルを導入し、授業や家庭学習において、学習者用コンピュータを有効に活用できる環境を整備するなど、学習指導の充実を図ってまいります。

「外国語教育」については、引き続き、デジタル教科書や外国人英語指導助手（ALT）の活用などにより、授業の充実を図るとともに、小学校6年生を対象に実施している「英検ESG」や、中学校で実施している「英検IBA」により英語の習得状況を客観的に把握するなど、授業改善や英語力の向上に取り組んでまいります。

「情報教育」については、プログラミング教育や情報モラル教育などを通じて、児童生徒がICT機器を適切・安全に使用できる情報活用能力の育成に取り組むとともに、研修の実施などにより、引き続き、教員のICT活用能力の向上に努めてまいります。

第2は、『豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』であります。

「いじめ・不登校」については、いじめは絶対に許されるものではなく、どの学校でも起こりうるものであるという確固たる認識のもと、いじめの未然防止、早期発見・迅速な対応に努め、その根絶に向けて学校・家庭・地域等と連携し、取り組んでまいります。

また、不登校の児童生徒への対応については、教員とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが児童生徒・保護者の悩み、不安等の情報を共有するなど、組織的な支援を行ってまいります。

青少年非行防止については、青少年の問題行動の未然防止などに取り組むほか、SNSの不適切な利用により、いじめや犯罪に発展しないよう、安全なインターネットの使い方の指導や、家庭でのルールづくりの啓発など、インターネットに関するトラブルの未然防止の取組を継続してまいります。

「ふるさと教育」については、本市や北海道の文化、人々の生活に直接触れたりすることなどの教育活動を推進するほか、小学校社会科副読本「私たちの千歳」を活用するなど、郷土に対する愛着や誇りを育む、ふるさと教育の充実を図ってまいります。

「読書活動」については、「第3次千歳市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書活動の充実を図るほか、学校図書館司書については、配置日数を増やすなど、読書相談や調べ学習でのアドバイスをはじめとする学校図書館機能のさらなる充実を図ってまいります。

「体力・運動能力」については、新体力テストの結果などを踏まえ、効果的な体育活動を普及啓発するなど、児童生徒の健やかな身体の育成に努めてまいります。

「食育」については、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせるため、栄養教諭を中心とした食に関する指導を推進し、食育の充実を図ってまいります。

学校給食については、急激な物価高騰に対応するため、昨年度に引き続き、物価高騰分の補助を実施するとともに、児童生徒に必要なエネルギー量と栄養価を満たす給食を継続的に提供していくため、給食費の改定について検討を進めてまいります。

また、学校給食費の取り扱いについては、令和6年度からの公会計への移行に向け、会計システムの導入など諸準備を進めてまいります。

新学校給食センターの整備については、「千歳市新学校給食センター整備に向けた基本構想(改訂版)」に基づき、民間事業者などからのサウンディング調査や、建築面積・構造、調理機器の配置等の精査など、より安全で安心な学校給食の提供に向け、「新学校給食センター整備基本計画」の策定に取り組んでまいります。

第3は、『学びを支え、つなぐ教育環境の充実』であります。

「学校運営」については、学校指導訪問を通じて

カリキュラムマネジメント充実・強化、授業改善などへの指導・助言を行うほか、「千歳市立学校における働き方改革推進計画(第2期)」を踏まえ、時間外勤務時間の客観的な記録、ICTを活用した業務の効率化などに取り組んでまいります。

また、部活動の地域移行については、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備や部活動指導の負担軽減による教員の働き方改革に向け、「千歳市部活動地域移行推進協議会」を設置し、具体的な検討を進めてまいります。

「学びのセーフティネットの構築」については、経済的理由で教育の機会が失われることのないよう、引き続き、就学援助制度の周知を行うなど、必要な支援に努めてまいります。

また、給付型奨学金については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して拡大した交付人数枠を維持し、修学・進学への意欲・能力がある学生生徒への支援を継続してまいります。

「学校と地域の連携・協働」については、学校運営協議会(コミュニティスクール)の取組を推進し、学校運営の改善を図るとともに、「地域学校協働活動」として、水泳、スケート、スキー等の授業を地域人材が支援するなど、「地域と共にある学校」づくりに取り組んでまいります。

また、児童生徒を犯罪や事故から守り、登下校等の安全を確保するため、「千歳っ子見守り隊」の取組を推進するなど、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

「学校段階等間の連携・交流」については、各学校段階の円滑な接続を図るため、子ども園等と小学校では、子どもの成長に関する情報交換や交流の機会を設けるなど、連携を図るとともに、小中学校においては、「小中連携・一貫教育実施要領」のもと、目指す子ども像を共有し、引き続き、義務教育9年間を見通した教育活動を進めてまいります。

第4は、『市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進』であります。

「多様な主体の連携による学び合いと交流の場」については、「千歳学出前講座」や「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の登録講座の拡充を図るほか、生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」などを開催し、市民活動団体の交流の場を提供してまいります。

「市民活動交流センター」については、「市民活動講座」や「ミナクールサロン」の開催など、利用者のニーズにあわせて、市民活動の活性化を図ってまいります。

「地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動」については、地域学校協働活動の取組を推進するため、協働活動コーディネーターを計画的に増員し、地域と学校の連携を深め、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長を支える環境づくりに努めてまいります。

第5は、『各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実』であります。

「乳幼児期からの家庭教育を支える学び」については、引き続き、「バンビはぐくみプログラム」として子育て中の親に育児知識の習得と情報交換の場を提供するほか、「家庭教育セミナー」を開催するなど、家庭の教育力を高めるための支援を行ってまいります。

「青少年の自立と成長を育む学び」については、公益財団法人千歳青少年教育財団と連携し、自然体験教室や宿泊学習など各種教育事業を実施するほか、指宿市との青少年相互交流事業については、これまでの3年間はオンライン方式で実施してきましたが、4年ぶりに訪問交流を再開してまいります。

「成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学び」については、「市民教養セミナー」を開催するほか、高齢者の学習機会として、「千歳高星大学」や「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を実施してまいります。

「読書環境の充実」については、市立図書館の図書資料の充実に努めるほか、インターネットなどを活用した図書の貸出予約など、引き続き、利用者の利便性向上に取り組むとともに、「図書館まつり」については、市立図書館開館35周年記念事業として、講演会やオープンカフェなどを実施してまいります。

第6は、『まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承』であります。

「文化芸術に親しむ環境の整備」については、北ガス文化ホールにおける音楽・演劇などの公演や、市民ギャラリーにおける絵画・写真等の作品展など、市民ニーズを反映した魅力ある事業を実施してまいります。

「文化財の保存と調査・研究及び継承」については、遺跡の保護に努めるとともに、市指定無形文化財である「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」や「泉郷獅子舞」の保存・伝承活動を支援してまいります。

「文化財の活用」については、増加するキウス周堤墓群来訪者や市民の利便性向上を図るため、埋蔵文化財センターの休日開館を期間を定めて試行的に実施するほか、「体験学習会」や「史

跡見学会」、「市内の遺跡等に関する企画展」などを開催し、身近に文化財に触れる機会の充実に努めてまいります。

「世界文化遺産登録と資産保護の取組」については、キウス周堤墓群のガイダンス施設や展示設備、園路、駐車場などの整備に向け、実施設計を進めてまいります。

### **むすび**

以上、令和5年度の教育行政執行にあたっての方針と重点施策及び主な施策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで学校教育活動、社会教育活動は大きく制限されてきましたが、今後、それらの活動が積極的に実施され、未来を担う子どもたちや市民一人一人が、これまで以上に学ぶことの喜びを実感することができるよう、学校や家庭、地域、関係機関・団体などと連携を図り、市民の期待と信頼に応えることができる教育行政を推進してまいります。

市民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



令和6年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

千歳市教育委員会

千歳市東雲町2丁目34番地

電話0123-24-3131（代表）